

中学校等避難所空調設備設置工事 (春日部南中学校)

■ 図面リスト

建築図				電気設備図		機械設備図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
共通-01	特記仕様書 1	A-01	案内図・配置図	E-01	(改修前・後) 受変電設備単線結線図	M-01	空調設備 機器表 参考図
共通-02	特記仕様書 2	A-02	仮設計画図(参考)	E-02	(改修後) 分電盤結線図・幹線設備	M-02	空調設備 1階平面図
共通-03	特記仕様書 3	A-03	仕上げ表	E-03	(改修後) 1階平面図 空調機電源	M-03	空調設備 中間階平面図
共通-04	特記仕様書 4	A-04	1階平面図	E-04	(改修後) 1階平面図 電灯設備	M-04	空調設備 展開図 1
共通-05	特記仕様書 5	A-05	中間階平面図	E-05	(改修後) 中間階平面図 電灯設備	M-05	空調設備 展開図 2
共通-06	特記仕様書 6 電気設備工事	A-06	屋根伏図	E-06	(改修前) 1階平面図 電灯設備	M-06	空調設備 南側・東側立面図
共通-07	特記仕様書 7 機械設備工事	A-07	南側・東側立面図	E-07	(改修前) 中間階平面図 電灯設備	M-07	空調設備 北側・西側立面図
共通-08	特記仕様書 8 機械設備工事	A-08	北側・西側立面図			M-08	制御設備 1階平面図
共通-09	特記仕様書 9 機械設備工事	A-09	断面図			M-09	制御設備 中間階平面図
		A-10	矩計図 1				
		A-11	矩計図 2				
		A-12	展開図 1				
		A-13	展開図 2				
		A-14	展開図 3				
		A-15	ケーブルラン図				
		A-16	建具表				
		A-17	雑詳細図 1				
		A-18	雑詳細図 2				
		A-19	雑詳細図 3				
		A-20	雑詳細図 4				
		A-21	スロープ詳細図(改修前)				
		A-22	スロープ詳細図(改修後)				

② 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示	[2.1.3]
	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 防護ネット等 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等・図示) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種・B種・C種・D種・E種) C種:利用可能なエレベーター(・図示) D種:利用可能な階段(・図示・打合せによる)	[2.2.1][表2.2.1]
③ 既存部分の養生	既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) 既存プラインド、カーテン等 養生の方法(※ビニルシート等) 保管場所(・図示・図示) 打合せによる 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・図示 ・協議による		[2.3.1]
4 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 仮設間仕切りの種別と材質等		[2.3.2][表2.3.1]
	種別 下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材 ・A種 ・木 ・せつこうボード(9.5mm) ・無し ※有り ・軽量鉄骨 種類() ・片面 ・B種 ・合板(9.0mm) 種類() 材種() ※C種 単管 防災シート		
	充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)		
	仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等	材質 仕上げ 塗装 設置箇所 充填材 ※木製 ※合板張り程度 ・無し ※図示 ・か所 ・有り ・片面 ・無し	
	充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)		
5 監督員事務所	規模 ・既存建物内の一部を使用 ・構内に新設 m ² ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品(名分相当) 机 ・椅子 ・書櫃 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・両合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止用具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター		[2.4.1]
⑥ 現場表示板	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]		
⑦ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (●有償・無償)		
⑧ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(別途施設調整を行うこと)		
⑨ 工事用搬入路	※図示		
⑩ 仮囲い	●設置位置等は監督員の指示による ○図示 図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、必要に応じ適切に配置し的確に対応すること。		
⑪ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ●監督員の指示による ○図示		
12 快適トイレ	仕様 ※図示		
A 仮設物	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。		[2.3.1]
B 火元責任者	火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。		
C その他	●仮囲い等は現場の状況に合わせて適宜計画すること。 ●ゲート等の位置は監督員と協議の上、必要に応じて適切な位置に移動すること。 ●仮設材の位置・仕様・車両の通行路と進入方法等について、施工前に必ず監督員と協議すること。 ●近隣や施設の行事予定を把握し、工事車両の入場計画を立てること。		

A 解体施工	○屋外設備等	フェンス等工物の撤去 ○行う(※図示) ・行わない <3.10.>	
	○樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ●図示 ○協議による <3.11.1>	
B 建設廃棄物の処理	① 一般事項	※受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用(促進)計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。 また、工事完成後速やかに計画の実施状況(実績)について、「再生資源利用(促進)実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。 (a) 再生資源利用計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の土砂を搬入する工事 (2) 500t以上の砕石を搬入する工事 (3) 200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事 (4) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事) (b) 再生資源利用促進計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の建設発生土を搬出する工事 (2) アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200t以上搬出する工事 (3) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事)	[1.1.12]
	② 再資源化等(再資源化及び削減)	建設廃棄物の種類 備考 ○コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・木材 ○アスファルトコンクリート ○金風類 ・建設泥土 ・小形二次電池 ○蛍光灯及びHIDランプ ・硬質塩化ビニル管及び継手 ○ガラス ・木材(削減)	<4.4.1>
3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	建設廃棄物の種類 数量 備考		<4.4.1>
4 産業廃棄物広域認定制度の活用	建設廃棄物の種類 備考		<4.4.2>
5 最終処分	建設廃棄物の種類 備考		<4.4.3>
⑥ 処理に注意を要する建設廃棄物	建設廃棄物の種類 備考 ・石綿含有せつこうボード ・ひ素・カドミウム含有せつこうボード ・上記以外のせつこうボード ・CCA処理木材		<4.5.1>
⑦ 舗装版切断時に発生する濁水の処理	廃棄物の処理 ・監督員と協議 (濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。 種類 汚泥 (共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いつつ濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする (提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 (その他) 受注者は、バキューム式以外の工法(舗装版切断時に濁水を生じない等)を使用する場合には、事前に発注者と協議するものとする。		

C 特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査	※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。 <5.1.2> (1)特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2)特別管理産業廃棄物に付した、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3)調査結果は調査にとりまとめ、監督員に提出する。																								
	② 分析調査	分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シーリング 部位・図示 分析調査(第一次判定) 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング 部位・図示 分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング分析調査 ・監督員と協議 <5.1.4> ・PCBを含む機器の微量PCBの分析調査 <5.1.4> ・絶縁油のPCB含有量の分析調査 「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(環境省)」により行う。 ・ダイオキシン類のサンプリング調査 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。 <5.1.4>																								
3 特別管理産業廃棄物の処理	特別管理産業廃棄物の種類 備考 ・廃石綿等 ・PCBを含む機器類 ・PCB含有シーリング材 ・廃油 ・廃酸/廃アルカリ ・ダイオキシン類		<5.1.4>																							
4 PCBを含む機器類	処理施設 ・監督員と協議 引渡しを要する機器類 <5.1.4>																									
5 PCB含有シーリング材	除去処理工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・「標準施工要領書(日本シーリング工業協会/日本シーリング材工業会)」による。 <5.1.4>																									
6 ダイオキシン類	廃棄物の焼却施設の解体 解体方法 処分方法 ・		<5.1.4>																							
D 石綿含有建材の除去及び処理	① 石綿含有建材の事前調査	石綿含有建材の事前調査 <1.4.1> 工事着手に先立ち目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲 ○本工事施工範囲 ・図示 貸与資料(石綿含有建材調査結果報告書) 設計書に記載がない場合、「みなし」として報告、施工する。																								
	② 石綿含有分析調査	分析による石綿含有建材の調査 <1.4.1> 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフイライト、トレモライト 分析方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1</th> <th>JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3</th> <th>JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・75%防水(屋根)</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 吹付け材及び保温材等は ※ 10cm ³ /箇所 ・ /箇所 とする。 成形板は ※ 100cm ² /箇所 ・ /箇所 とする。 採取箇所 ・図示 分析結果については監督員に提出すること。 「9 環境配慮改修工事」による ○近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4	・75%防水(屋根)	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																						
	JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4																						
・75%防水(屋根)	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
③ 石綿粉じん濃度測定																										
④ その他																										

E 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所	<7.1.3>
	2 回収及び処分	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類 備考 ・ フロン(冷媒) ・ 建材用断熱材フロン ・ ハロン ・ イオン化式センサー ・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス ・ PFO5(ペルフルオロ(オクチル)スルホン酸) ・ 特定化学物質() ・ その他の特殊な建設副産物()	<7.3.1>
	回収又は処分 ・ 機械設備図による		
日付	工事名称	図面No.	
春日部市 学校教育課 教育施設課	中学校等避難所空調設備設置工事(春日部南中学校)	共通-02	
図面名	特記仕様書2		

7 塗装 改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3] 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)</p> <p>塗装えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・図示 [7.2.1~7]</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗り替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗り場合はRB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>珪砂、せっこうフラスコ面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>A.L.C.パネル面</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(注) DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。</p> <p>7.3.2~7</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗膜の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>珪砂面及びせっこうフラスコ面</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DPのみ)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地: 縦目処理工法</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地: 縦目処理工法以外</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>7.4.2、3</p> <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗膜の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>工程の種類は [表7.4.3]</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・A種 ※B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>工程の種類は [表7.4.3]</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>・A種 ※B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>・A種 ※B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>工程の種類は [表7.4.4]</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(f)(b)による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(f)(a)による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種</td> </tr> </table> <p>7.5.2~7.12.2</p> <table border="1"> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td>・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>塗料の種類 ※1種・2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り(CL)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(MAD)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>上塗り専級()級</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき面</td> <td>上塗り専級()級</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形材の板面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>・B種 ※A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・オイルステン塗り(OS)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>A種 ※B種・A種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、珪砂面、せっこうフラスコ面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきりめ ※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしきりめシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきりめ ※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしきりめシーラーとする</p> <p>(注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。</p> <p>・高日射反射塗料塗り [G] 下地調整 [7.2.2] ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の仕様</th> <th>塗付量(kg/m²)</th> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>高日射反射塗料 2種</td> <td>1級・2級 塗料製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>クリヤラッカー塗りA種の場合の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤・溶剤系着色剤・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステン塗りの工程等 ・製造所の仕様による</p>	下地面の種類	下地調整の種類	塗り替え	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗り場合はRB種	—	—	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—	珪砂、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない	コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない	A.L.C.パネル面	—	—	—	押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない	コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—	下地面等	塗料の種類	塗膜の種類	工程の種類	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種		透明塗料塗りの場合	・A種	※B種	鉄鋼面(DP以外)	—	・A種	・B種 ※C種	鉄鋼面(DP)	—	・A種	※B種	亜鉛めっき面	—	・A種	・B種	珪砂面及びせっこうフラスコ面	—	・A種	※B種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	—	・A種	※B種	コンクリート面(DP)	—	・A種	・B種	押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	—	・A種	※B種	コンクリート面(DPのみ)	—	・A種	・B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 縦目処理工法	※A種	※B種		目地: 縦目処理工法以外	・A種	※B種	素地面	塗料の種類	塗膜の種類	工程の種類	SOP	塗替え	A種	※C種	鉄鋼面	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種 ※B種			新規見え隠れ	A種 ※B種			塗替え	・A種 ※B種 ※C種	EP-G	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	・A種 ※B種 ※C種			新規見え隠れ	・A種 ※B種 ※C種	DP	工程の種類は [表7.4.4]	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による			新規	7.4.2(1)(f)(a)による				A種	塗料の種類	塗装面	塗料の種類	工程の種類	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種		木部屋内	※B種	※B種	塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種		亜鉛めっき面(鋼製建具)	※B種	※B種		亜鉛めっき面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種	A種 ※B種・A種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(MAD)		※B種	A種 ※B種・A種	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り専級()級	—		亜鉛めっき面	上塗り専級()級	—		コンクリート面及び押出成形材の板面	—	—	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	※B種・A種		屋内の鉄鋼面	※B種	※B種・A種		屋内の亜鉛めっき面	※A種	・B種 ※A種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種	・A種 ※B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	A種 ※B種・A種	・ステイン塗り		—	—	・オイルステン塗り(OS)		—	—	・木材保護塗料塗り(WP)		※B種	A種 ※B種・A種	工程	塗料の種類	塗料の仕様	塗付量(kg/m ²)	塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射塗料 2種	1級・2級 塗料製造所の仕様による	9 環境 配慮 改修 工事
	下地面の種類	下地調整の種類	塗り替え	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																											
木部	※不透明塗料塗り場合はRB種	—	—																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																																												
珪砂、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																																												
A.L.C.パネル面	—	—	—																																																																																																																																																																																																																												
押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																																												
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																																												
下地面等	塗料の種類	塗膜の種類	工程の種類																																																																																																																																																																																																																												
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
	透明塗料塗りの場合	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面(DP以外)	—	・A種	・B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面(DP)	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めっき面	—	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
珪砂面及びせっこうフラスコ面	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP)	—	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面(DPのみ)	—	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																												
せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 縦目処理工法	※A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
	目地: 縦目処理工法以外	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
素地面	塗料の種類	塗膜の種類	工程の種類																																																																																																																																																																																																																												
SOP	塗替え	A種	※C種																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																												
		新規見え隠れ	A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																												
		塗替え	・A種 ※B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																												
EP-G	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	・A種 ※B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																												
		新規見え隠れ	・A種 ※B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																												
DP	工程の種類は [表7.4.4]	塗替え	7.4.2(1)(f)(b)による																																																																																																																																																																																																																												
		新規	7.4.2(1)(f)(a)による																																																																																																																																																																																																																												
			A種																																																																																																																																																																																																																												
塗料の種類	塗装面	塗料の種類	工程の種類																																																																																																																																																																																																																												
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																																																																																																																																												
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
	亜鉛めっき面(鋼製建具)	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
	亜鉛めっき面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																												
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種	A種 ※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(MAD)		※B種	A種 ※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り専級()級	—																																																																																																																																																																																																																												
	亜鉛めっき面	上塗り専級()級	—																																																																																																																																																																																																																												
	コンクリート面及び押出成形材の板面	—	—																																																																																																																																																																																																																												
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	・B種 ※A種																																																																																																																																																																																																																												
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																												
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	A種 ※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
・ステイン塗り		—	—																																																																																																																																																																																																																												
・オイルステン塗り(OS)		—	—																																																																																																																																																																																																																												
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種	A種 ※B種・A種																																																																																																																																																																																																																												
工程	塗料の種類	塗料の仕様	塗付量(kg/m ²)																																																																																																																																																																																																																												
塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射塗料 2種	1級・2級 塗料製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																												
8 耐震 改修 工事	本工事対象外																																																																																																																																																																																																																														

10 透水性アスファルト 舗装改修工事	測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]	<table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>測定1 処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>出入口</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の設置の排出口</td> <td>出口吹出し高さ1m以下の位置</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業室内</td> <td>()点</td> </tr> <tr> <td>測定10</td> <td>去後1週間以降</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界 ()点</td> </tr> </table> <p>さいたま市で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。</p> <p>測定方法 ・自動測定器による測定 測定4.5 ※A・B種(計測器、粉じん相対湿度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子計測器(レーザー光散乱法)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定)</p> <table border="1"> <tr> <th>JIS K 3850-11に基づいた測定</th> <th>測定4.5</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> <tr> <td>ろ過残渣の重量(mm)</td> <td>25</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>30</td> <td>120</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>本工事対象外</p> <p>本工事対象外</p> <p>除去対象範囲 〇図示 石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負担不要)方法 ・ビニールシート等による養生を行う 除去した石綿含有成形板の処分 〇石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) 〇石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ※埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>9.1.5</p> <p>9.1.6</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所</td> <td></td> </tr> </table> <p>詳細は監督員との協議による</p> <p>9.3.2~4 フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1・A種1H 厚さ(mm) 25・30 施工箇所 図示 ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 ・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り 断熱材へのボードの張付け工法</p>	測定時期	測定場所	測定点	測定1 処理作業前	処理作業室内	各2又は3点()点	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点	測定3	処理作業室内	各2点()点	測定4	出入口	各1点()点	測定5	集じん・排気装置の設置の排出口	出口吹出し高さ1m以下の位置	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点	測定7	処理作業室内	各1点()点	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点	測定9	処理作業室内	()点	測定10	去後1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界 ()点	JIS K 3850-11に基づいた測定	測定4.5	測定	測定	ろ過残渣の重量(mm)	25	47	47	試料の吸引流量(L/min)	5	10	10	試料の吸引時間(min)	30	120	240	種類	採取する部位・箇所数	備考	・PCB含有シーリング	部 位 図示			分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所		・PCB含有シーリング	部 位 図示			分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所		10 透水性アスファルト 舗装改修工事
	測定時期	測定場所	測定点																																																																
測定1 処理作業前	処理作業室内	各2又は3点()点																																																																	
測定2	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点																																																																	
測定3	処理作業室内	各2点()点																																																																	
測定4	出入口	各1点()点																																																																	
測定5	集じん・排気装置の設置の排出口	出口吹出し高さ1m以下の位置																																																																	
測定6	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点																																																																	
測定7	処理作業室内	各1点()点																																																																	
測定8	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点																																																																	
測定9	処理作業室内	()点																																																																	
測定10	去後1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界 ()点																																																																	
JIS K 3850-11に基づいた測定	測定4.5	測定	測定																																																																
ろ過残渣の重量(mm)	25	47	47																																																																
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10																																																																
試料の吸引時間(min)	30	120	240																																																																
種類	採取する部位・箇所数	備考																																																																	
・PCB含有シーリング	部 位 図示																																																																		
	分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所																																																																		
・PCB含有シーリング	部 位 図示																																																																		
	分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所																																																																		
11 舗装版切断時に 発生する濁水の処理 (舗装版切断時に発生する濁水の 処理に係る特記仕様書)	<p>適用範囲: 【武里南小学校: 駐車場】 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>・路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 () ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・粒度調整砕石 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号・1号) 添加量 () kg/m³ (目標CBR ※3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻³ cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締め度の試験 ・行う ・行わない 六価コロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ 図示 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン [G] ・再生粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</p> <p>舗装の構成 図示 舗装の平坦性 ※着しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種 別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示	11 舗装版切断時に 発生する濁水の処理 (舗装版切断時に発生する濁水の 処理に係る特記仕様書)																																																					
種 別	材 料	厚さ(mm)																																																																	
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示																																																																	
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示																																																																	
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示																																																																	

春日部市 学校教育 施設課	春日部市 武里南小学校 中学校等避難所空調設備設置工事(春日部南中学校)	図面No. 共通-04
---------------------	--	----------------

⑩ 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ○溶接金網 6×150×150 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 ・重ね継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手 継手位置 ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1.6.1.7.1.7.3.8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ※図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ※図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) ※図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一面所に設ける部分の位置及び施工方法等 ※図示による () 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※図示による () 機械式定着工法 適用箇所 () ※図示による () 種類 ・麻擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・板合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1) ※図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () ・なし 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・なし 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm 6 各部配筋 (5.3.7) ※図示による 7 ガス圧接 本工事対象外 8 機械式継手 本工事対象外 9 溶接継手 本工事対象外	⑪ コンクリート工事	1 コンクリートの種類等 (6.2.1) 種類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ○Ⅰ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スラブ 適用箇所 ・24 2.3程度 15又は18・18 ・21 2.3程度 ○18 ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值S=9 (3月3日~7月10日、9月11日~11月18日) S=6 (7月11日~9月10日、11月19日~3月2日) 2 セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の水、水和熱が1日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 () ・適用箇所 (・1Fより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 () ・適用箇所 () 3 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) 4 混和材料 (6.3.1) ○混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4付近 ※図示による () 柱及び壁 ※スラブ、豊梁又は基礎の上端 ※図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ※図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ※図示による () 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平坦さ 種類 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による () 8 打増し厚さ (打増し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ※図示による () 9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm) () コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ※図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ※図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ※図示による () スリーブの材質、規格等 ※図示による () 10 軽量コンクリート (6.8.4) 11 寒中コンクリート 12 暑中コンクリート 13 マスコンクリート 14 無筋コンクリート 15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画配合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打たずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不適合生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画配合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、I7A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	⑬ 土工	1 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 () ・品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。 ・六価クロム溶出試験結果報告 ・行う (再生品の場合) ・行わない 2 建設発生土の処理 (3.2.5) ・場外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し 3 山留めの撤去 (3.3.3) 鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる ⑭ 金属工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1) ※表面処理は標準仕様書表14.2.1による 種類 施工箇所 (成形板、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種 有機酸皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 色合等 ・シルバ ・アンパー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 () 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 表面処理方法 種類 施工箇所 (手すり、タラップ以外) ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 電気亜鉛めっき 3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)(表14.4.1) 野縁等の種類 (※25形 ・19形 屋内 (※19形 ・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びびんサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3、4)(表14.5.1) スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)による 5 金属成形板張り (14.6.2、3)(表14.6.1) 種類 製法 形状 板幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 ・アルミ ・押し ・ロール ・プレス ・ハナ形 ・ハネ形 6 アルミニウム製笠木 (19.9.2~4) フェノール系断熱材、保温剤又は接着剤の熱安定性試験放熱量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤の熱安定性試験放熱量 ※F☆☆☆☆ ※断熱材打ち込み工法 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・押し出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) ・(2種bA ・2種bA ・3種bC ・3種bD) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3) 種類 種類 質量区分 備考 ・間知石 ・花こう岩 ・ ・凝灰岩 ・ ・コンクリート間知ブロック ・ ・A ・B 積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮調整目地 材質 ・図示 厚さ ・ ・図示 22 舗装工事 1 路床 (22.2.2、3~5)(表22.2.1) 路床の材料 (22.2.2、3~5)(表22.2.1) 種類 材料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 () ・凍上抑制層 ・再生クラッシャーラン () ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による) ・フィルター層 ・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 安定処理方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 () ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 1号) ・消石灰 (・特号 1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR ・3以上) ・不織布 (ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻³ cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力 (CBR) 試験 ・行う (箇所) ・行わない 現場CBR試験 ・行う (箇所) ・行わない 安定処理土のCBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う (箇所) ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 2 路盤 (22.3.2、3)(表22.3.1) 路盤及び厚さ ・図示 路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種類) 種類 ・クラッシャーラン 砕石 ・粒度調整砕石 再生材 ・再生クラッシャーラン () ・再生粒度調整砕石 () ・クラッシャーラン鉄線スラグ () ・粒度調整鉄線スラグ () ・水硬性粒度調整鉄線スラグ () 3 アスファルト舗装 (22.4.2~4、6)(表22.4.1、4) アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト () ・ストリートアスファルト 骨材 ・アスファルトコンクリート再生骨材 () 加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 4 コンクリート舗装 (22.5.2~4)(表22.5.1~3) 構成及び厚さ 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート舗装 ・車路、駐車場 ※図示 ・図示 ・歩行者用通路 ※図示 ※70 材料 コンクリート ※普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 ・設計基準強度 (N/mm ²) ・所定のスラブ (cm) ※8 骨材の最大寸法 (mm) ・使用する ・使用しない 注入力材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類 ※標準仕様書表22.5.3による 間隔 ※標準仕様書表22.5.3による m程度ごと 構造 ※標準仕様書表22.5.1による ・図示 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6) 透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 () (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) 舗装の平坦性 ※着しい不陸がないもの 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 透水性コンクリート舗装 コンクリート舗装に対する基準値 項目 基準値 最大粒径 (mm) 13 空隙率 (%) 20以上 透水係数 (cm/s) 1×10 ⁻² 以上 目地の間隔 版厚の20倍程度 構成、厚さはコンクリート舗装による ・不織布 (ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間の敷設 ・図示 透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による 透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による	
					⑮ 内装工事	14 断熱材 (19.9.2~4) フェノール系断熱材、保温剤又は接着剤の熱安定性試験放熱量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤の熱安定性試験放熱量 ※F☆☆☆☆ ※断熱材打ち込み工法 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・押し出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) ・(2種bA ・2種bA ・3種bC ・3種bD) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・	⑯ ユニツト及びその他工事	27 フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス (ネットフェンス) ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス ・図示 高さ ・図示 28 プレキャストコンクリート (20.3.2~4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示	
					春日部市 学校教育課 教育施設課		日付 工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (春日部南中学校) 図面名称 特記仕様書5 図面No. 共通-05		

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
1.1 工事名
1.2 工事場所
1.3 工期

- 1.4 工事科目

Table with 2 columns: 工事科目 (Circled items) and 適用するもの (List of equipment types like 電灯設備, 動力設備, etc.)

- 1.5 指定部分
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間

- 1.7 建物概要

- 1.8 工事概要

- 1.9 同時期発注の関連工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2 特記仕様

Table with 2 columns: 項目 and 特記事項. Lists items like 1 機械等, 2 施工条件, 3 工事用電力・水, etc.

Table with 2 columns: 項目 and 特記事項. Lists items like 1 2 金属電線管の塗装, 3 壁, 4 地中電線路, 5 回路の種別, 6 電線の接続, 7 電線管の接続, 8 接地工事, 9 建設発生土の処理, 10 再生砂・再生アスコン, 11 耐震施工, 12 あと施工アンカー, 13 はつり及びあと施工アンカー打設, 14 改修部分の足場, 15 墜落制止用器具

Table with 2 columns: 項目 and 特記事項. Lists items like 2 6 施工計画書, 7 アスベスト事前調査結果の報告, 8 その他

- 2.3 工事別一般事項

Table with 2 columns: 項目 and 特記事項. Lists items like 1 電灯設備, 2 動力設備, 3 雷保護設備, 4 受変電設備

Table with 2 columns: 項目 and 特記事項. Lists items like 5 構内情報通信網設備, 6 電力貯蔵設備, 7 発電設備, 8 構内交換設備, 9 自動火災報知設備, 10 昇降機設備

- 2.4 取付高さ

Table with 3 columns: 名称, 測点, 取付高さ (mm). Lists items like スイッチ, コット, 防水型コンセント, etc.

3 その他

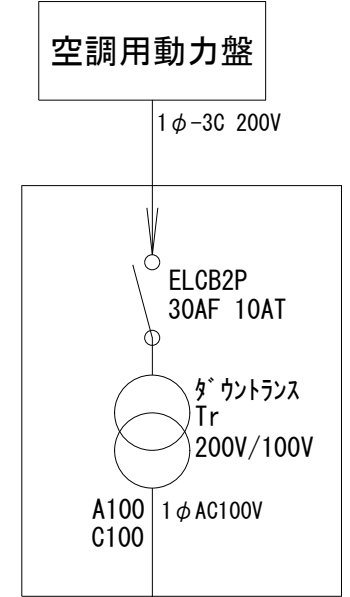
- 3.1 他工事との取合区分
3.2 図面上の縮尺
3.3 疑義
3.4 工事用図面

Table with 2 columns: 項目 and 特記事項. Lists items like 1 塗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

● 空気調和設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期 36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期 0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	28℃	9%	冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VVP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・IXとし範囲は図示による）</p> <p>8 試運転調整 風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>
	外 気		屋 内																								
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																						
夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	28℃	9%																						
冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%																						
② 総合試運転調整	<p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない</p> <p>3 煙 道 10 ダンパー</p>	● 換気設備																									
● 空気調和設備	⑪ 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VVP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（SXDのACI'レハ'イ'相当品） ・耐火二層管VVP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VVP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40 ・ステンレス鋼管 選 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p>	<p>12 井 類 17 冷却塔</p>	<p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能 図示による</p> <p>3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>A 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。</p>																							
	⑫ 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <p>(1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒・HFC（R410A、R32又はR407C） (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	○ 排水設備																								
	⑬ 温度計 ⑭ 圧力計 ⑮ 瞬間流量計 ⑯ 油面制御装置	<p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・排水用/カネパ 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VVP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。</p> <p>2 洗面器等の排水管</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による</p>	施工箇所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・排水用/カネパ 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共通	地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																	
施工箇所	管 種 別																										
雑排水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										
汚水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・排水用/カネパ 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										
共通	地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP（FDPS-1）又は耐火VVP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										

		参考工程表																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
工 事 項 目	月 日	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(28)	(10)	(20)	(31)			
学校運営		学校運営																																			
契約		契約																																			
書類作成		書類作成																																			
準備工事		準備工事																																			
共通仮設工事		共通仮設工事																																			
空調設備工事		空調設備工事																																			
空調設備工事に伴う建築工事		空調設備工事に伴う建築工事																																			
空調設備工事に伴う電気設備工事		空調設備工事に伴う電気設備工事																																			
アリーナLED化工事		アリーナLED化工事																																			
建築改修工事		建築改修工事																																			
受電設備工事		受電設備工事																																			
検査		検査																																			

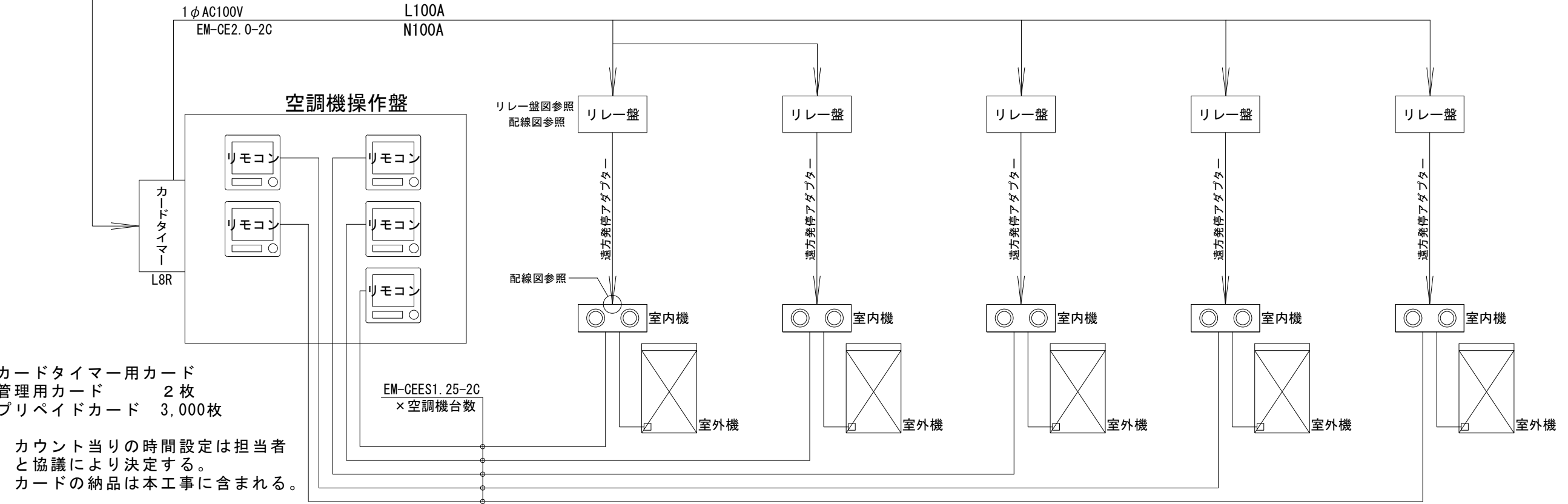
この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。
この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。
設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。



[動作]

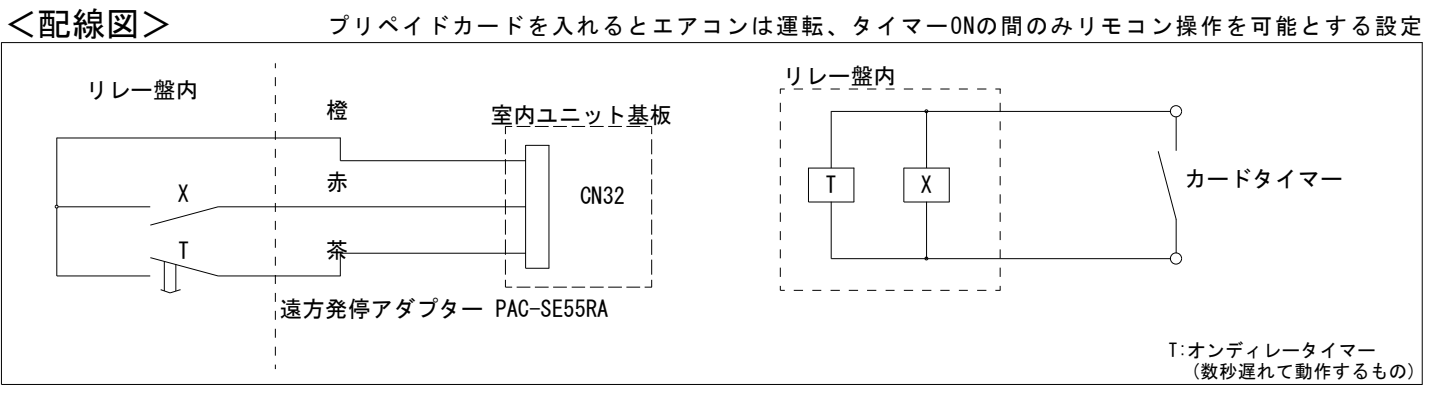
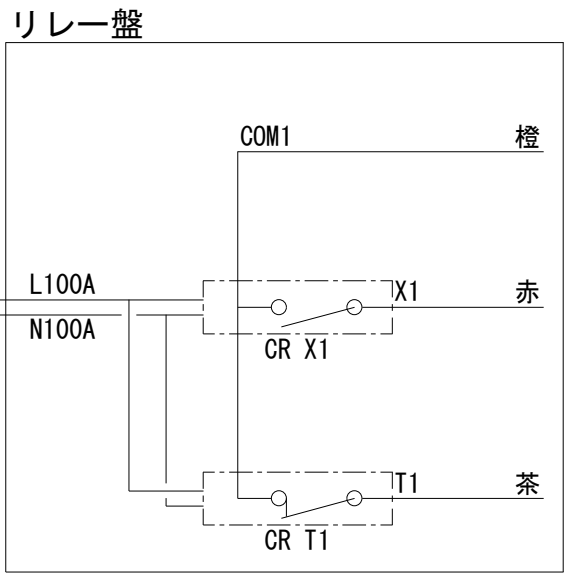
カードタイマー接点 オンディレイタイマー接点	状態	手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
ON	タイマー制御/運転開始→	許可	許可
OFF(数秒遅れ)	リモコン制御	(オンディレイタイマー接点OFF後)	
OFF	タイマー制御/停止	禁止	停止
ON			

停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。



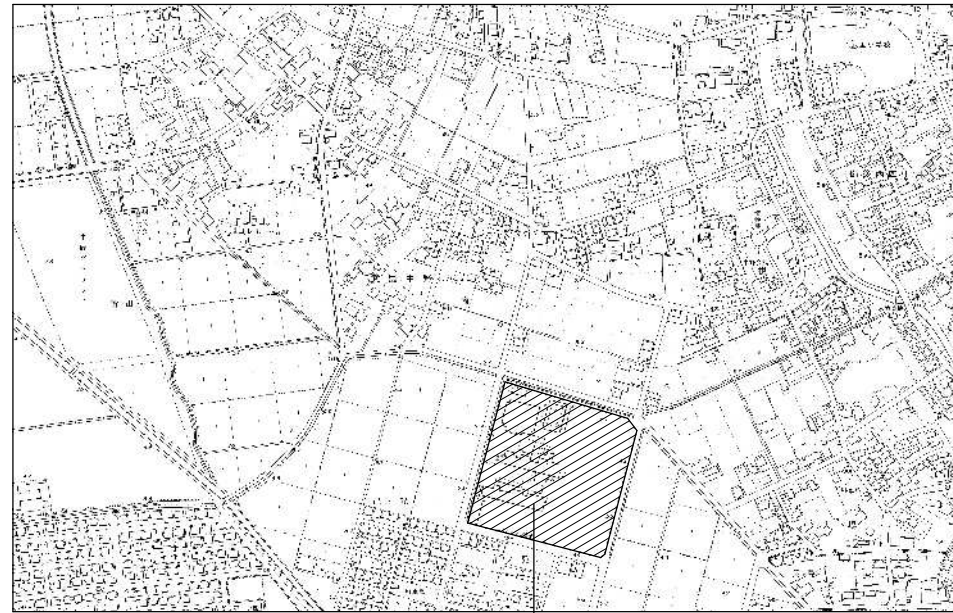
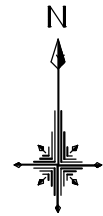
カードタイマー用カード
管理用カード 2枚
プリペイドカード 3,000枚

カウント当りの時間設定は担当者
と協議により決定する。
カードの納品は本工事に含まれる。



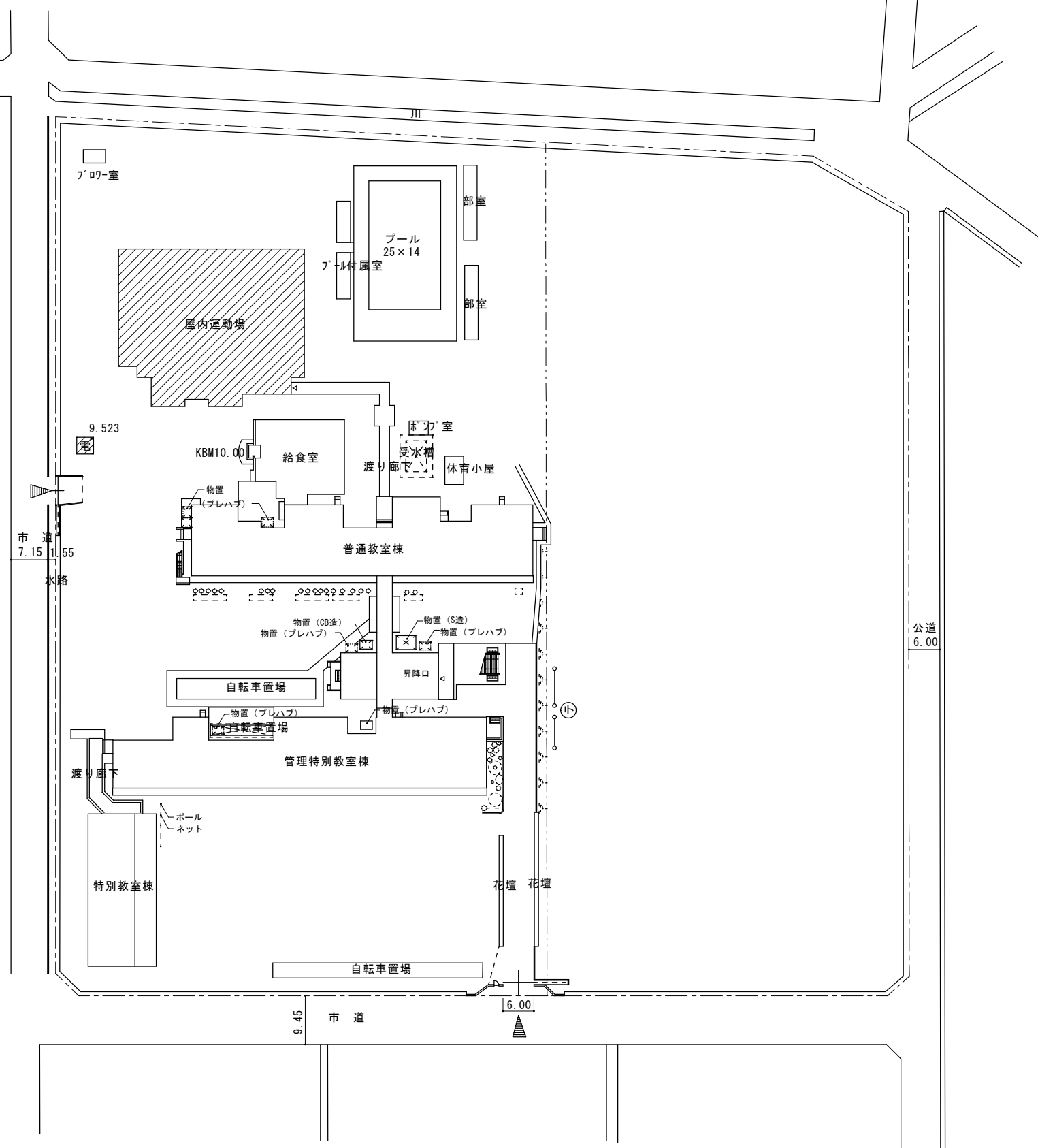
カードタイマー運転フロー

- ①カードタイマーにカードを差し込む
カードタイマーに設定された度数が引き落とされる。
カードタイマーからカードが自動で出てくる。
連続でカードを抜き差しすると設定された度数がその回数分、引き落とされ、カードタイマーに加算される。
カードタイマーに引き落とされた度数の清算はできない。
- ②自動で全空調が稼働する。
設定(冷暖房、温度、風量)は前利用した運転時の設定を引き継ぐ。
リモコンの操作ロックが解除される。
リモコンで運転OFFにできるが、カードタイマーの残数は減り続ける。
- ③カードタイマーの残数が0になると全空調が停止する。
リモコンの操作はロックされる。



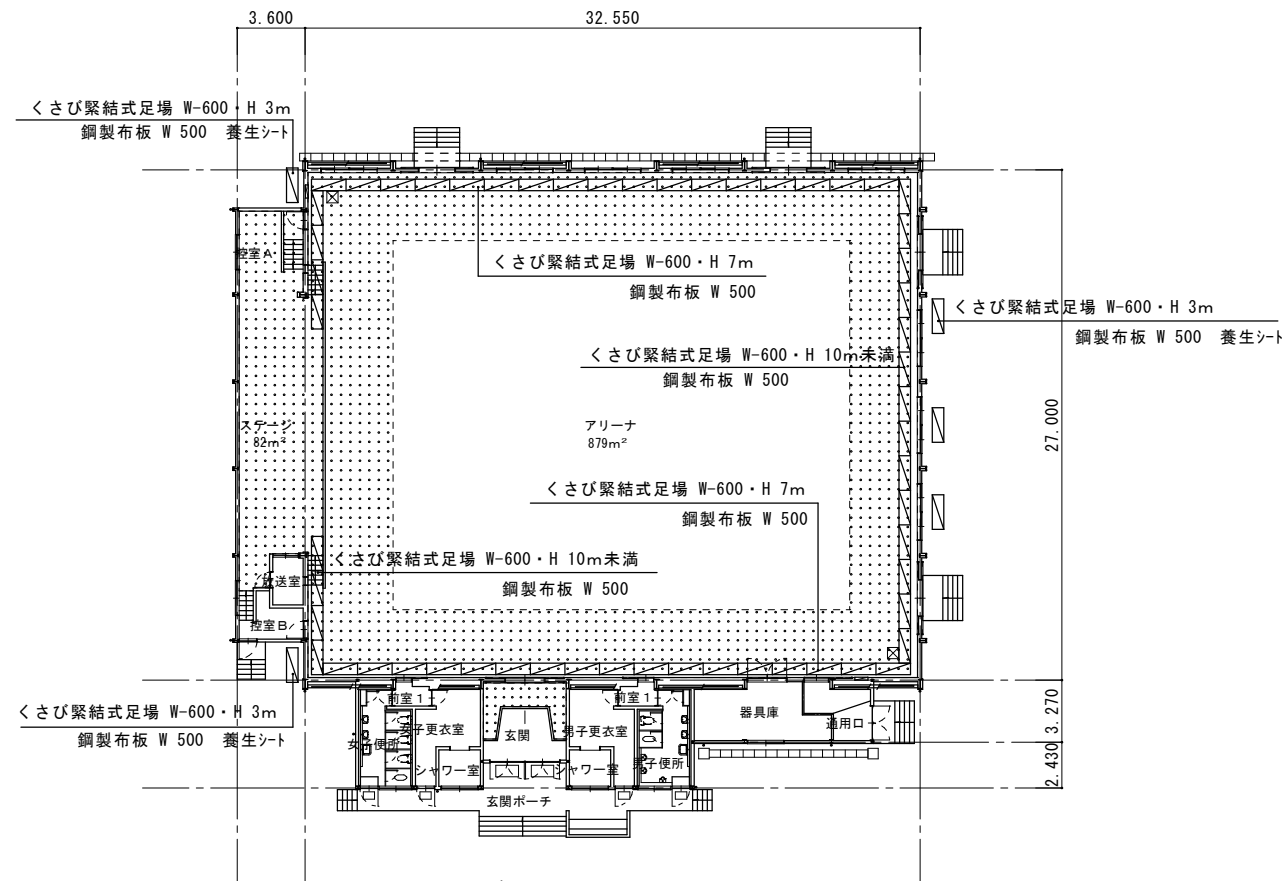
工事場所：春日部市中野746番地
春日部南中学校

案内図



- 凡例
- 工事対象建物を示す
 - 既設建物を示す

配置図 S=1:500



1階平面図 S=1:200

- 凡例
- : 今回工事建物を示す
 - : 搬入路及び搬入経路を示す
 - : 仮囲い(成型鋼板) H=3000(5m+15m) (40日)
 - : 工事業者出入口
 - : 交通誘導員(5人)を示す。(仮設材等の大型車両搬入時のみ)

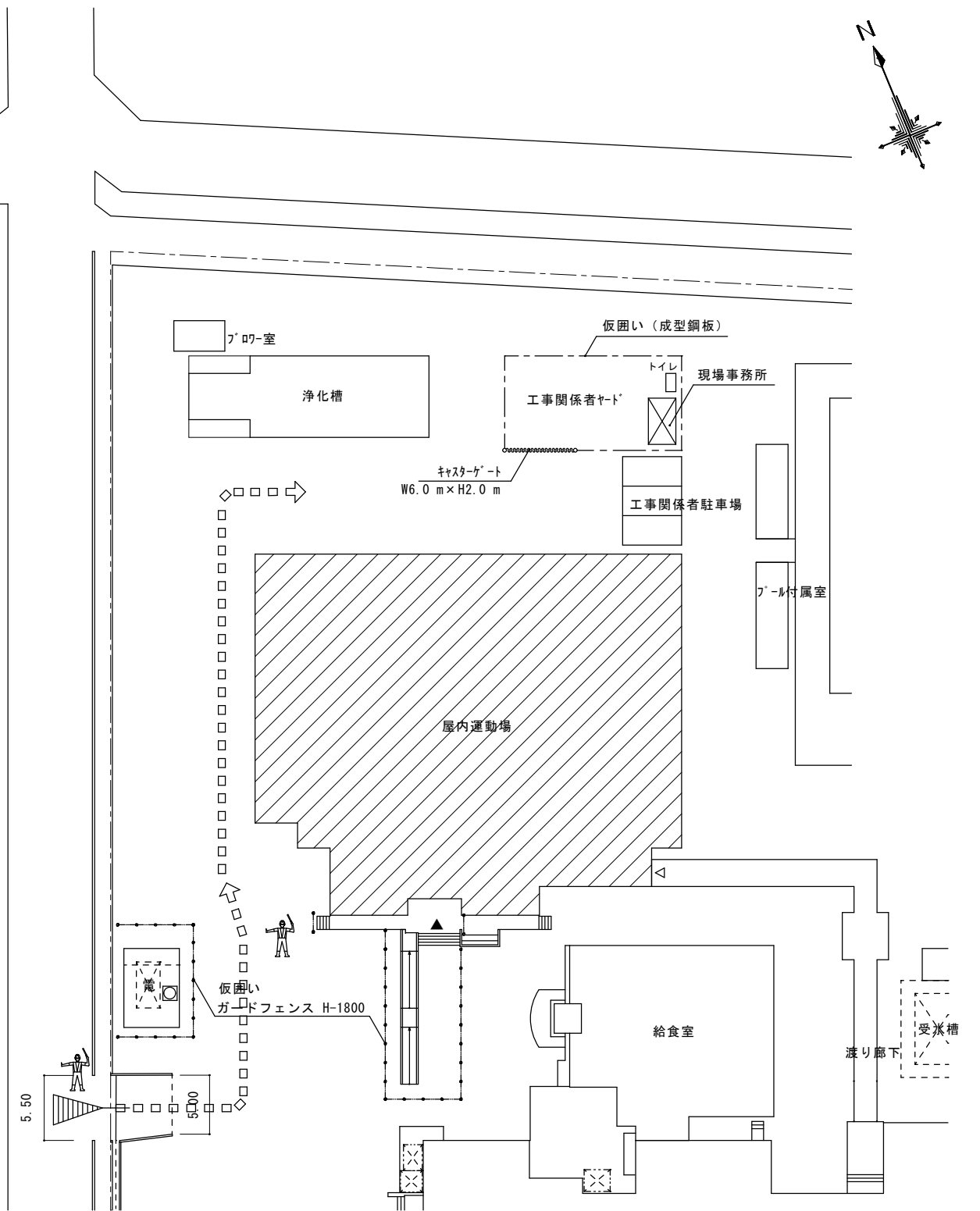
※敷地内の車両の走行は最徐行とし細心の注意を図ること。

※工事期間中も、工事範囲以外の他部屋及び校舎、校庭、グラウンド等を生徒が使用するので、工事範囲内と範囲外との区別を徹底し、安全に十分配慮することは勿論、不用意に生徒が工事範囲内に侵入しないよう十分管理を徹底すること。

また、作業員が不用意に工事範囲外に出ることの無いよう十分管理を徹底すること。

※工事車両は原則、資材等の搬出入時以外敷地内に進入出来ない。(工事車両は事前に搬出入台数について学校と打合せのこと。)

※仮設計画については、工事開始前に学校側と協議の上決定する。



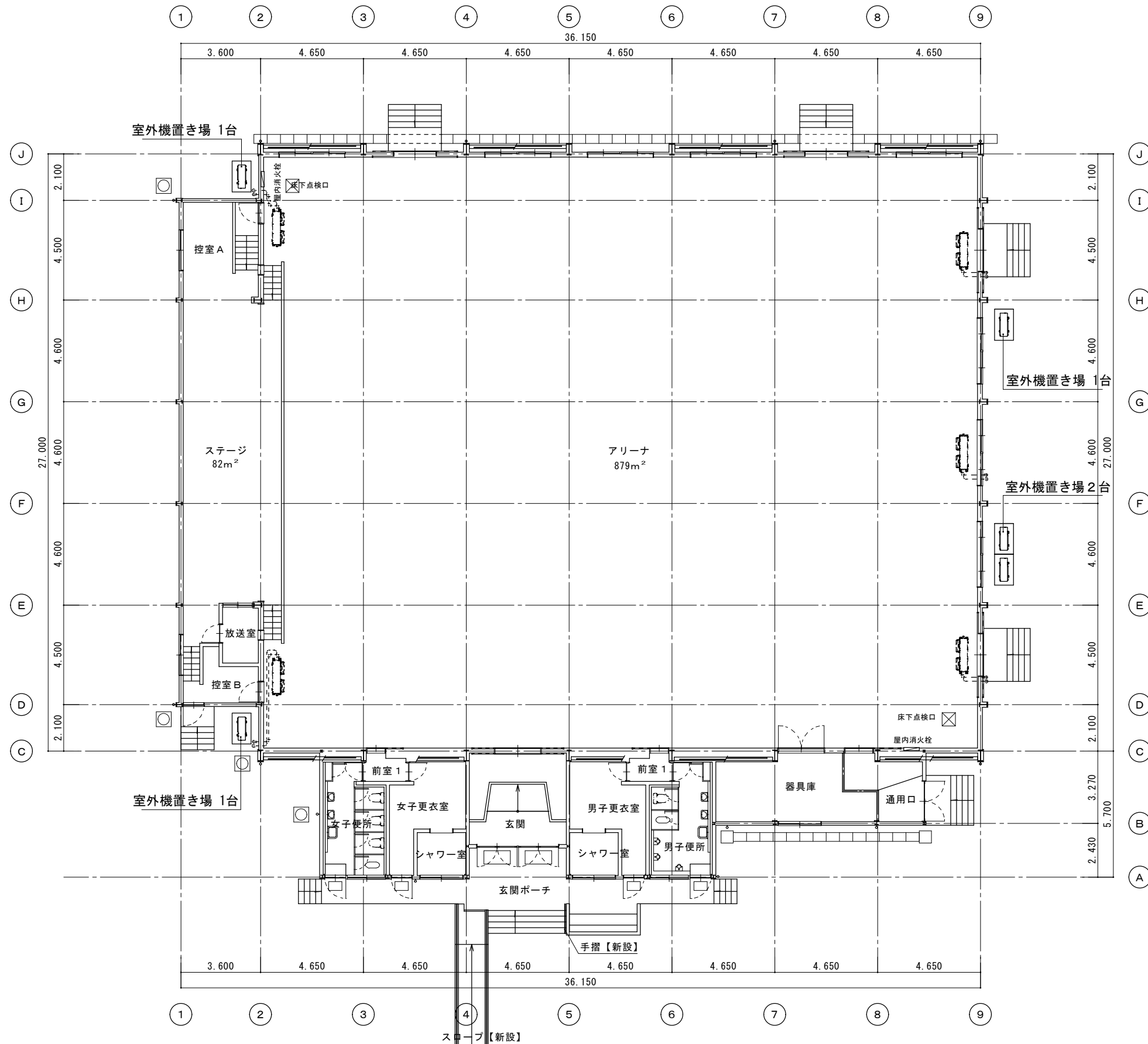
配置図 S=1:500

外部仕上 ※外部仕上げは既存のままとする。

屋根 (大屋根・ｽﾃｰｼﾞ屋根)	長尺カラー鉄板 28# 瓦棒葺き (勾配: 2.5不地) アスファルトルーフィング22kg、木毛板 t 25	外部建具	スチール製・アルミ製
	ゴムアスファルト複合塗膜防水	縦 樋	硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) 100φ (ステンレス製支持金物@1,200以内共)
下屋根	長尺カラー鉄板 28# 瓦棒葺き (勾配: 2.5不地) アスファルトルーフィング22kg、木毛板 t 25	外部廊下・ポーチ	モルタル塗 金コテ仕上げ、ノンスリップタイル
	ゴムアスファルト複合塗膜防水	笠 木 (大屋根・ｽﾃｰｼﾞ下屋)	耐水合板 t 15下地、カラー鉄板加工 大屋根・ｽﾃｰｼﾞ: ゴムアスファルト複合塗膜防水 下屋: 耐水合板 t 15下地、カラーガルバリウム鋼板 t 0.5加工
大屋根 ステージボーダー (幕板)	耐水合板 t 15下地、鉄板 t 1.2加工、特殊ラッカー塗り	雨 押 え(下屋)	カラーガルバリウム鋼板 t 0.5加工
	ﾌﾗｲﾏｰ塗、屋根用遮熱塗料塗り (塩ビ廻縁共)		
下屋ボーダー	耐水合板 t 15下地、カラーガルバリウム鋼板 t 0.5加工	箱 樋 (大屋根・ｽﾃｰｼﾞ下屋)	耐水合板 t 15下地、カラー鉄板加工 大屋根・ｽﾃｰｼﾞ: ゴムアスファルト複合塗膜防水 下屋: 耐水合板 t 15下地、耐酸被服鋼板 t 0.4加工、ゴムアスファルト複合塗膜防水
軒 裏	フレキシブルボード t 5 EP		
外 壁	防水紙、石膏ボード t 15下地、金属製サイディング t 15張り、ﾌﾗｲﾏｰ塗の上、外壁用遮熱塗料塗り	床下換気口	格子9φ @75 SOP (1000x300、600x300) 塩ビ製 150φ
外 巾 木	モルタル塗 金コテ押さえ 複層塗材E吹付け		
庇	長尺カラー鉄板 28# 瓦棒葺き、下地 耐水合板 t 15 屋根用遮熱塗料塗り 幕板: 耐水合板 t 15下地、鉄板 t 1.2加工、特殊ラッカー仕上げ 屋根用遮熱塗料塗り 軒裏: フレキシブルボード t 5 EP		※工事概要
			1. 室外機基礎: 2台連×1・1台×3【新設】
			2. アリーナ: 空調室内機・架台 5台【新設】
			※内部壁仕上げは一部撤去・新設とする。(図示)
			※床: 塩ビタイルは「石綿を含有」(レベル3) ※R5.11.24 分析結果報告書による。

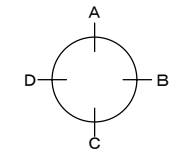
内部仕上 ※内部仕上げは既存のままとする。(玄関・アリーナ一部壁は除く)

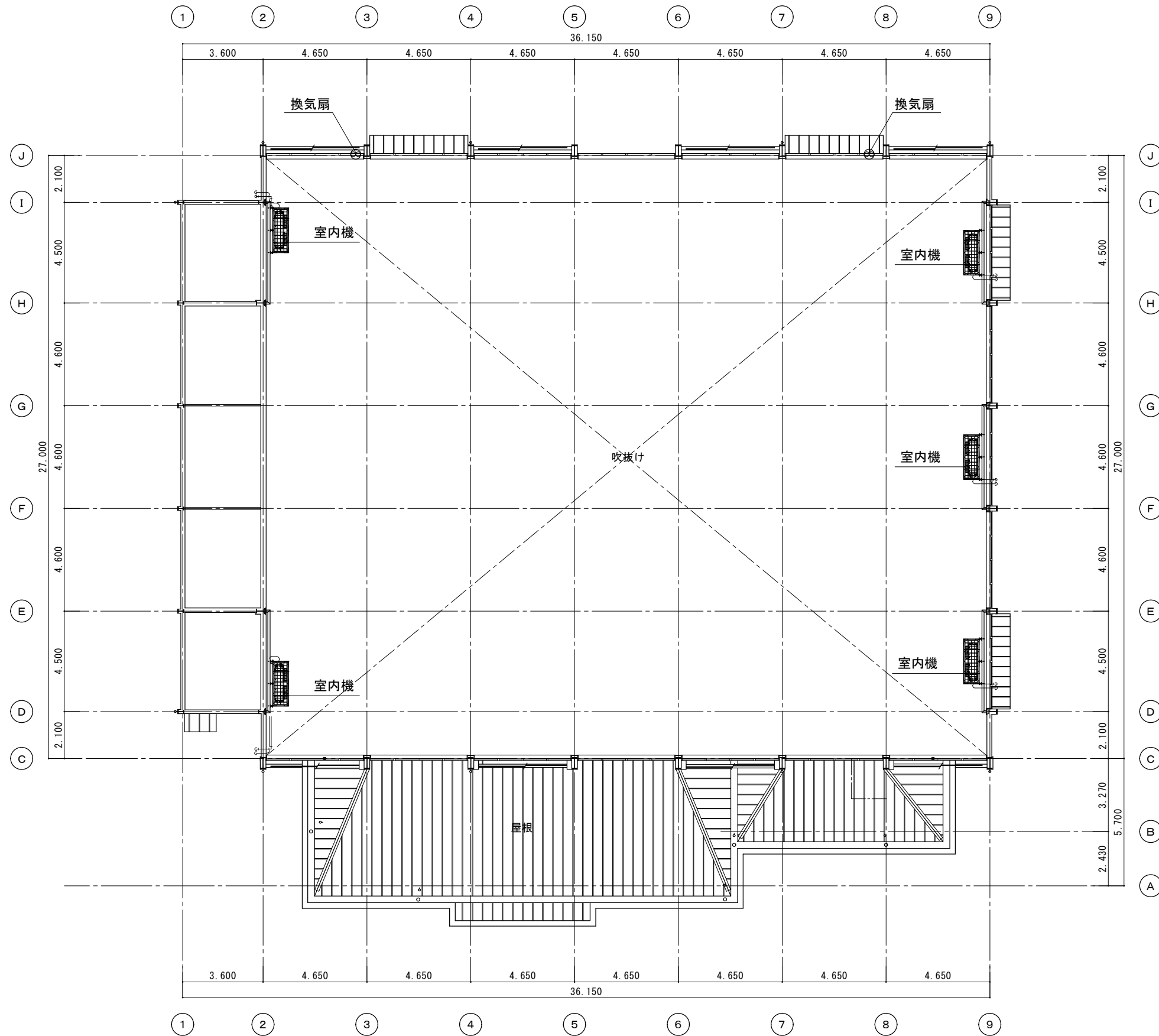
	床	巾 木	腰	壁	天 井	廻 縁		備 考
						廻 縁	廻 縁	
玄 関	クリンカータイル貼 150x150 【一部撤去】 長尺塩ビシート t 2.0貼 【一部撤去】 スロープ床: コンクリート打ちの上 スロープ・床共防滑性ビニル床シート 7 2.5【新設】	人研ブロック H=100 【一部撤去】	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP・EP	LGS下地、 石膏ボード t 9.5 EP	塩ビ製		
アリーナ	ﾌﾞﾅﾌﾞﾛｰﾘﾝｸﾞ t 18 ウレタン湿気硬化塗装 耐水合板 t 15捨張り	ﾗｳﾝ OS H=100	ﾗｳﾝ合板 t 12 目透しOS (窓下マデ)	ﾗｳﾝ合板 t 12 目透しOS 【一部撤去】 ﾗｳﾝ合板 t 12 目透しOS 【一部新設】		-	カーテンレール (高窓: ｱﾙﾐ製紐引きｼﾝｸﾞﾙ、地窓: ｱﾙﾐ製ｼﾝｸﾞﾙ) カーテンボックス 暗幕引綱【一部撤去・再取付け】 鋼製建具用オペレーター【一部撤去・再取付け】	
ステージ	ﾌﾞﾅﾌﾞﾛｰﾘﾝｸﾞ t 18 ウレタン湿気硬化塗装 耐水合板 t 15捨張り	ﾗｳﾝ OS H=100	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP	木毛板 t 25 顕わし	-	照明改修工事対象	
控室	ﾌﾞﾅﾌﾞﾛｰﾘﾝｸﾞ t 18、耐水合板 t 15捨張り 一部 モルタル下地、塩ビタイル t 2.0貼 アスベスト含有	ﾗｳﾝ OS H=100	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP	有孔石膏ボード t 9 目透しEP	塩ビ製	照明改修工事対象	
器具庫	モルタル塗 金コテ仕上げ	モﾙﾀﾙ塗金ｺﾃ EP H=100 ﾗｳﾝ OS	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	木毛板 t 25 顕わし、白セメント吹付け	-		
通用口	モルタル塗 金コテ仕上げ 長尺塩ビシート t 2.0貼	モﾙﾀﾙ塗金ｺﾃ EP H=100 ﾗｳﾝ OS	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	石膏ボード t 9 目透しEP	塩ビ製		
男子便所	モルタル下地、モザイクタイル貼 25x25 長尺塩ビシート t 2.0貼	一部、ﾗｳﾝ OS H=100	磁器質タイル貼 100x100 LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	フレキシブルボード t 5 目透しEP	塩ビ製		
女子便所	モルタル下地、モザイクタイル貼 25x25 モルタル下地、長尺塩ビシート t 2.0貼	一部、ﾗｳﾝ OS H=100	磁器質タイル貼 100x100 LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	フレキシブルボード t 5 目透しEP	塩ビ製		
男子更衣室	モルタル下地、長尺塩ビシート t 2貼 踏込: モルタル金ｺﾃ仕上げ 長尺塩ビシート t 2.0貼	一部、ﾗｳﾝ OS H=100	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	フレキシブルボード t 5 目透しEP	塩ビ製		
女子更衣室	モルタル下地、長尺塩ビシート t 2貼 踏込: モルタル金ｺﾃ仕上げ 長尺塩ビシート t 2.0貼 貼替え	一部、ﾗｳﾝ OS H=100	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	フレキシブルボード t 5 目透しEP	塩ビ製		
男子シャワー室 女子シャワー室	モルタル金ｺﾃ仕上げ	-	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗 磁器質タイル貼	フレキシブルボード t 5 目透しEP	塩ビ製		
前室 1、2	モルタル下地 長尺塩ビシート t 2.0貼	一部、ﾗｳﾝ OS H=100	-	ﾗｽｼｰﾄ下地、モルタル塗金ｺﾃ VP LGS下地、耐水合板 t 12+ｷｲｶﾞﾙ板 t 6 EP	フレキシブルボード t 5 目透しEP	塩ビ製		



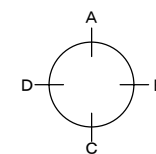
1階平面図 S=1:100

※空調室外機は設備配管を避けて設置すること。





中間階平面図 S=1:100

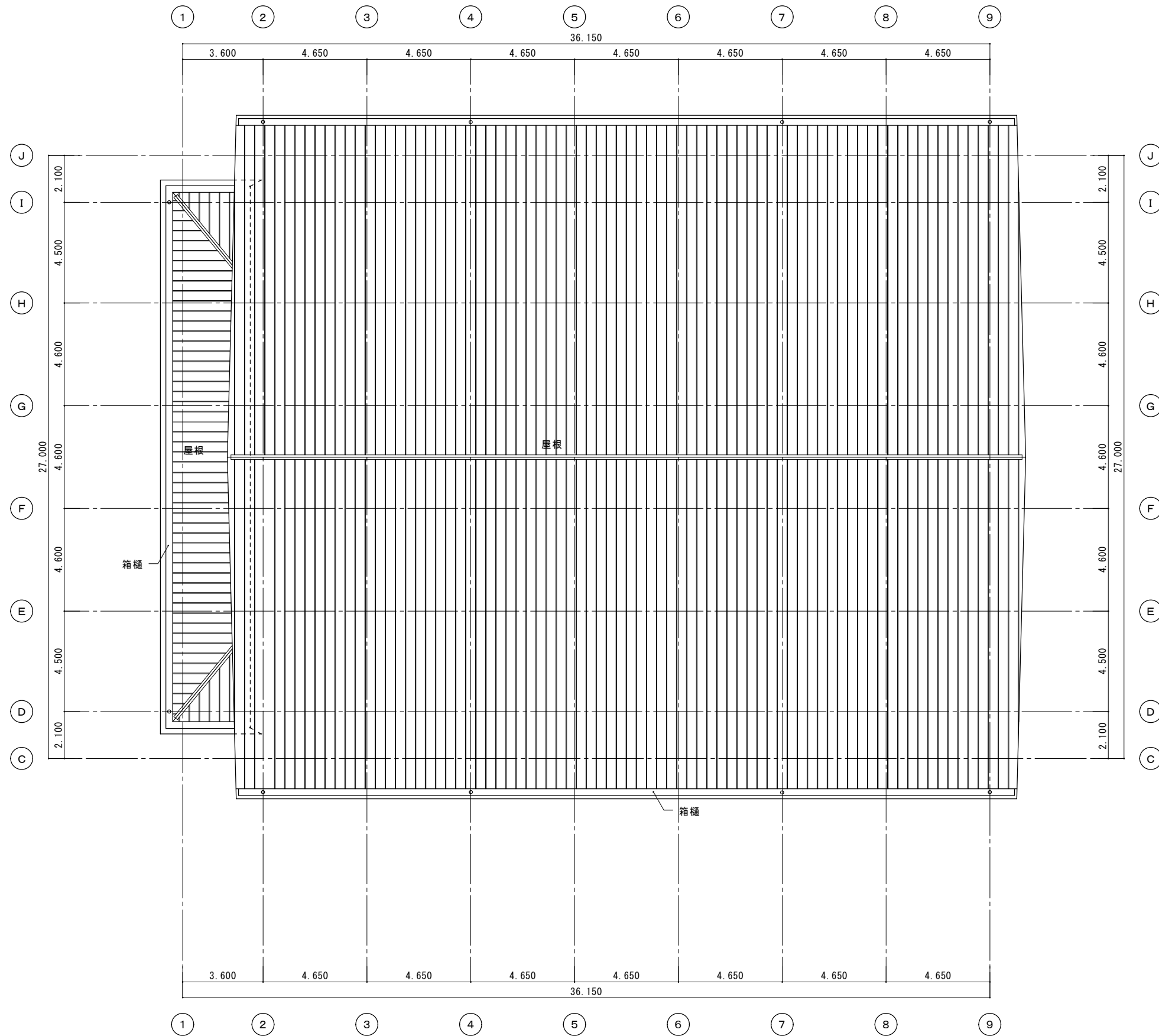


春日部市
学校教育課
教育施設課

日付
2024. 2. 16
縮尺 A1 : 1/100
A3 : 1/200

工事名称
中学校等避難所空調設備設置工事 (春日部南中学校)
図面名称
中間階平面図

図面No.
A-05



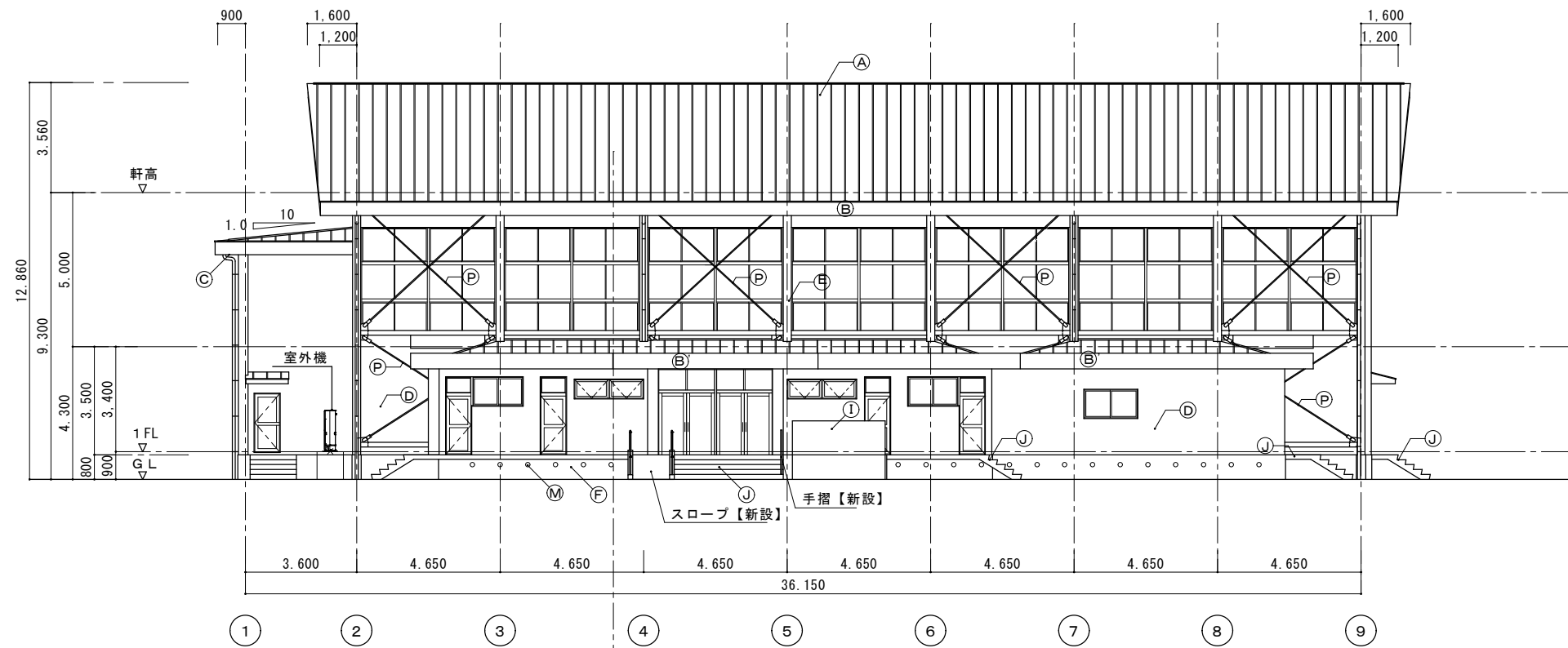
屋根伏図 S=1:100

春日部市
学校教育課
教育施設課

日付
2024. 2. 16
縮尺 A1 : 1/100
A3 : 1/200

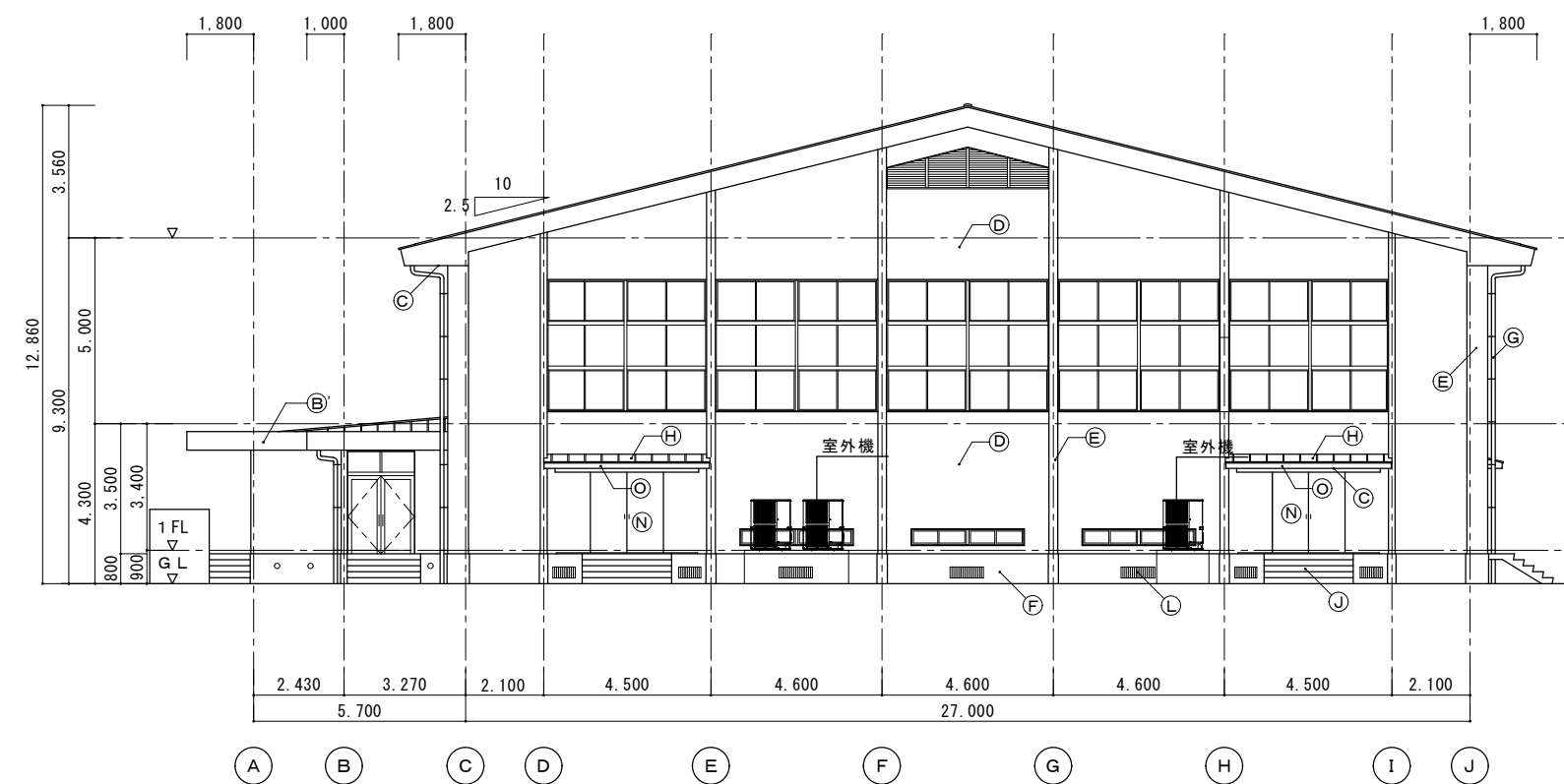
工事名称
中学校等避難所空調設備設置工事（春日部南中学校）
図面名称
屋根伏図

図面No.
A-06

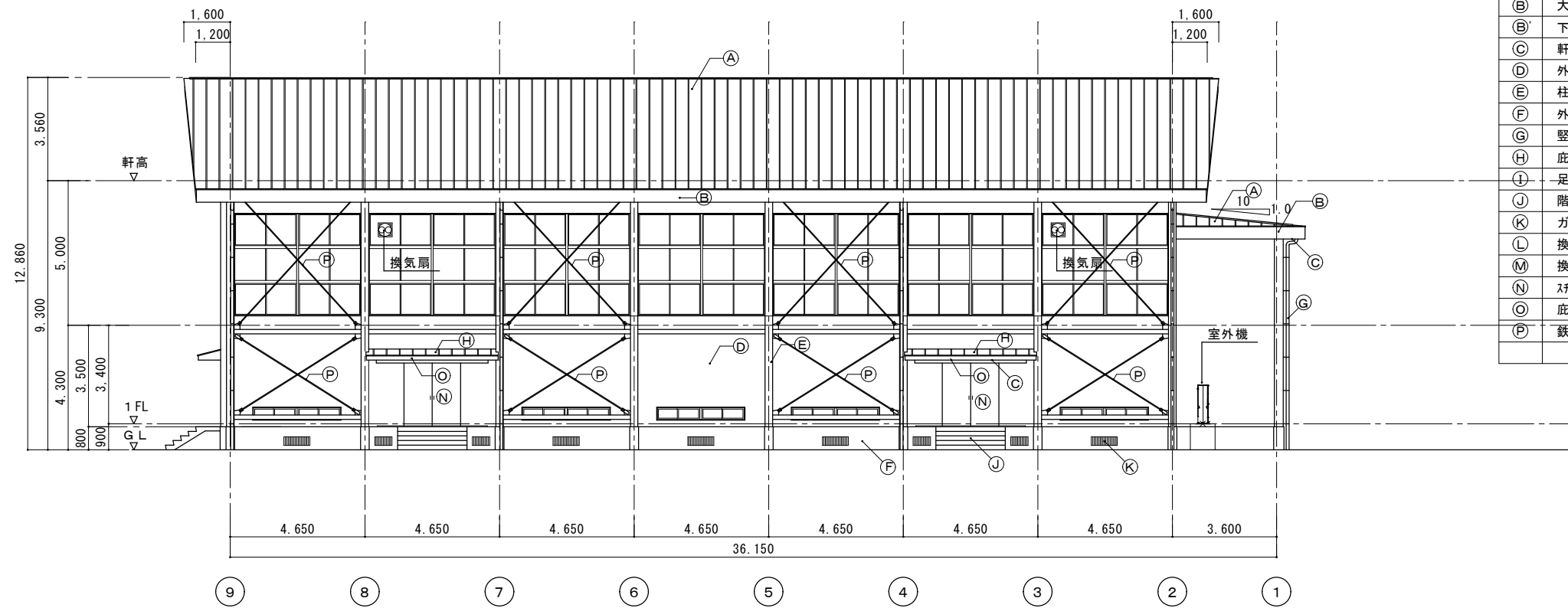


南側立面図 S=1:100

外部仕上		
(A)	屋根	ゴムアスファルト複合塗膜防水 (高反射仕様)
(B)	大屋根ポーチ	屋根用遮熱塗装 カラーガルバリウム鋼板鋼板 t0.5加工
(B')	下屋根ポーチ	耐水合板 t15下地、
(C)	軒裏	フレキシブルボード t=5 EP塗 (目透し張)
(D)	外壁	石膏ボード t15下地、金属製サイディング張り 外壁用遮熱塗装
(E)	柱型	石膏ボード t15下地、金属製サイディング張り 外壁用遮熱塗装
(F)	外巾木	複層仕上塗材E吹付け
(G)	縦樋	硬質ポリ塩化ビニル管100φ・支持金物@1200以内
(H)	庇	屋根用遮熱塗装
(I)	足洗場	RC造
(J)	階段	RC造
(K)	ガラリー	アルミ製900×450 3箇所
(L)	換気口	スチール製 1000×350 13箇所 SOP塗
(M)	換気口	樹脂製 150φ 28箇所
(N)	スチール製建具	SOP塗装 (内外共)
(O)	庇 幕板	屋根用遮熱塗装
(P)	鉄部	SOP塗装

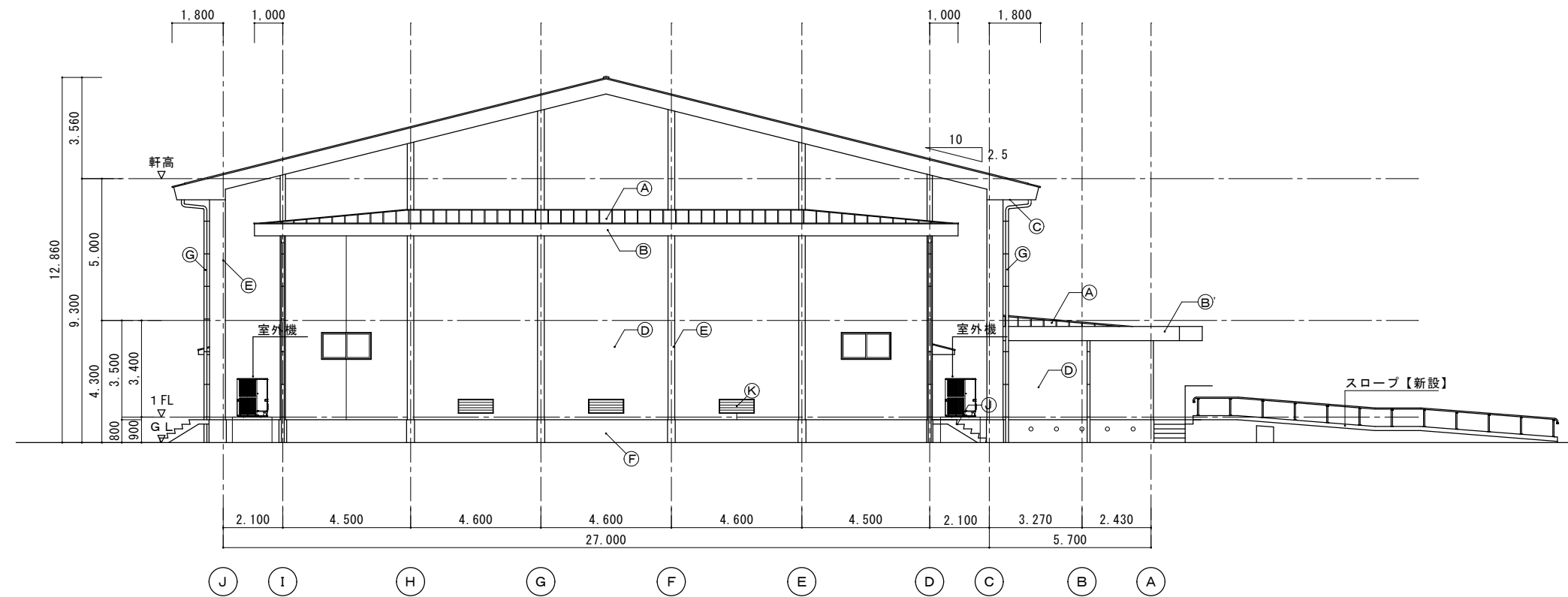


東側立面図 S=1:100

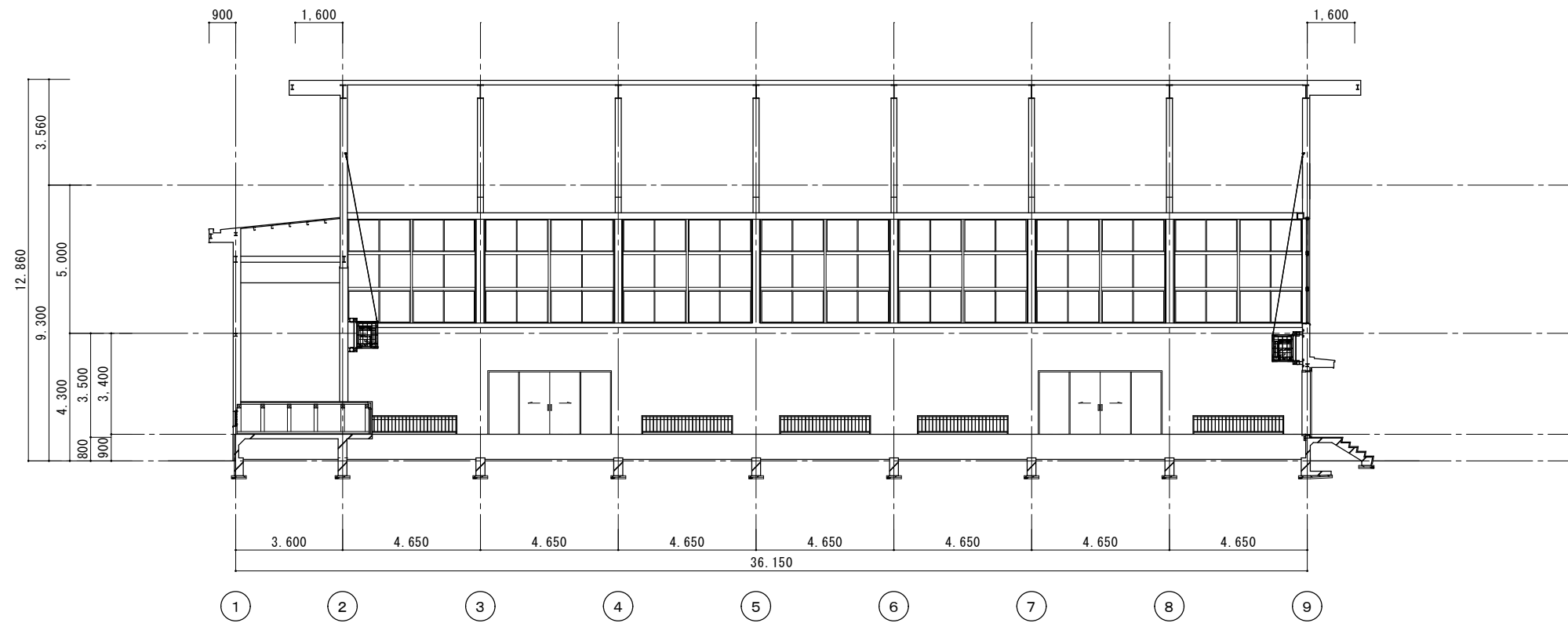


北側立面図 S=1:100

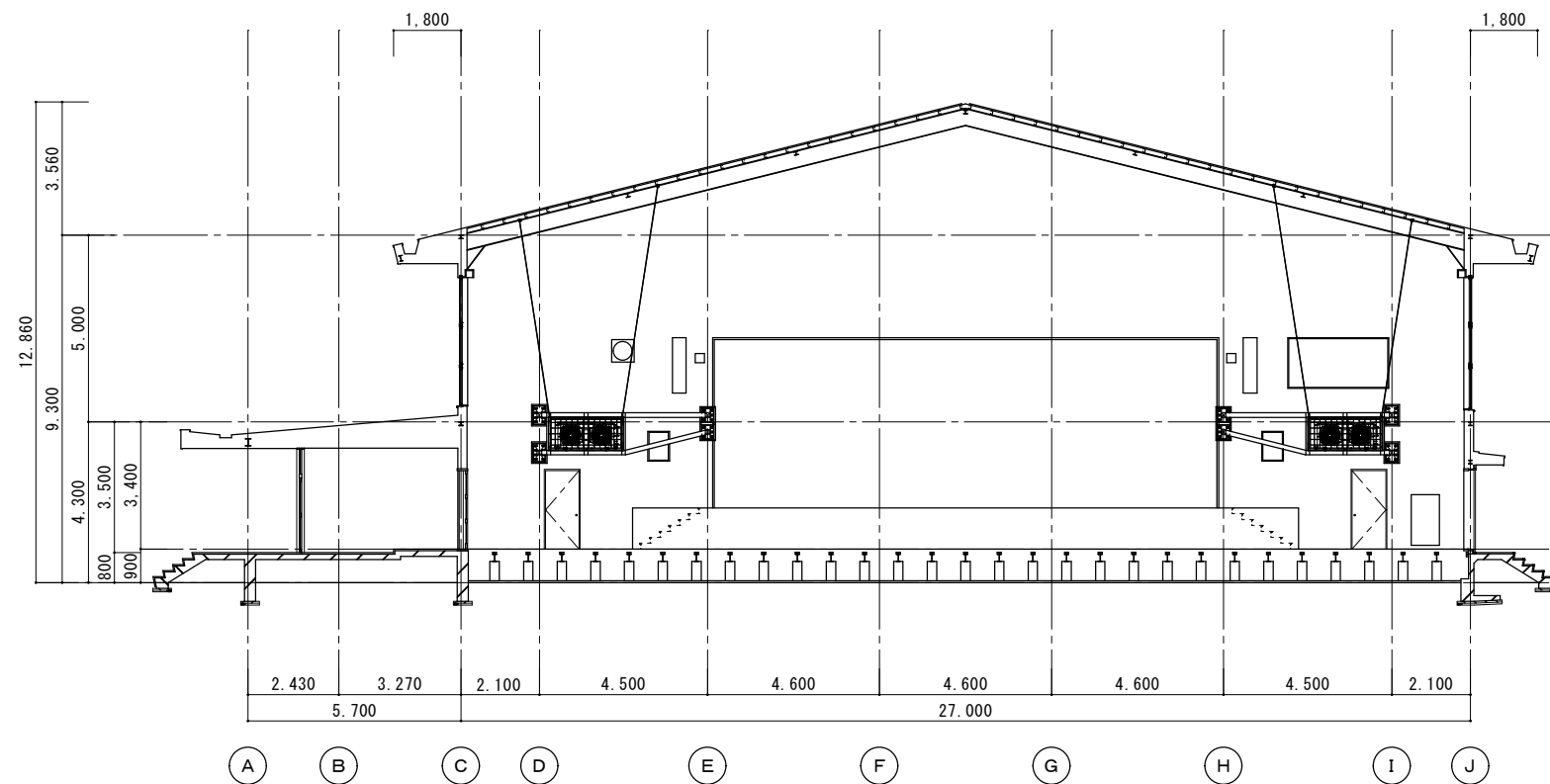
外部仕上		
(A)	屋根	ゴムアスファルト複合塗膜防水 (高反射仕様)
(B)	大屋根ポーチ	屋根用遮熱塗装 カラーガルバリウム鋼板鋼板 t0.5加工
(B')	下屋根ポーチ	耐水合板 t15下地、
(C)	軒裏	フレキシブルボード t=5 EP塗 (目透し張)
(D)	外壁	石膏ボード t15下地、金属製サイディング張り 外壁用遮熱塗装
(E)	柱型	石膏ボード t15下地、金属製サイディング張り 外壁用遮熱塗装
(F)	外巾木	複層仕上塗材E吹付け
(G)	縦樋	硬質ポリ塩化ビニル管100φ・支持金物@1200以内
(H)	庇	屋根用遮熱塗装
(I)	足洗場	RC造
(J)	階段	RC造
(K)	ガラリー	アルミ製900×450 3箇所
(L)	換気口	スチール製 1000×350 13箇所 SOP塗
(M)	換気口	樹脂製 150φ 28箇所
(N)	スチール建具	SOP塗装 (内外共)
(O)	庇 幕板	屋根用遮熱塗装
(P)	鉄部	SOP塗装



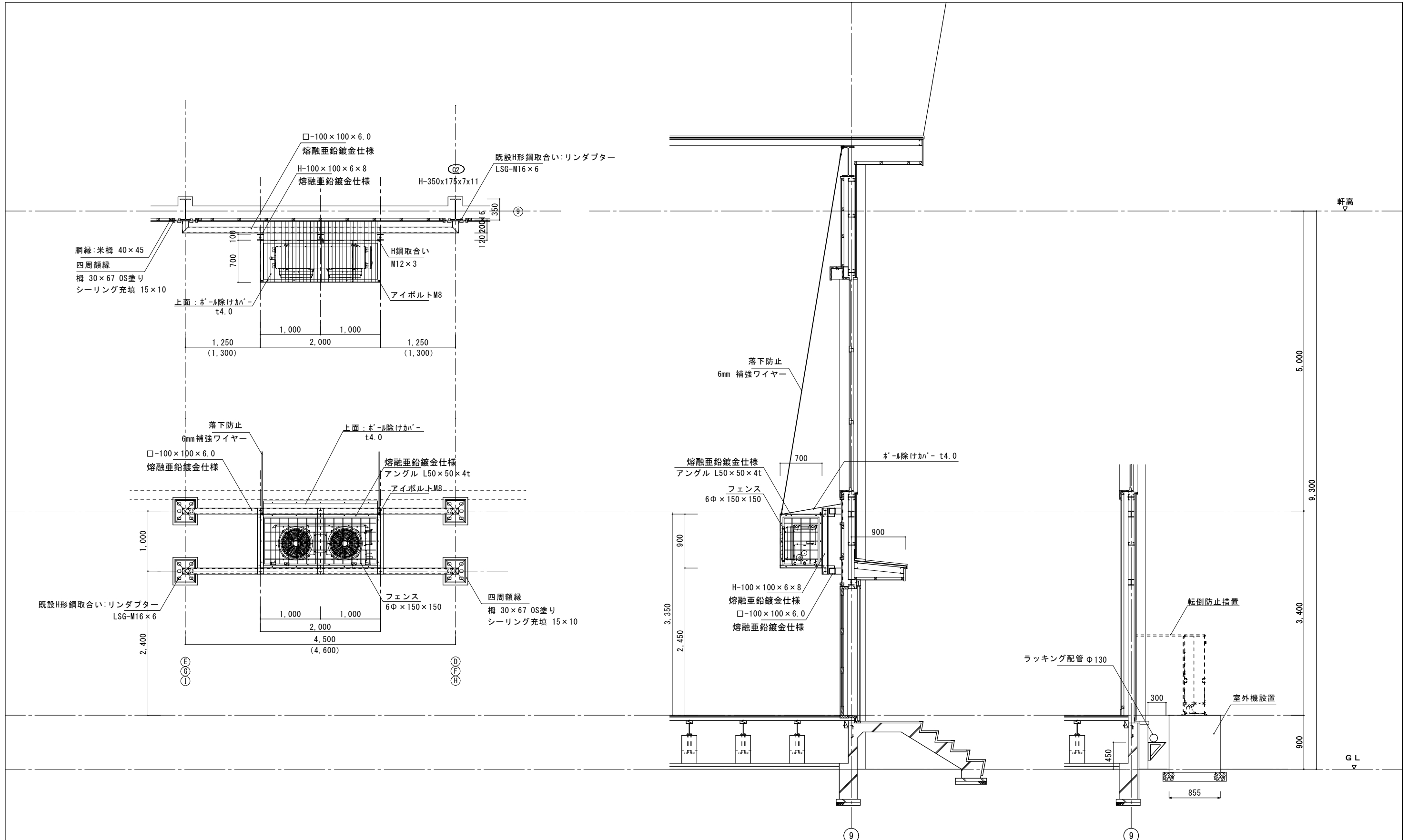
西側立面図 S=1:100



断面図 S=1:100



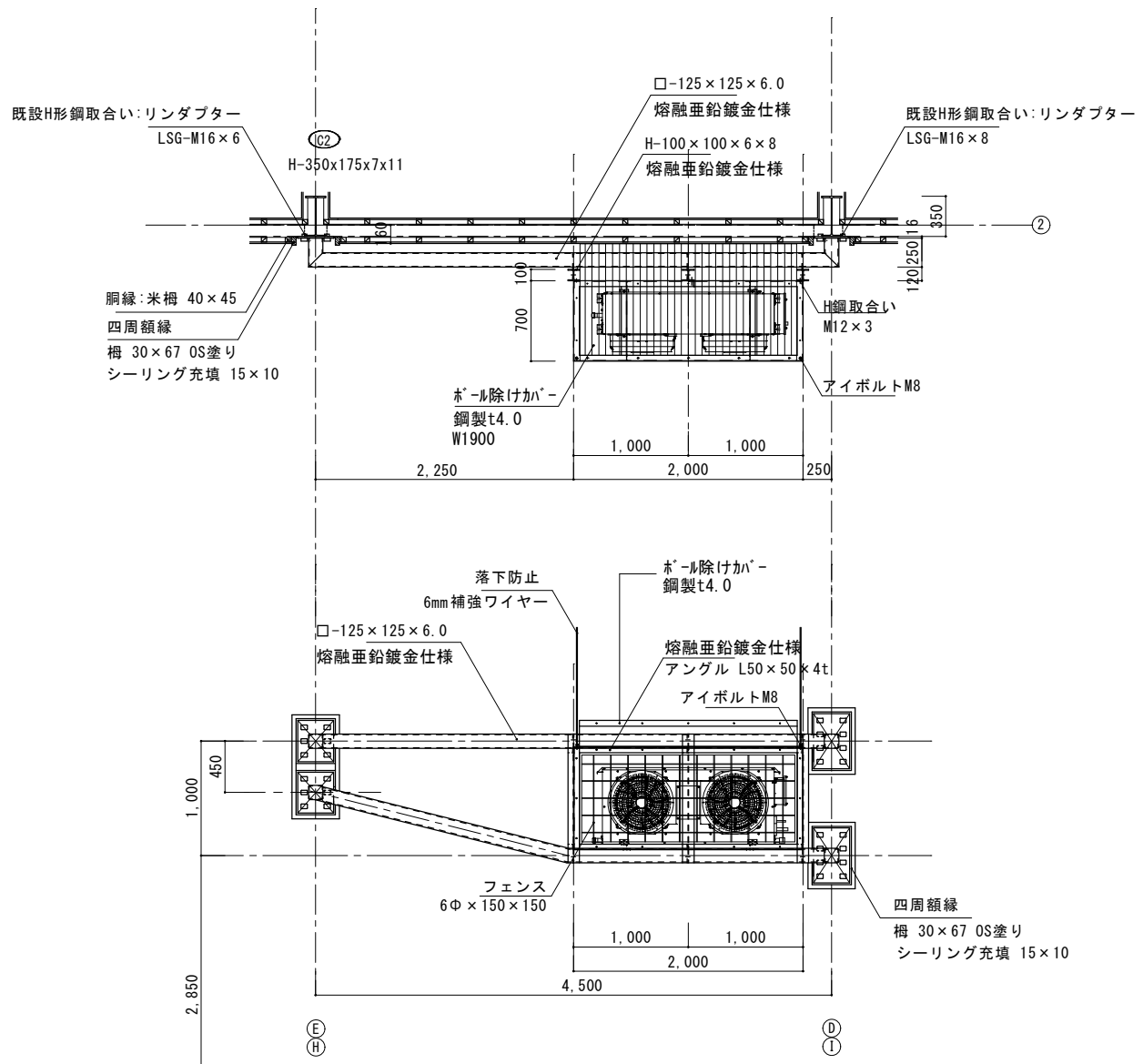
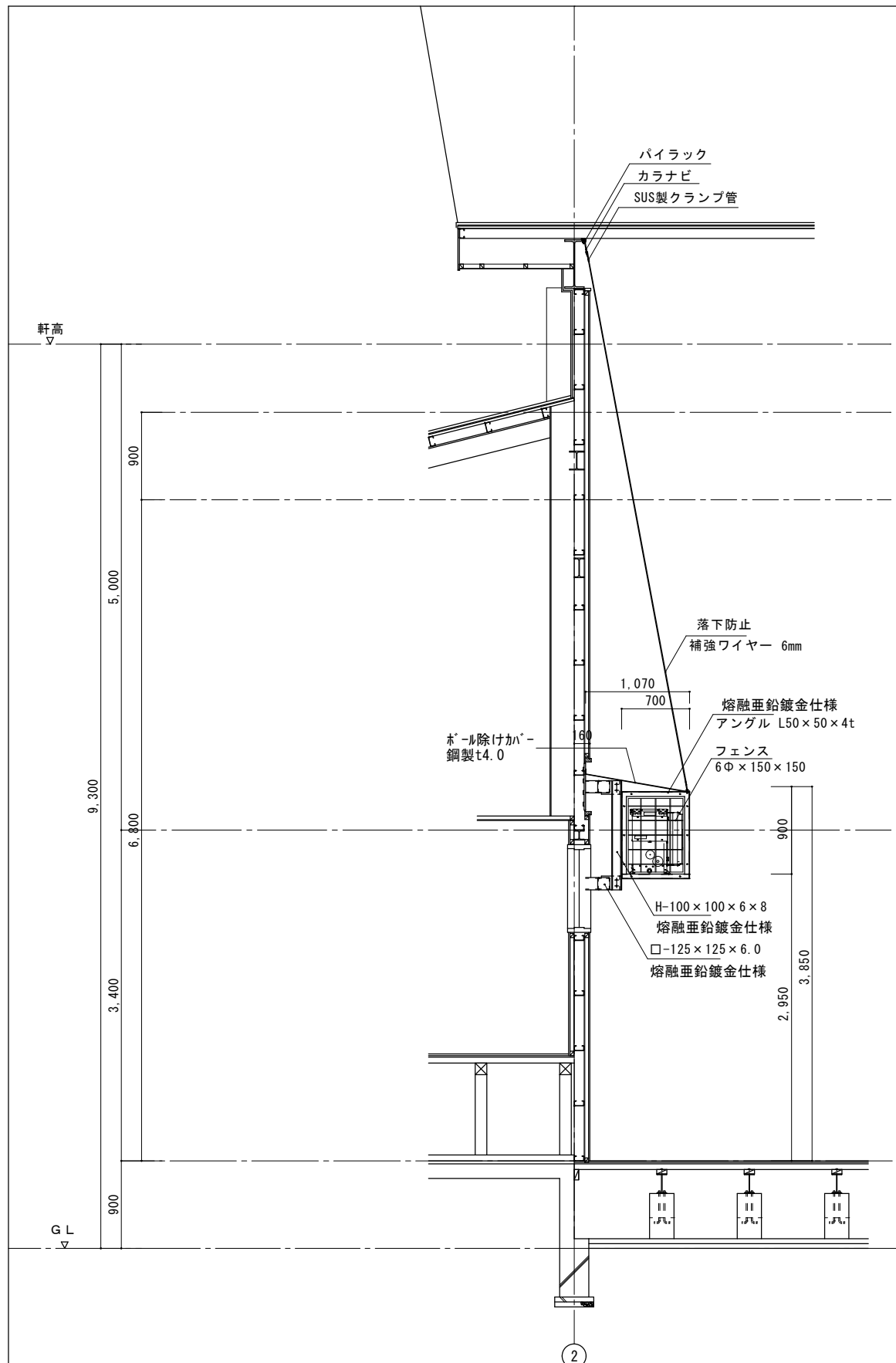
断面図 S=1:100



※空調架台受け鉄骨は現地調査の上製作すること。

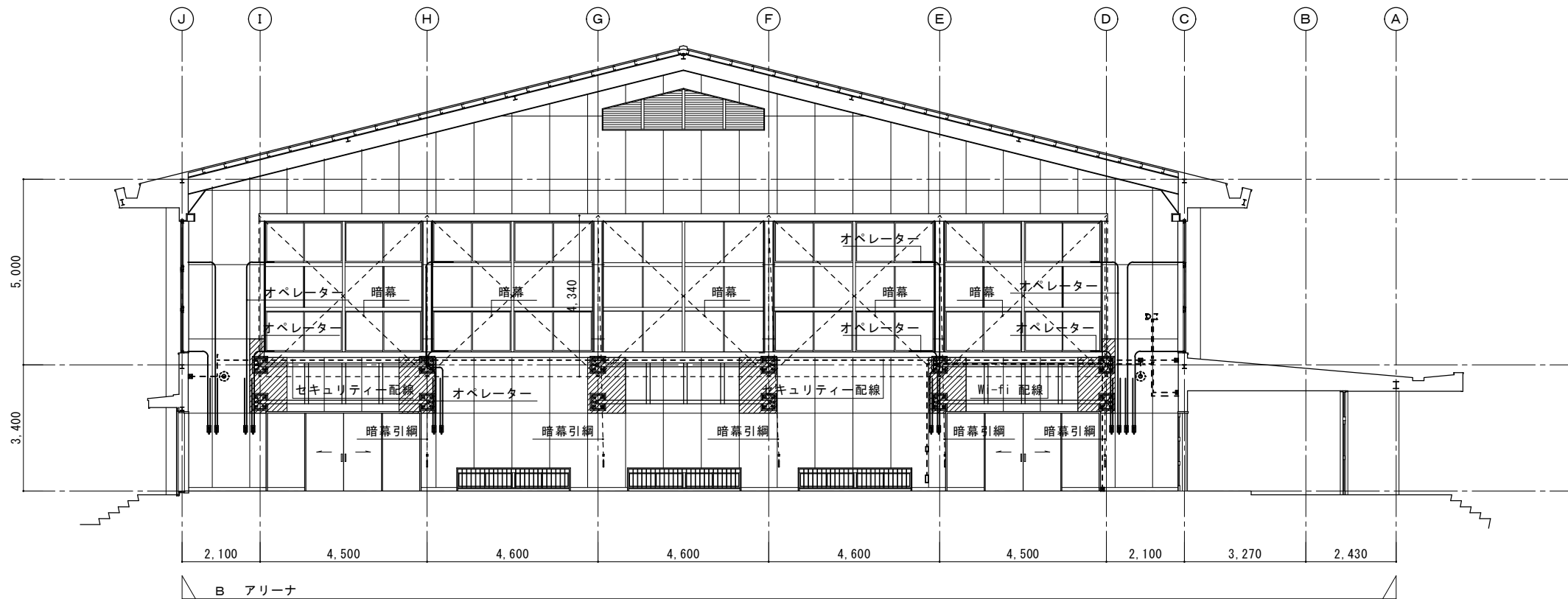
※空調室外機は設備配管を避けて設置すること。

矩計図 S=1:30

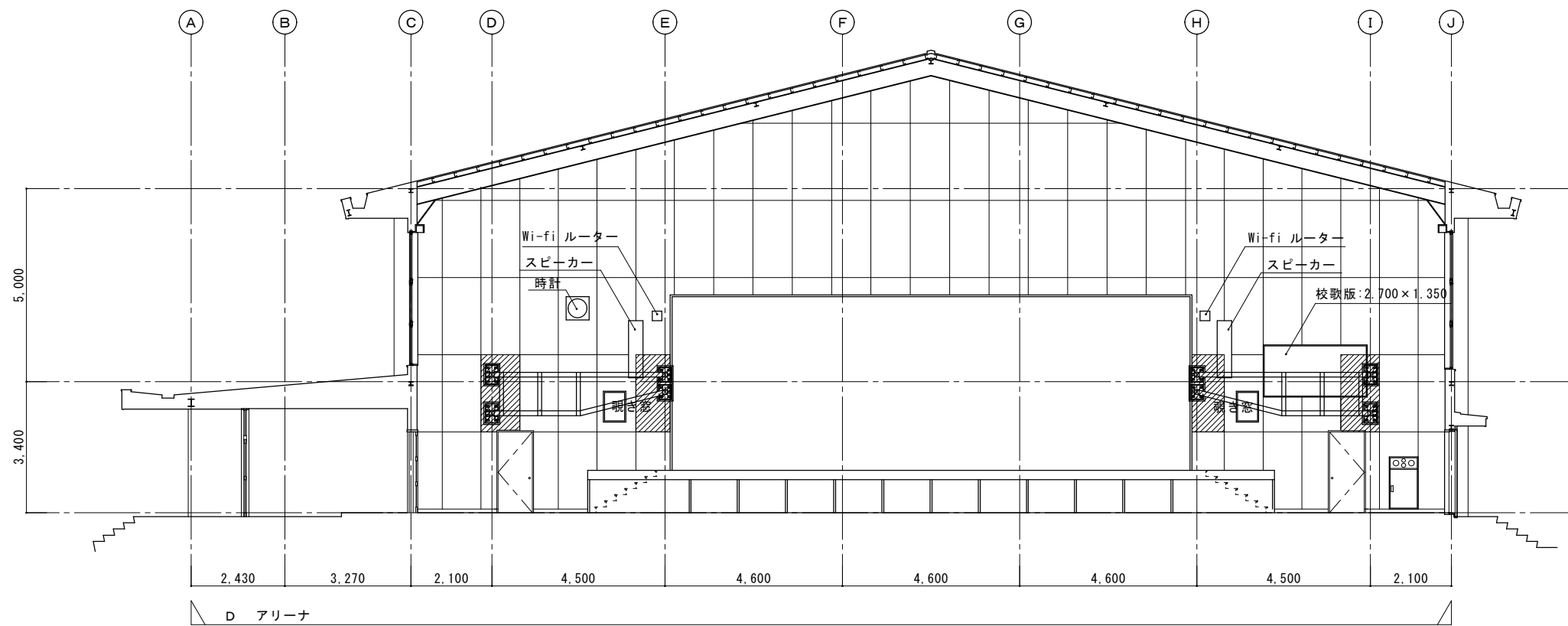


※空調架台受け鉄骨は現地調査の上製作すること。

矩計図 S=1:30



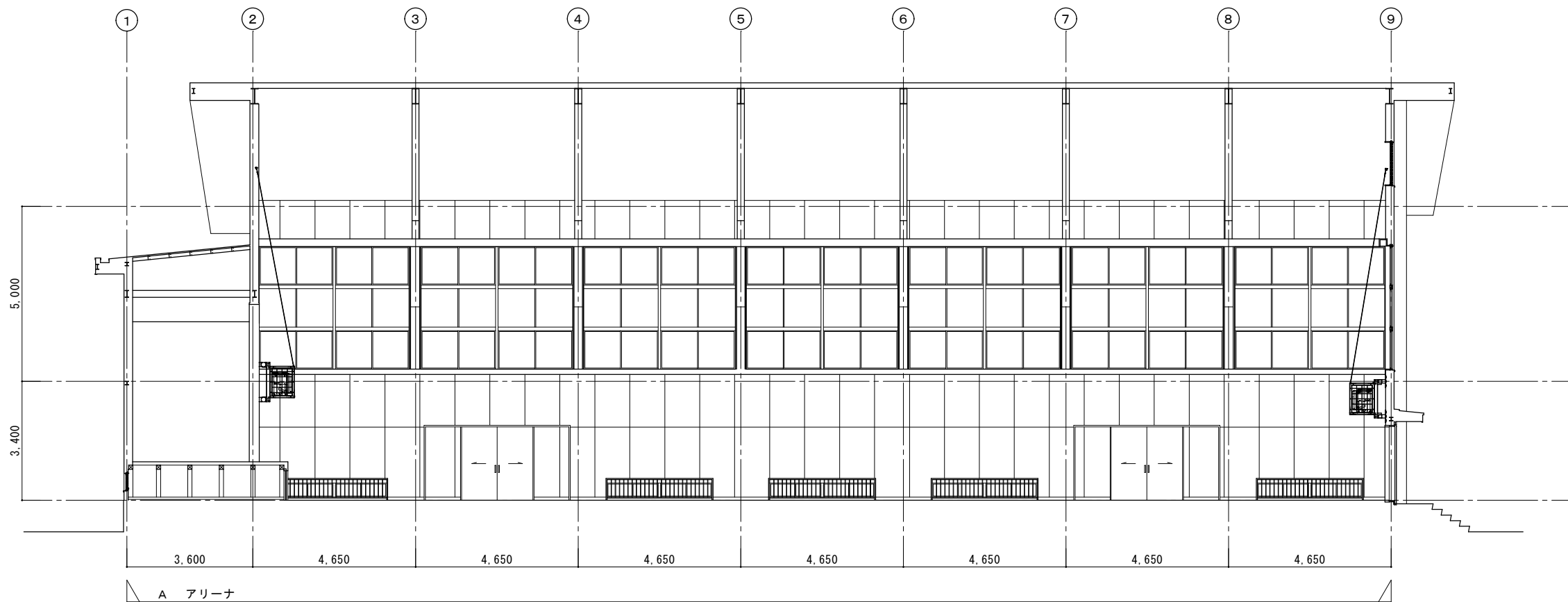
展開図 S=1:75



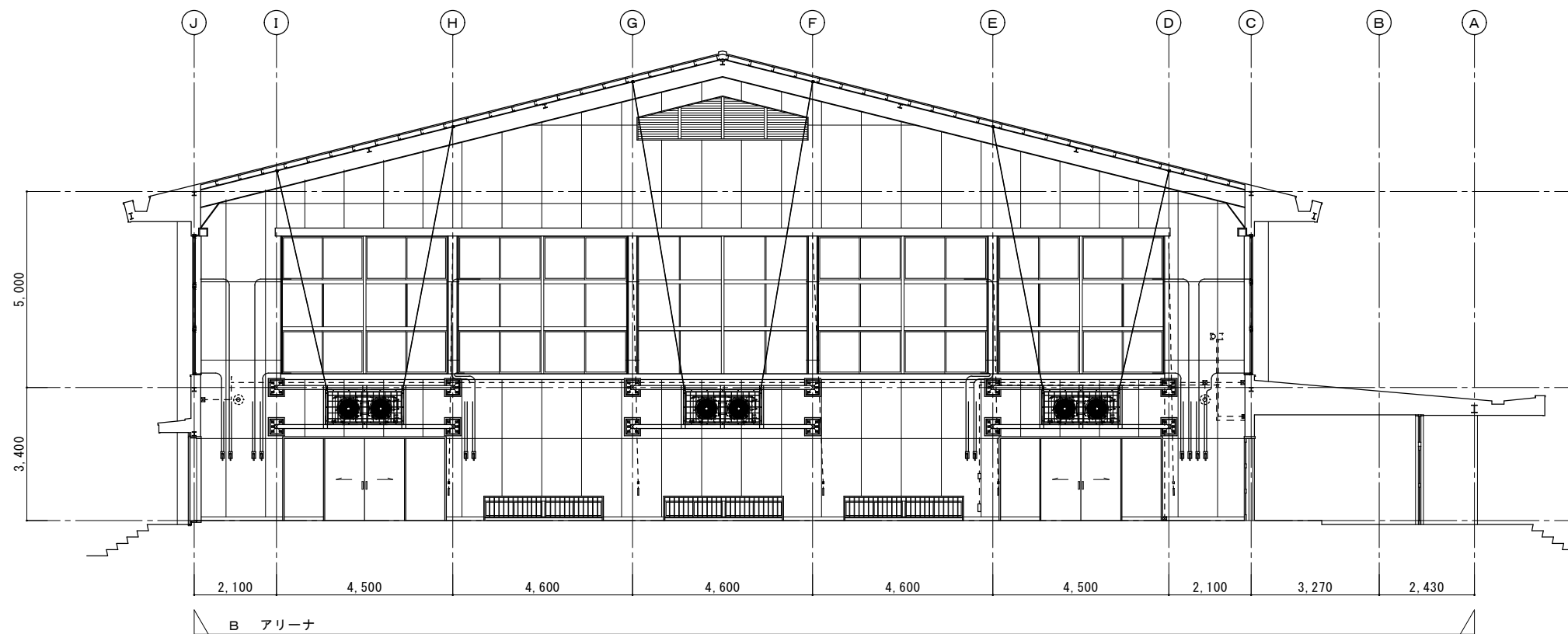
展開図 S=1:75

凡例

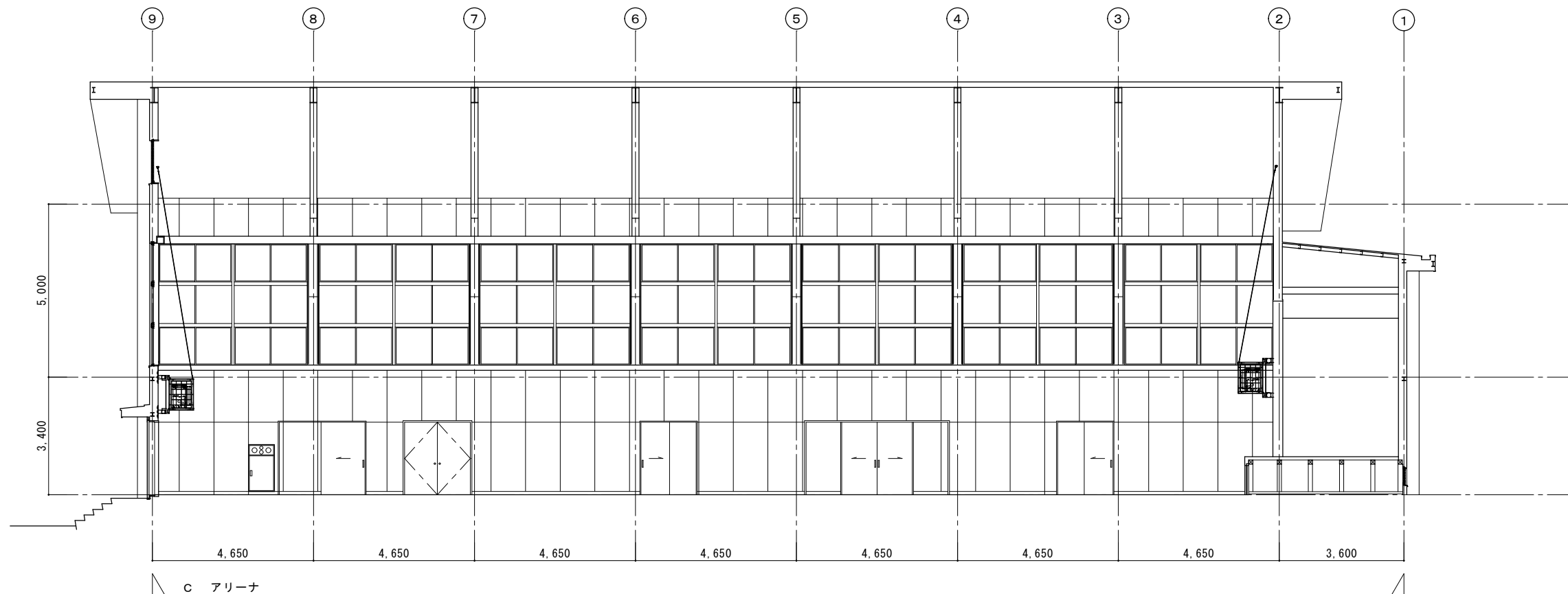
- ※壁:ラワン合板 7 12 OS塗り【撤去・新設】
- ※校歌版:【撤去・再取付け】落下防止対策金物共取付位置現場打合せ
- ※オペレーター:【撤去・新設】
- ※暗幕引綱:【撤去・再取付け】
- ※セキュリティ配線:【撤去・新設】
- ※スピーカー:【撤去・再取付け】落下防止対策金物共取付位置現場打合せ



展開図 S=1:75

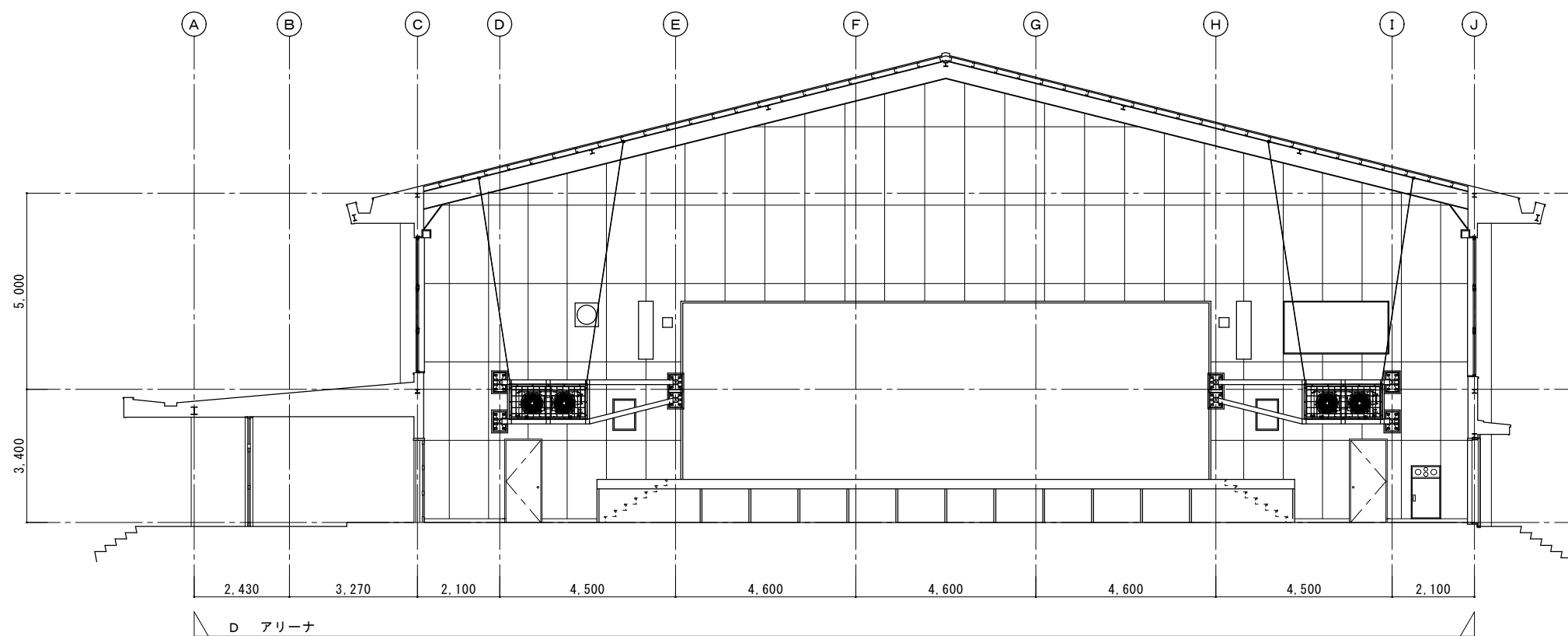


展開図 S=1:75



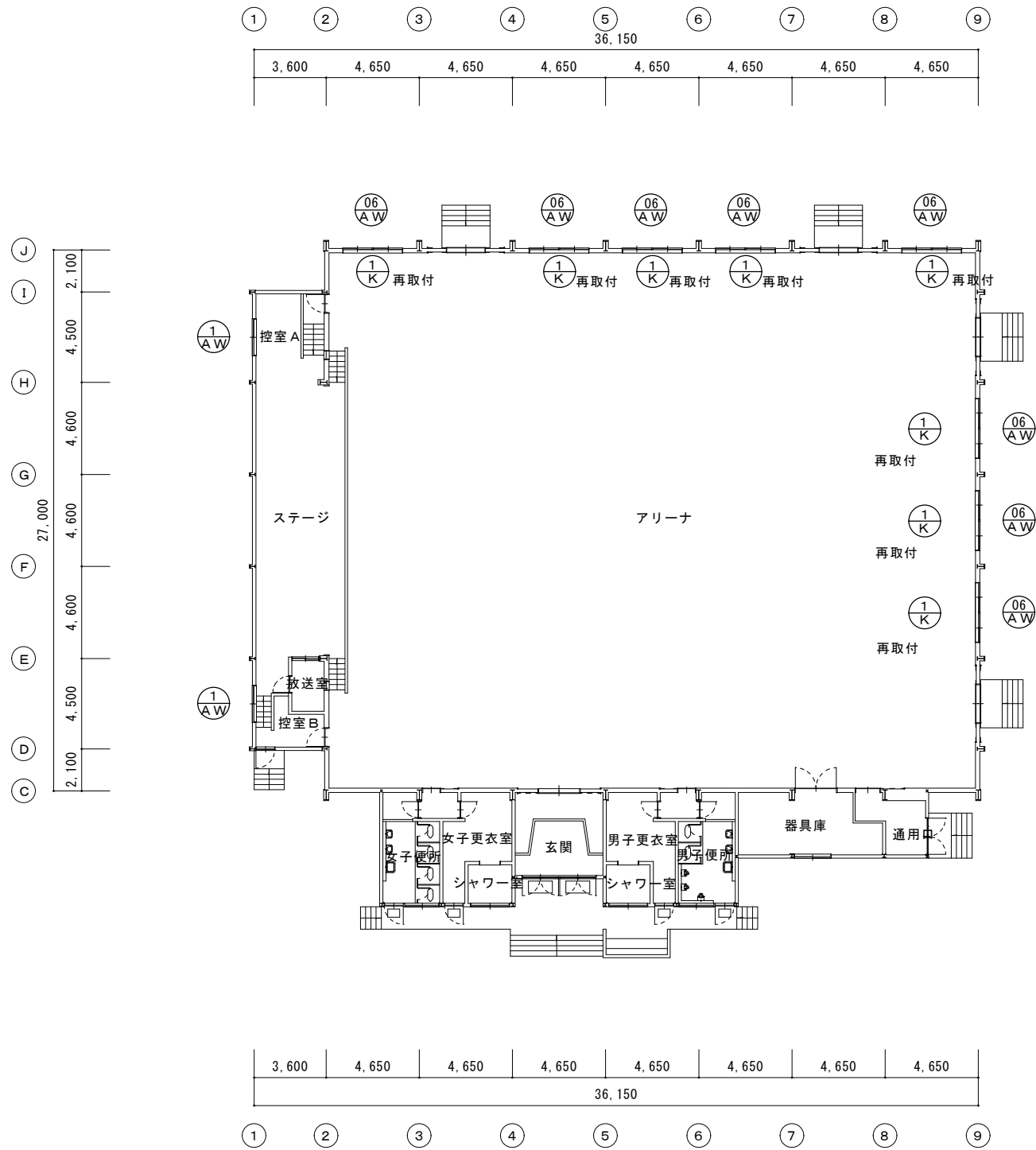
c アリーナ

展開図 S=1:75

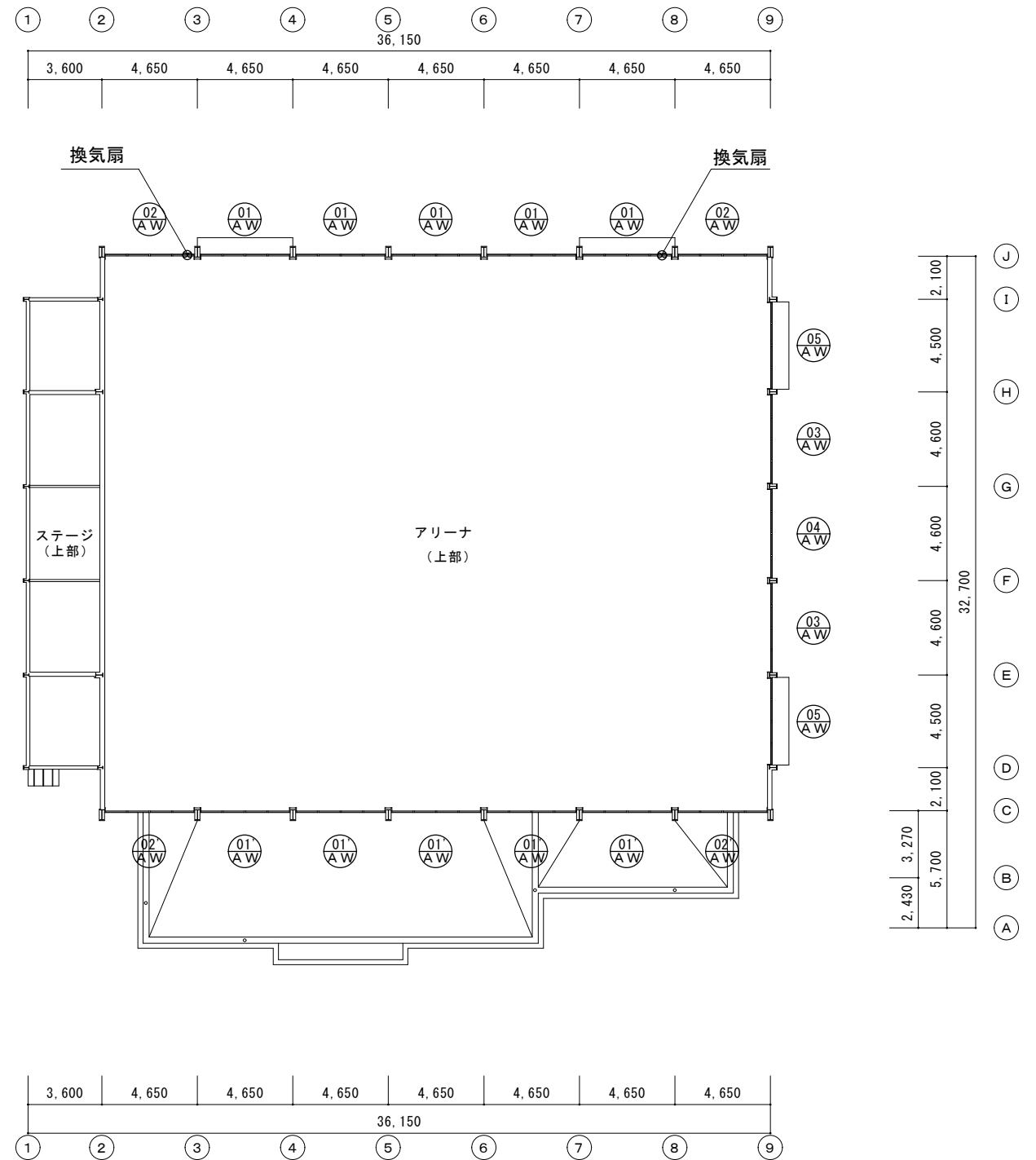


D アリーナ

展開図 S=1:75

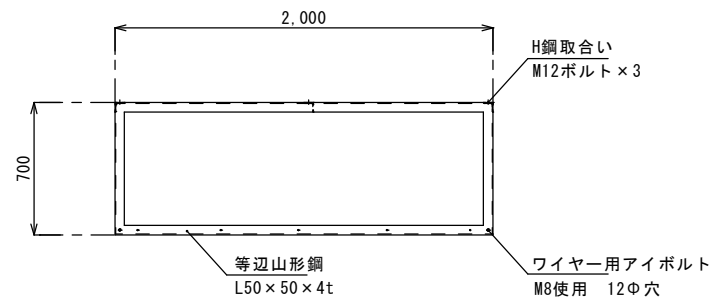


1階キープラン図 S=1:150

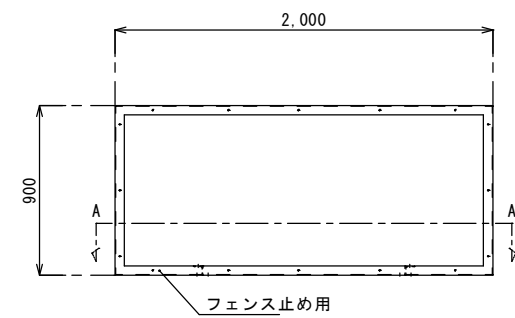


中間階キープラン図 S=1:150

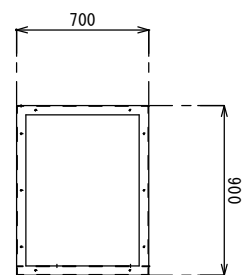
記号・使用場所・数量	① AW 控室 2カ所	① AW アリーナ 5カ所	① AW アリーナ 5カ所	② AW アリーナ 2カ所	② AW アリーナ 2カ所	③ AW アリーナ 2カ所	
姿 図 改 修 前							
型 式	引き違い窓	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	
見 込	70	70	70	70	70	70	
材 質・仕 様	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
仕 上		シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	
ガラス種類・ガラス押え	網入り型板ガラス t 6.8	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	
付 属 金 物	4方アングルピース、クレセント、水切皿板、外水切	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	
備 考	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	
記号・使用場所・数量	① AW 控室 2カ所	① AW アリーナ 5カ所	① AW アリーナ 5カ所	② AW アリーナ 2カ所	② AW アリーナ 2カ所	③ AW アリーナ 2カ所	
姿 図 改 修 後	飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	⑦-⑧ アルミパネル 7 3に変更 (片引き窓ストッパー取付け) 飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	②-③ アルミパネル 7 3に変更 (片引き窓ストッパー取付け) 飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	②-③ アルミパネル 7 3に変更 (片引き窓ストッパー取付け) 飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	②-③ アルミパネル 7 3に変更 (片引き窓ストッパー取付け) 飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	ハンドル式オペレーター【撤去・新設】 2台(上・下) × 2カ所 飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	
型 式							
見 込							
材 質・仕 様							
仕 上							
ガラス種類・ガラス押え							
付 属 金 物							
備 考							
記号・使用場所・数量	④ AW アリーナ 1カ所	⑤ AW アリーナ 2カ所	⑥ AW アリーナ 8カ所				
姿 図 改 修 前							
型 式	2連FIX窓 (上中下段)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	2連片引き窓 (中段: 嵌め殺し)	
見 込	70	70	70	70	70	70	
材 質・仕 様	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
仕 上	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	シルバー、木枠: 135 x 25 OS	
ガラス種類・ガラス押え	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	強化透明ガラス t 4	
付 属 金 物	4方アングルピース、外水切、水切皿板、	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	4方アングルピース、外水切、水切皿板、ハンドル式オペレーター装置 (2台)	4方アングルピース、外水切、水切皿板、	4方アングルピース、外水切、水切皿板、	4方アングルピース、外水切、水切皿板、	
備 考	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	
記号・使用場所・数量	④ AW アリーナ 1カ所	⑤ AW アリーナ 2カ所	⑥ AW アリーナ 8カ所				
姿 図 改 修 後	飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	ハンドル式オペレーター装置【撤去・新設】 2台(上・下) × 2カ所 飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	① K 格子: 撤去・再取付 防球格子: 13φ、120@ 四周 L-40 x 40 x 3	飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	飛散防止フィルム内貼り 全厚 76μm (衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム内貼り) (不燃認定 NM-2949-1)	
型 式							
見 込							
材 質・仕 様							
仕 上							
ガラス種類・ガラス押え							
付 属 金 物							
備 考							
				春日部市 学校教育課 教育施設課		日付 2024. 2. 16 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	
				工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (春日部南中学校)		図面No. A-16	
				図面名称 建具表			



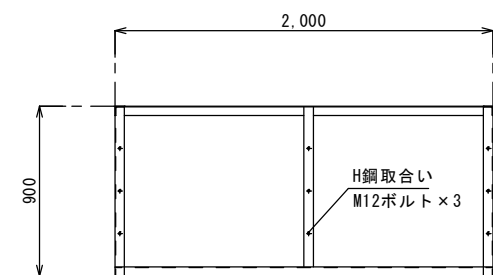
平面図



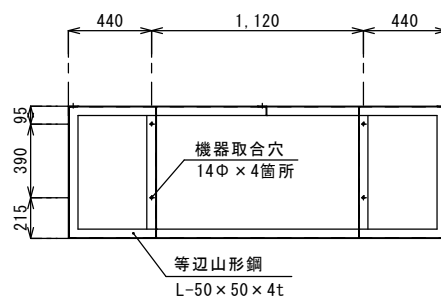
正面図



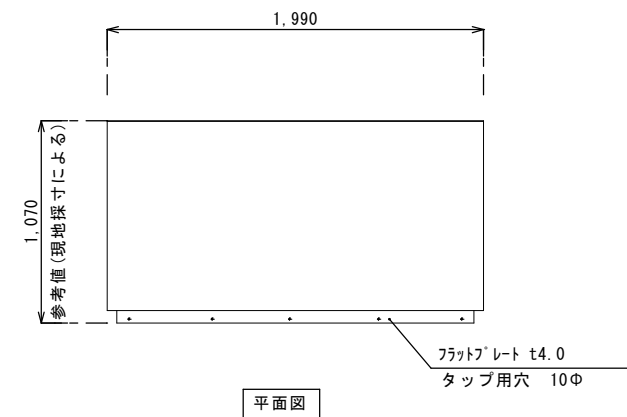
側面図



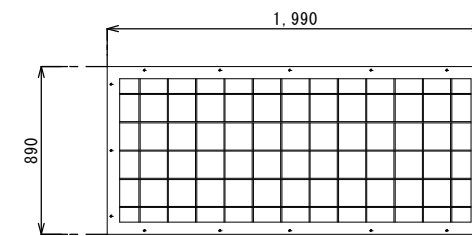
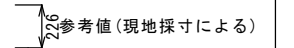
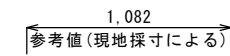
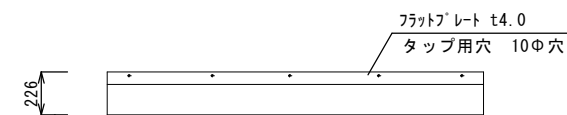
背面図



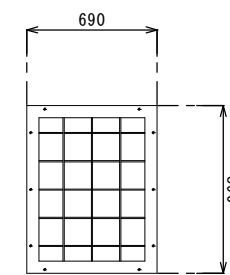
<A-A断面>



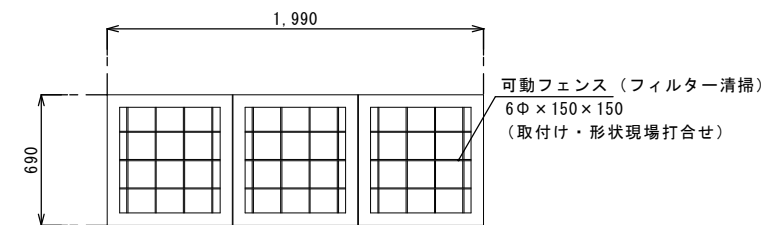
平面図



正面図

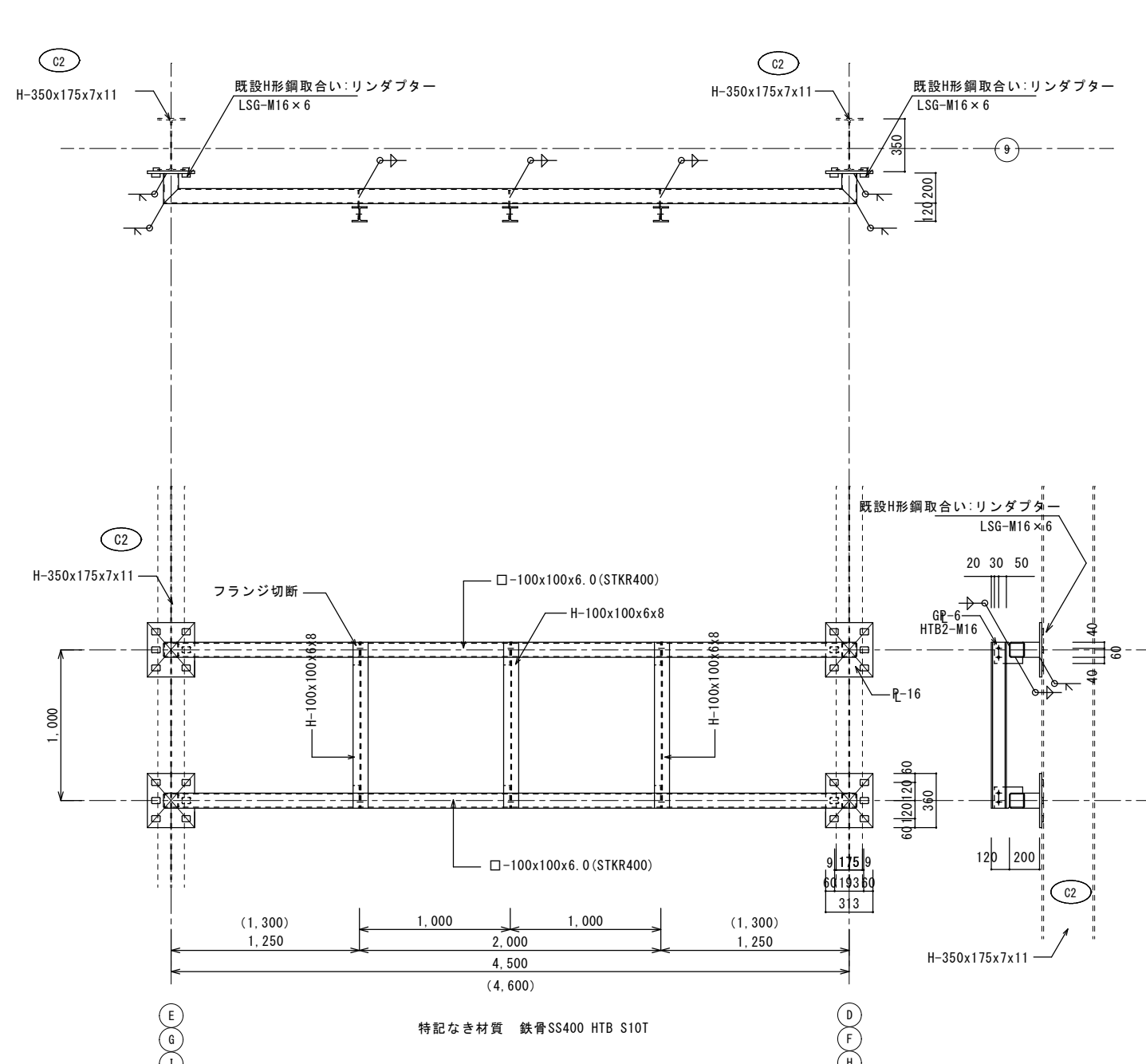
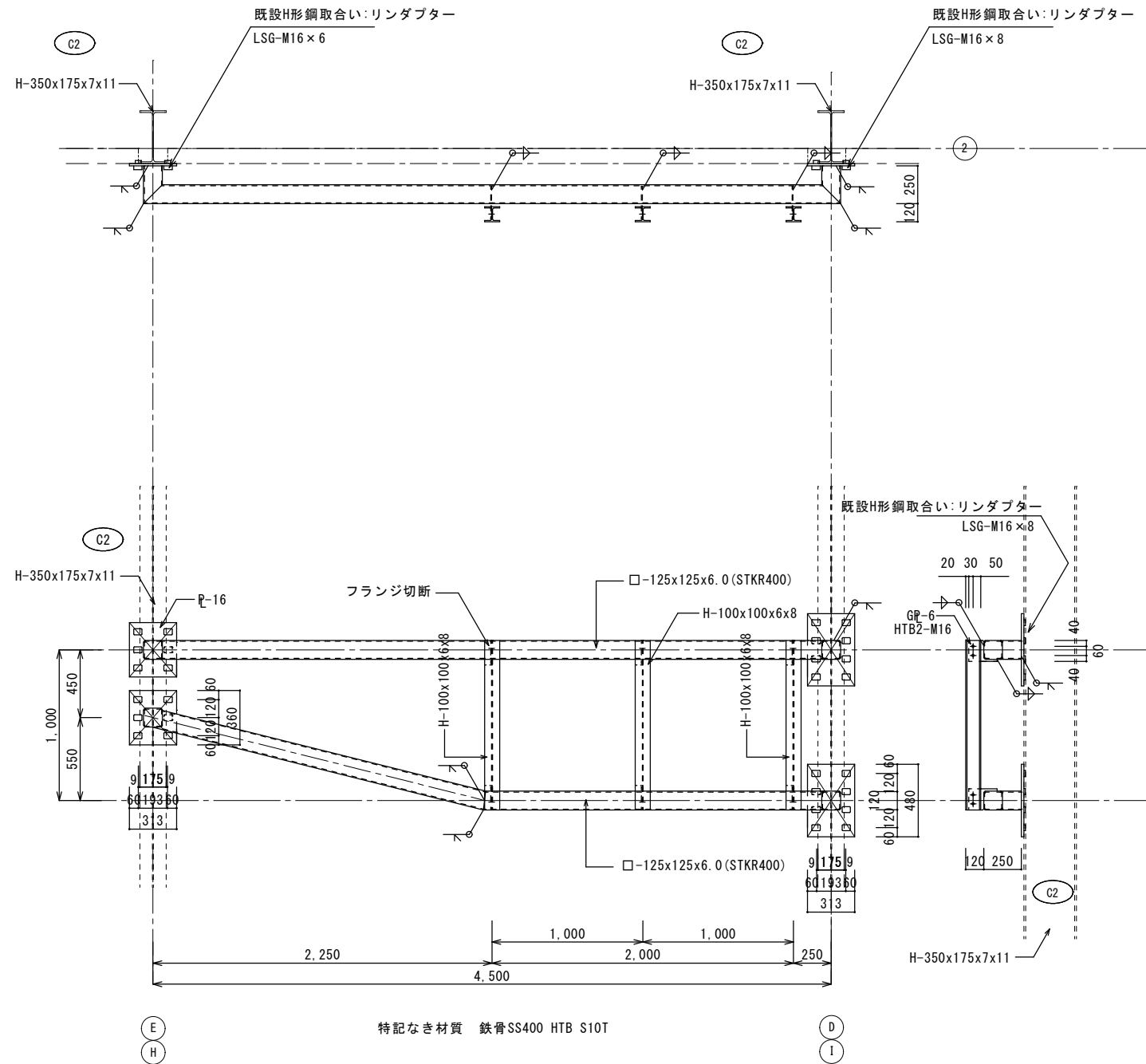


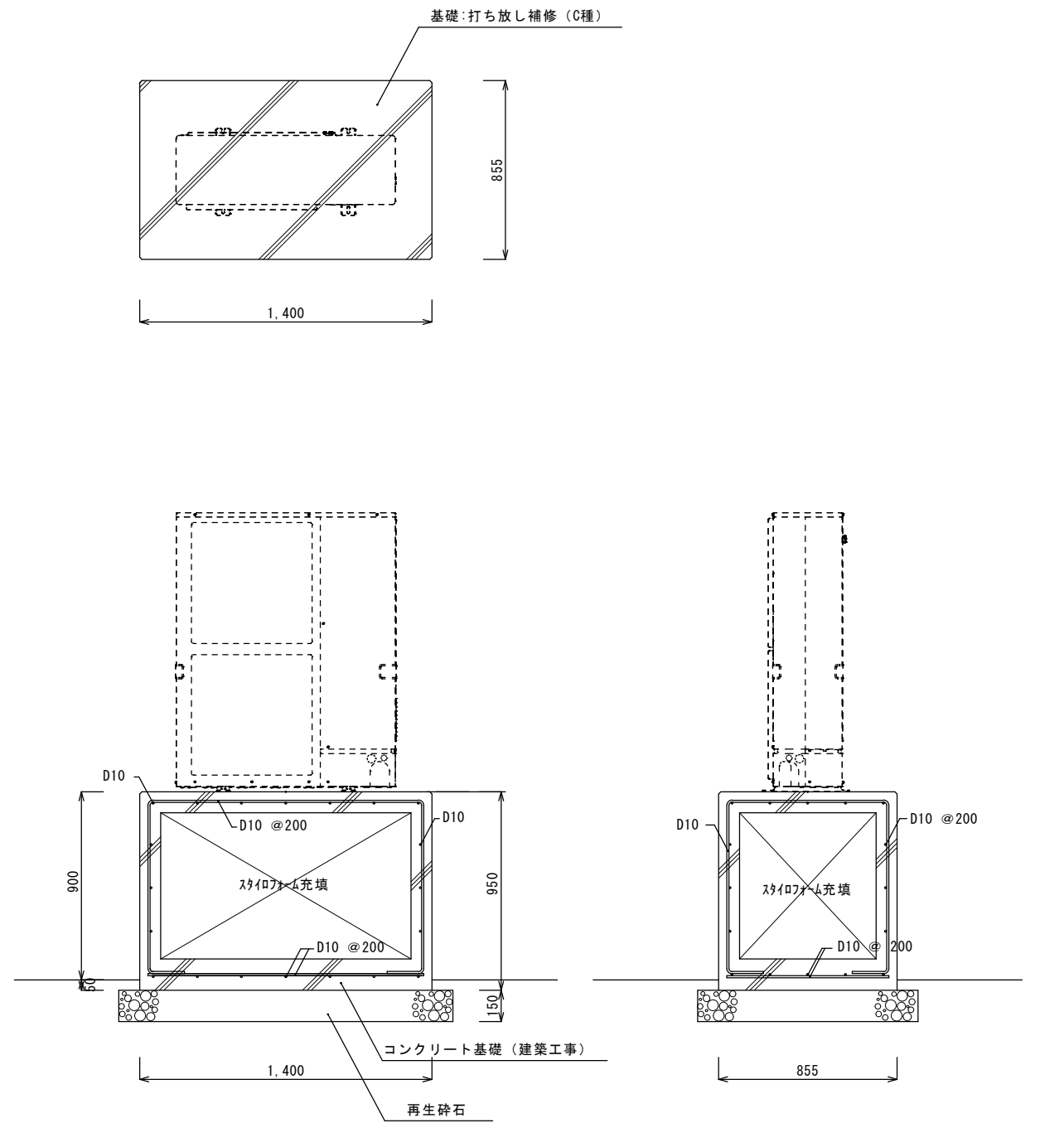
側面図



底面図

■空調設備架台仕様	
架台質量	kg
主材	L50x50xt4 SS400
表面処理	溶融亜鉛めっき 2種・HDZT56
適用地域	標準・塩害地域
耐震基準	2.0 G
機器固定ボルト	溶融亜鉛めっき M10x40L (平Wx2, NTx2付) 4組
<備考>	架台の据付は底面全体で水平に設置

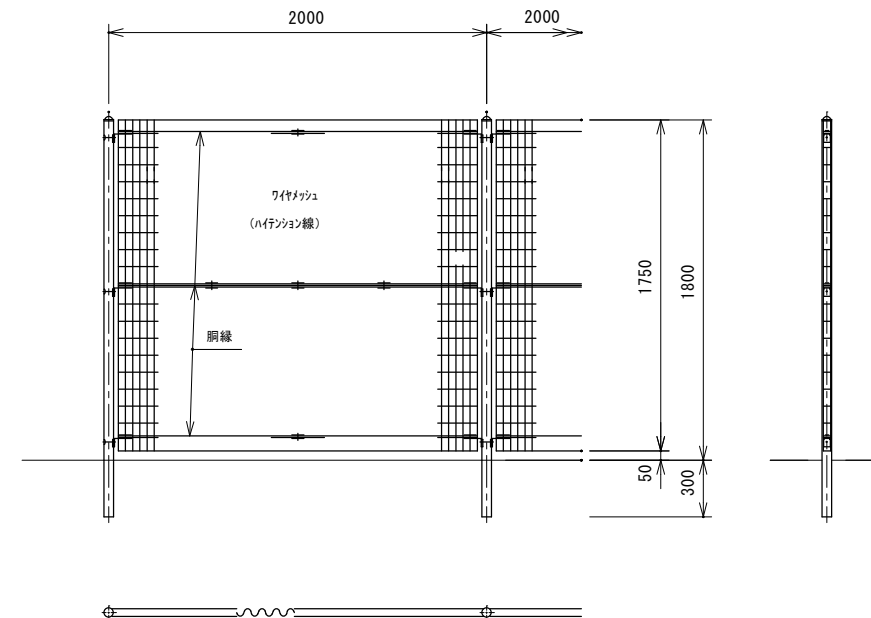




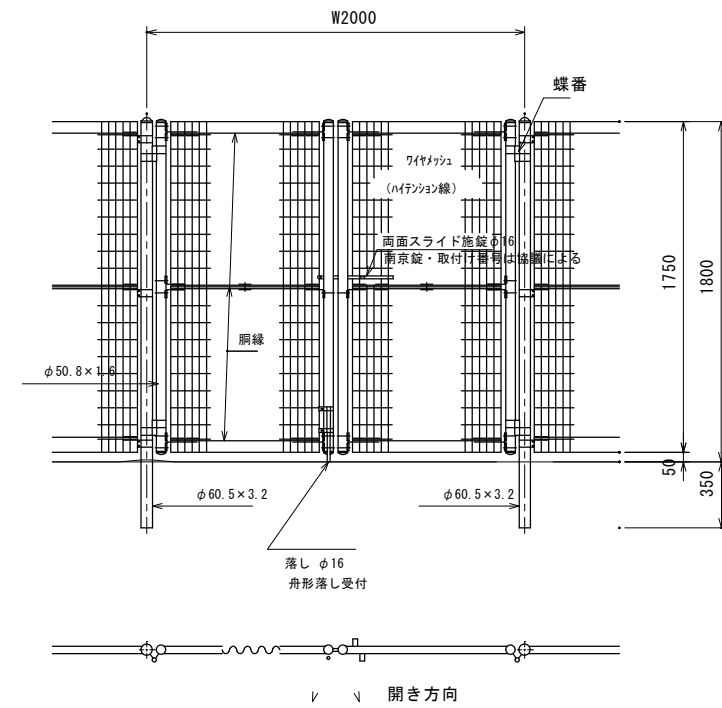
全ての角を面取りすること。打継ぎ部には誘発目地を設けること。

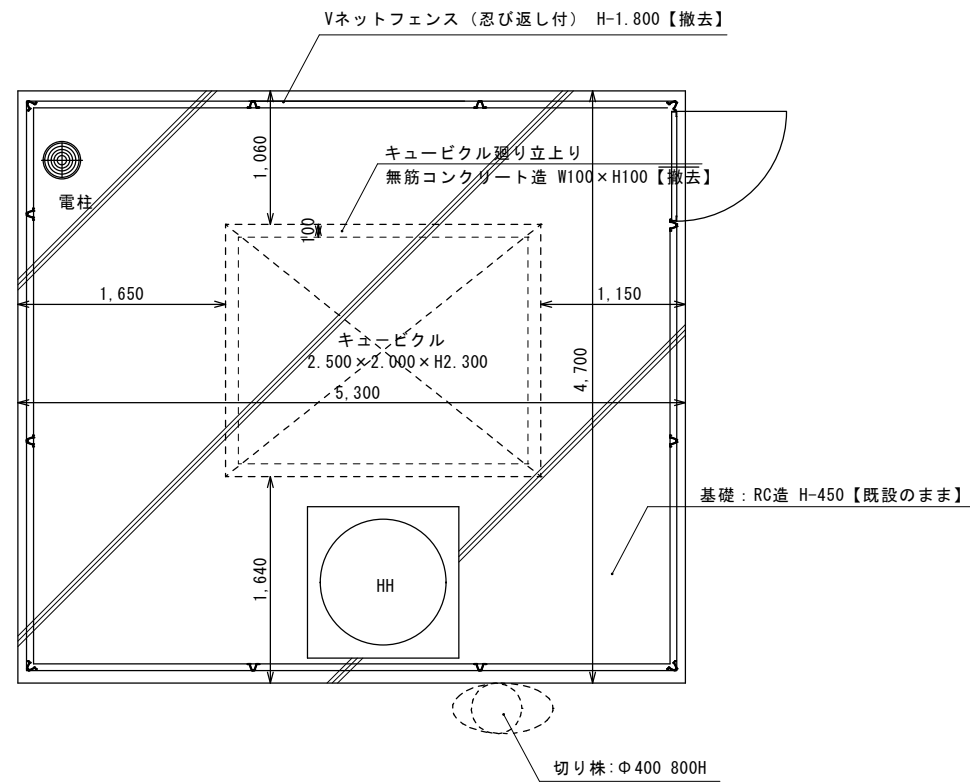
※特記なき限り 基礎コンクリート Fc=21N/mm²、スラブ厚=18cm

AR-A1800-MS

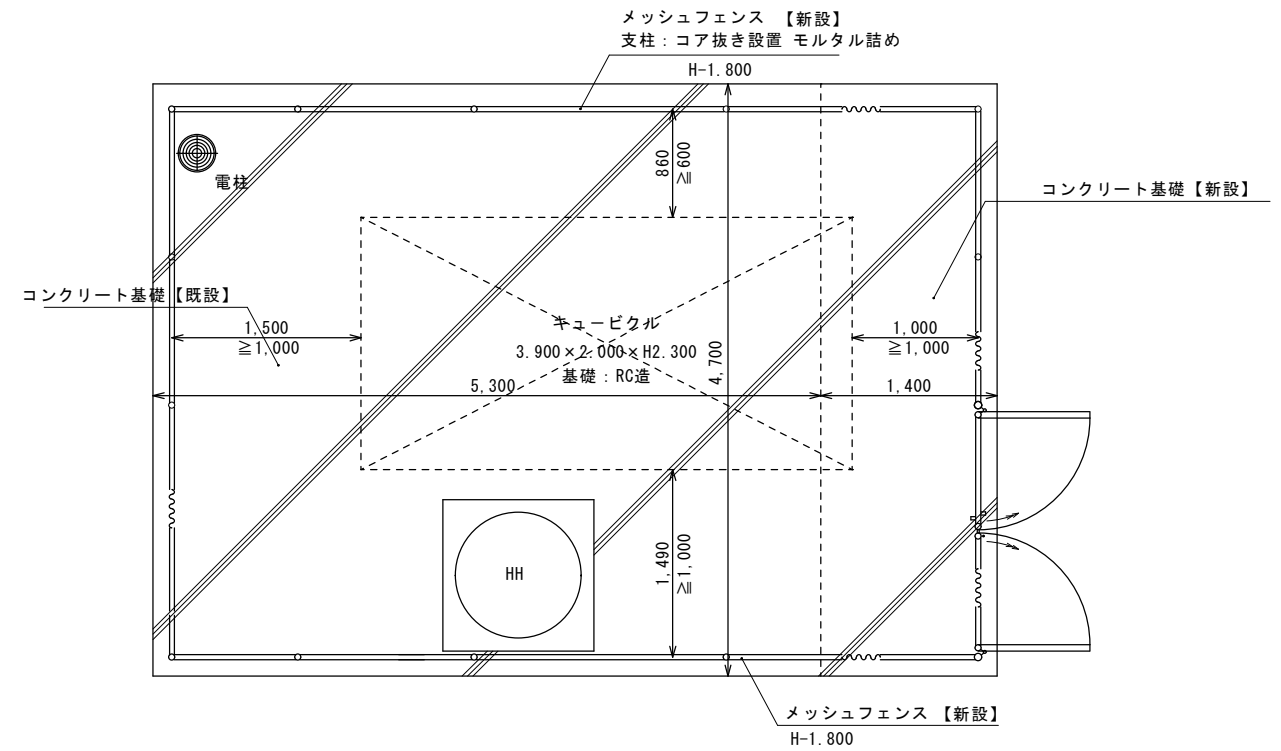


AR両開き門扉 H1800-MS×W2000

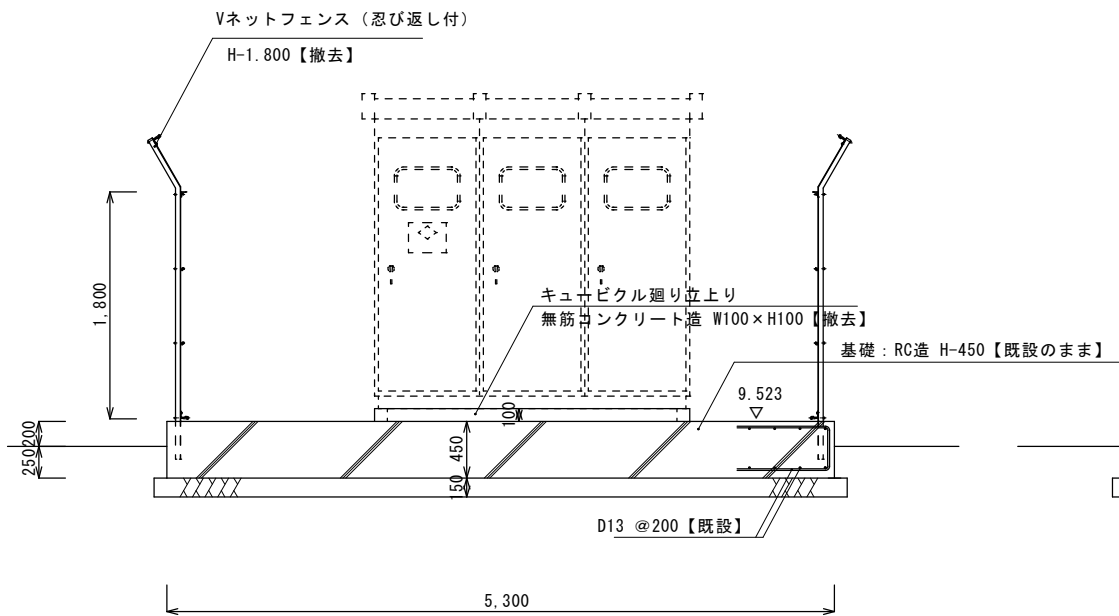




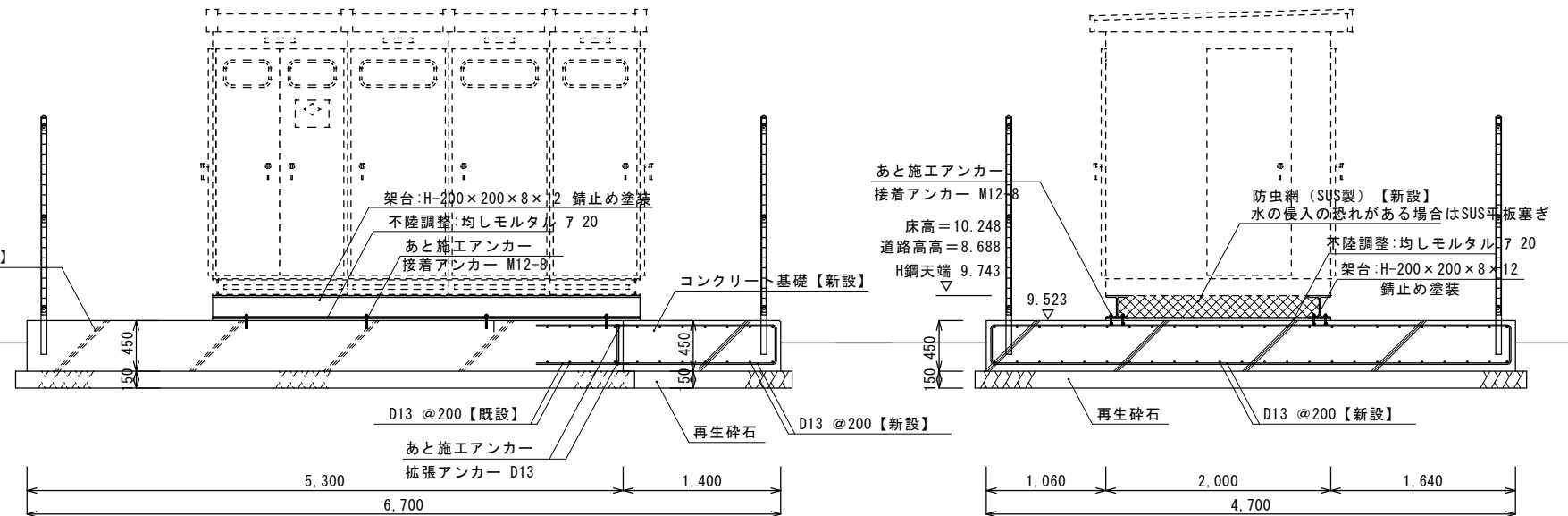
キュービクル廻り平面図(改修前) S=1/30



キュービクル廻り平面図(改修後) S=1/30



断面図(改修後) S=1:30

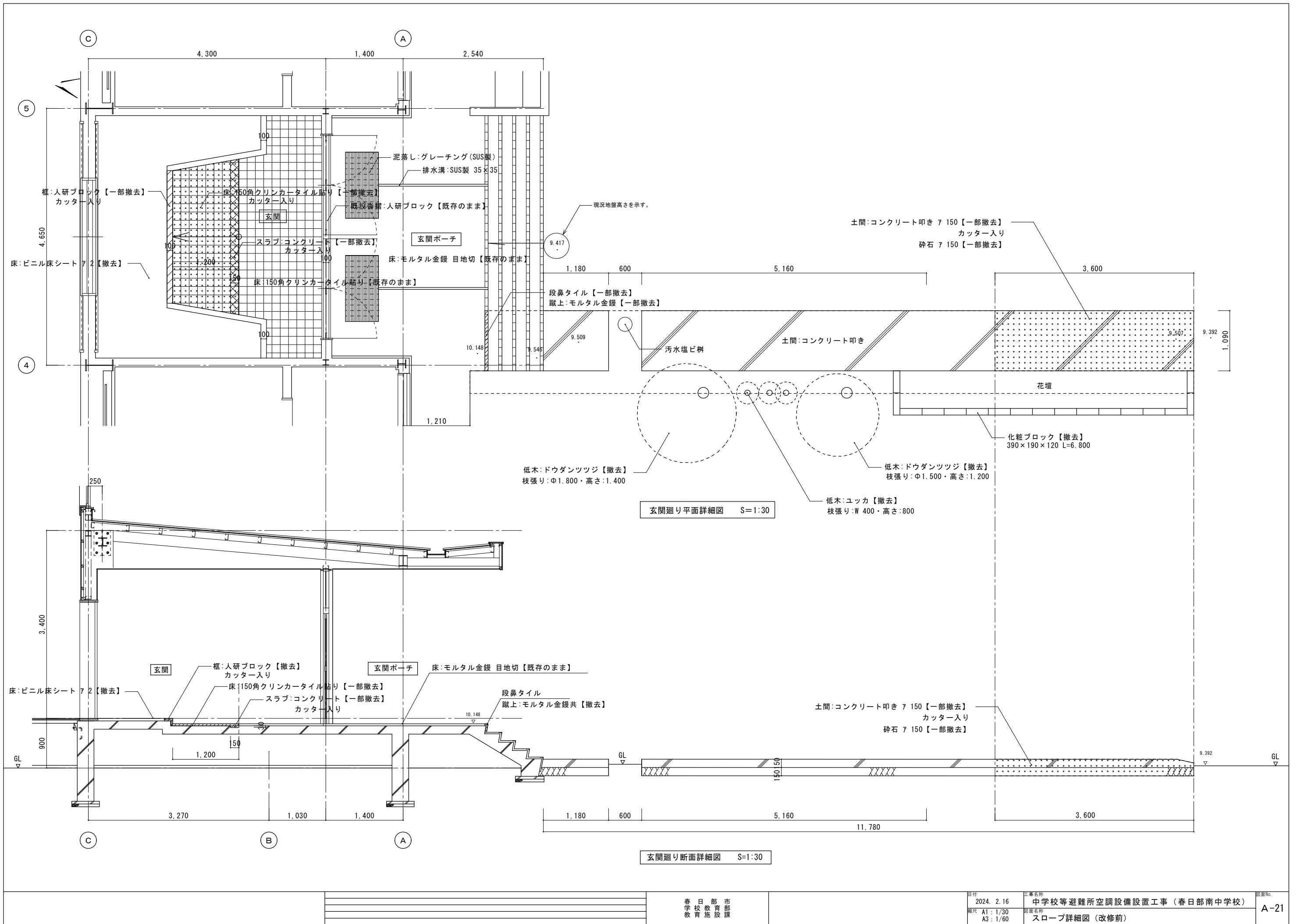


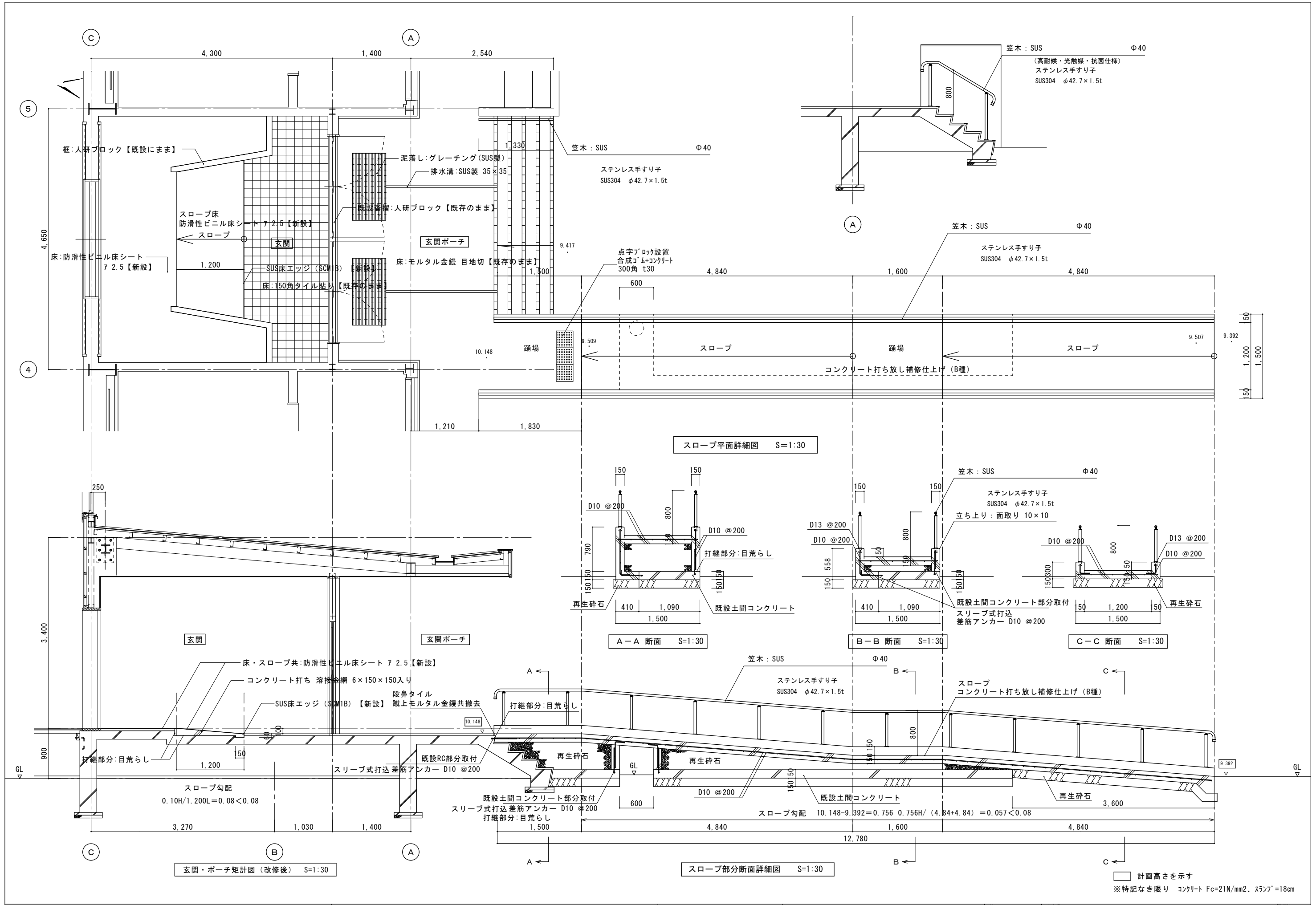
断面図(改修後) S=1:30

断面図(改修後) S=1:30

※あと施工アンカー
 接着系アンカー カプセル型 有機系 エポキシ系 M12
 金属拡張アンカー 打込方式 拡張部打込型 本体打込式 D13
 施工時に取付けアンカーボルトの耐力を検討、引抜き耐力の確認試験を実施すること

※特記なき限り 基礎コンクリート $F_c=21N/mm^2$ 、スラブ $F_c=18cm$





スロープ平面詳細図 S=1:30

A-A 断面 S=1:30

B-B 断面 S=1:30

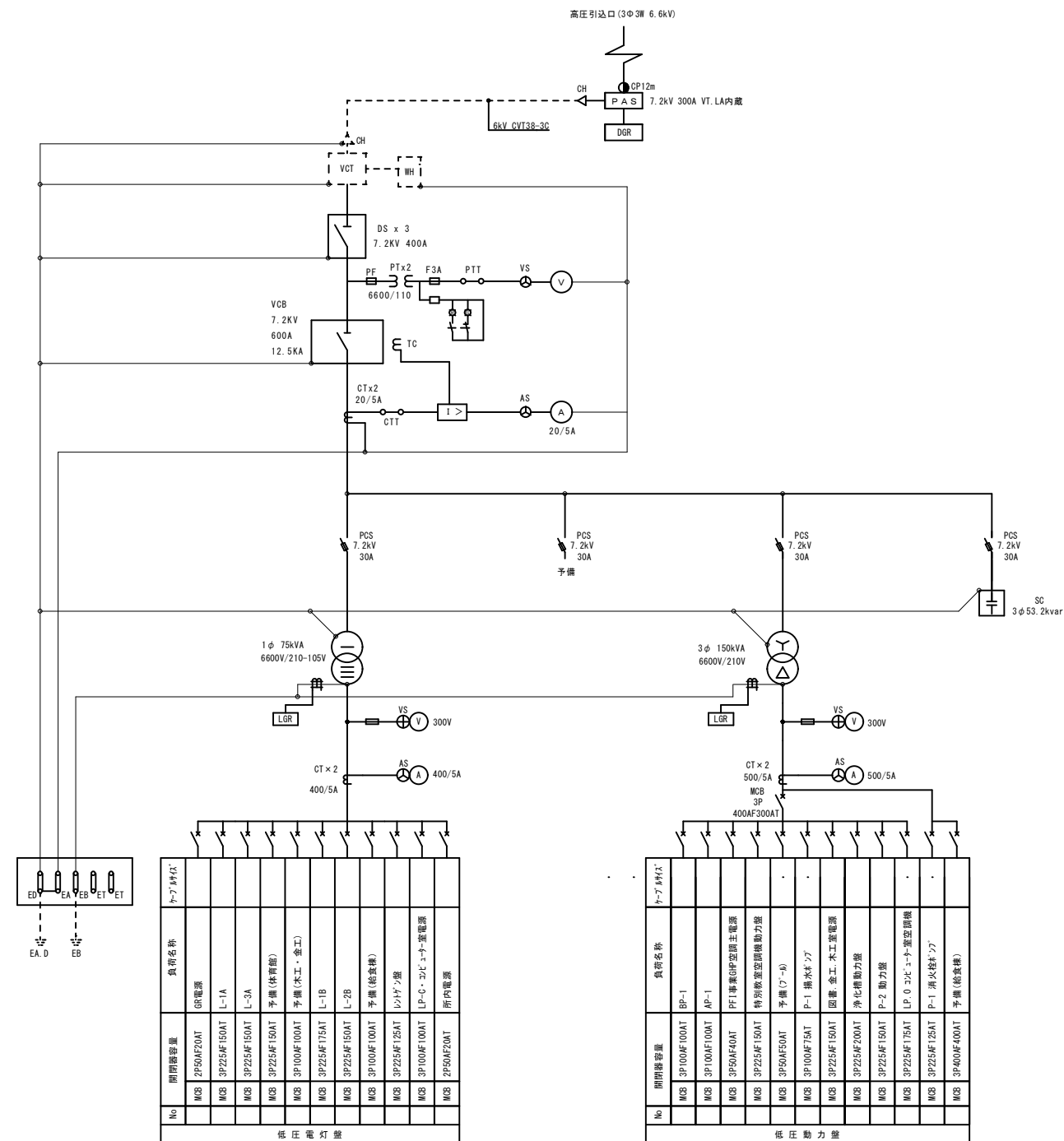
C-C 断面 S=1:30

スロープ部分断面詳細図 S=1:30

玄関・ポーチ矩計図 (改修後) S=1:30

計画高さを示す
※特記なき限り コンクリート Fc=21N/mm2、スラブ厚=18cm

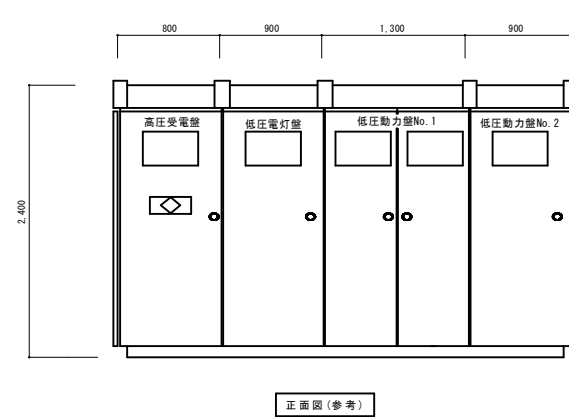
改修前



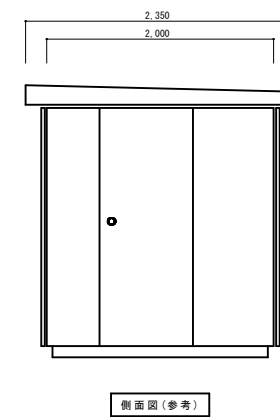
No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 時分
	MS 2P50AF50AT	GR電源	
	MS 3P225AF150AT	L-1A	
	MS 3P225AF150AT	L-3A	
	MS 3P225AF150AT	予備 (体育館)	
	MS 3P100AF100AT	予備 (木工・金工)	
	MS 3P225AF175AT	L-1B	
	MS 3P225AF150AT	L-2B	
	MS 3P100AF100AT	予備 (給食棟)	
	MS 3P225AF125AT	レフト少電	
	MS 3P100AF100AT	LP-C・2C ト-7専用電源	
	MS 2P50AF20AT	所内電源	

No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 時分
	MS 3P100AF100AT	BP-1	
	MS 3P100AF100AT	AP-1	
	MS 3P50AF50AT	PT1 集塵用空調主電源	
	MS 3P225AF150AT	特別検査室空調動力	
	MS 3P50AF50AT	予備 (7-a)	
	MS 3P100AF75AT	P-1 排水ポンプ	
	MS 3P225AF150AT	図書・金工・木工専用電源	
	MS 3P225AF200AT	浄化槽動力	
	MS 3P225AF150AT	P-2 動力	
	MS 3P225AF175AT	LP 0 2C ト-7専用電源	
	MS 3P225AF125AT	P-1 消火栓ポンプ	
	MS 3P400AF400AT	予備 (給食棟)	

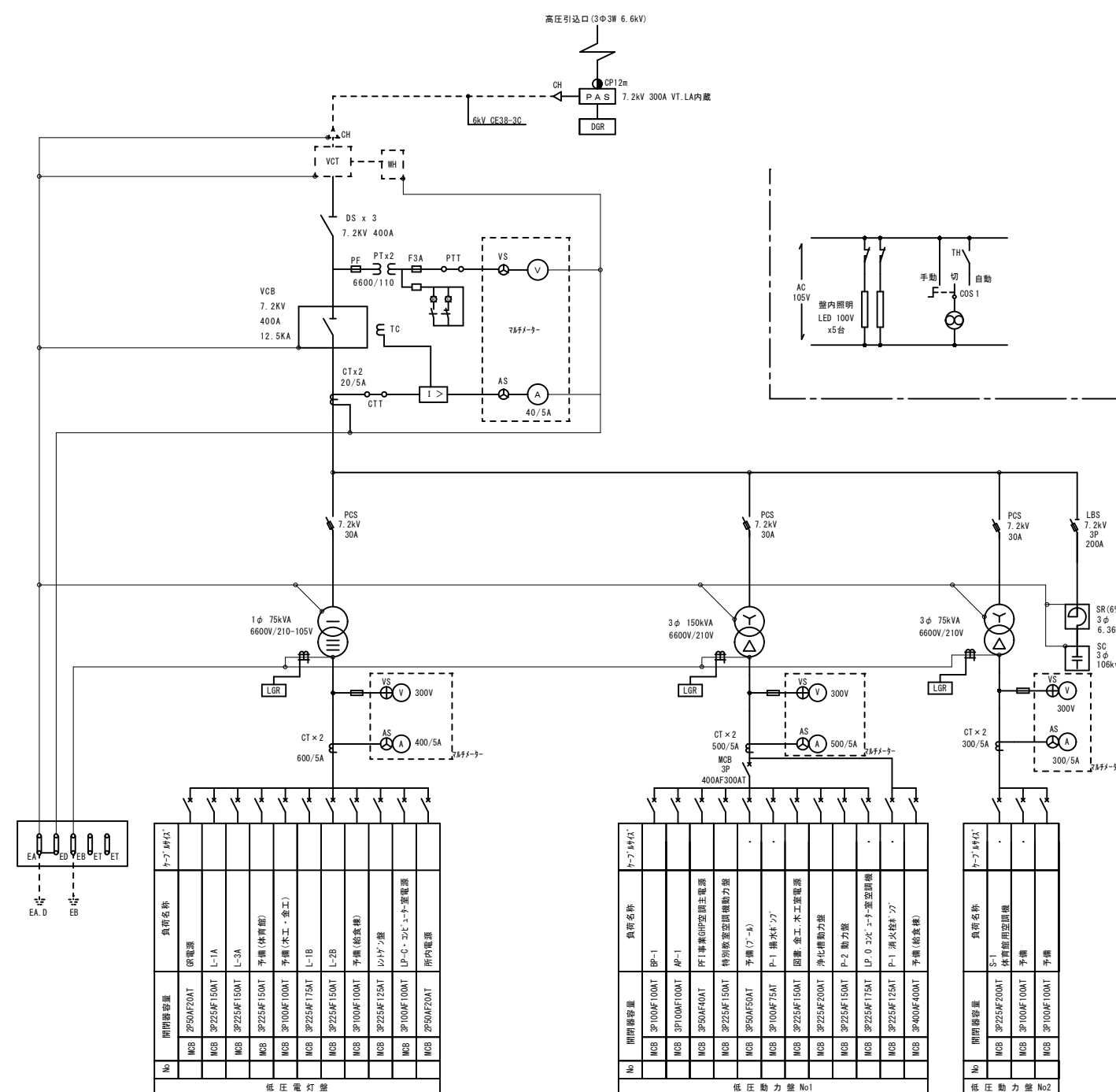
改修前



正面図 (参考)



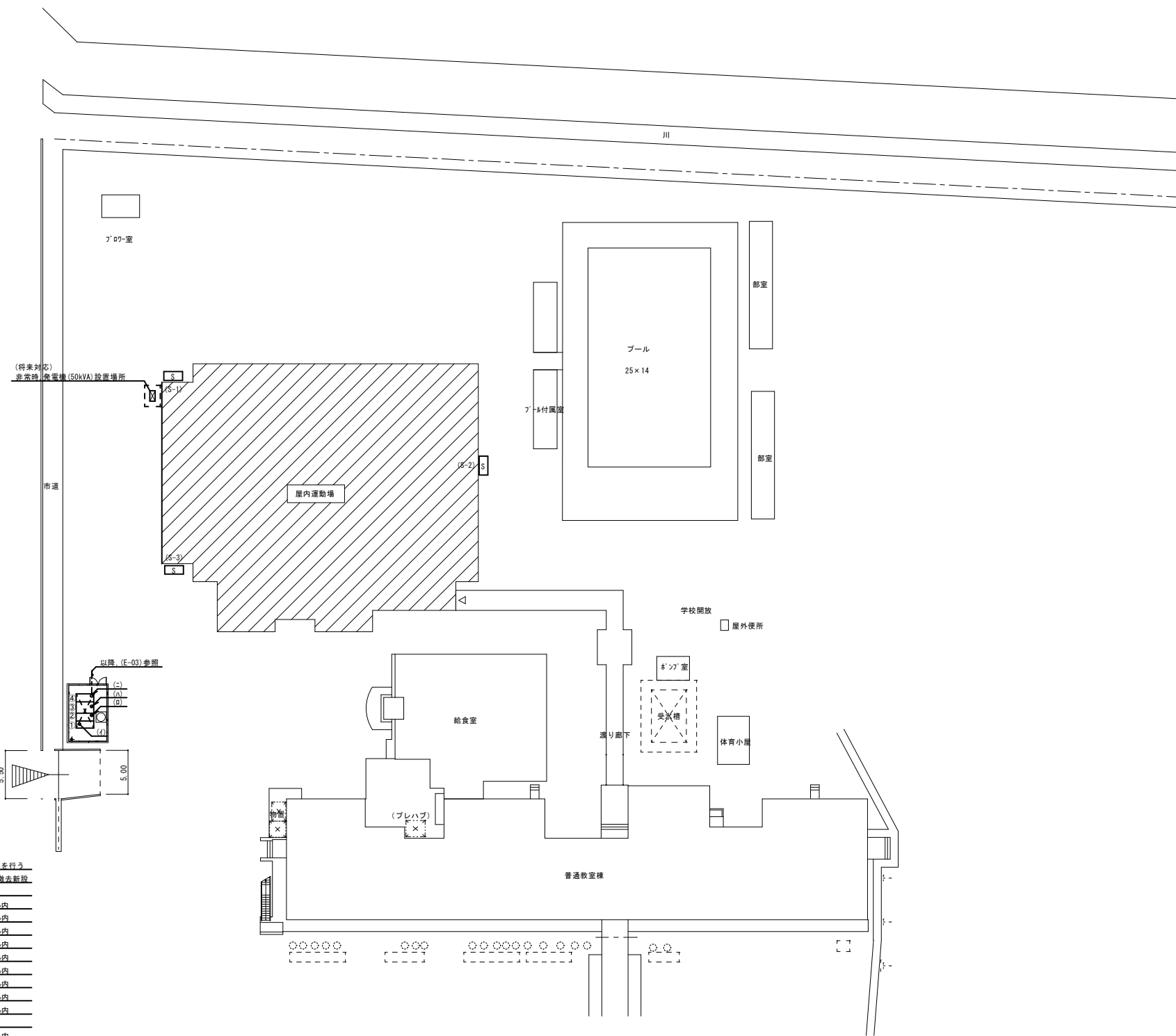
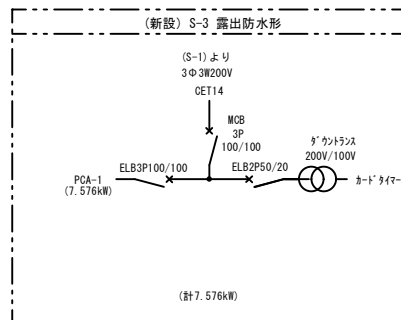
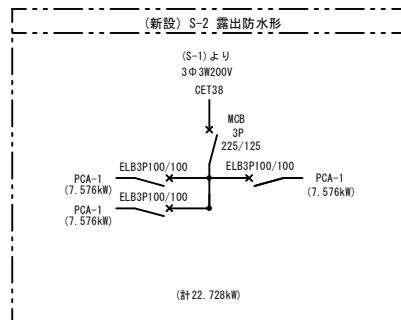
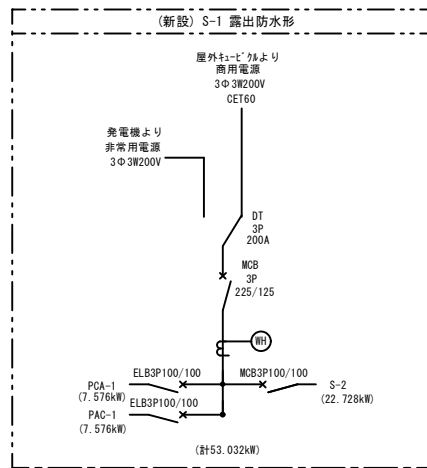
側面図 (参考)



No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 時分
	MS 2P50AF20AT	GR電源	
	MS 3P225AF150AT	L-1A	
	MS 3P225AF150AT	L-3A	
	MS 3P225AF150AT	予備 (体育館)	
	MS 3P100AF100AT	予備 (木工・金工)	
	MS 3P225AF175AT	L-1B	
	MS 3P225AF150AT	L-2B	
	MS 3P100AF100AT	予備 (給食棟)	
	MS 3P225AF125AT	レフト少電	
	MS 3P100AF100AT	LP-C・2C ト-7専用電源	
	MS 2P50AF20AT	所内電源	

No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 時分
	MS 3P100AF100AT	BP-1	
	MS 3P100AF100AT	AP-1	
	MS 3P50AF50AT	PT1 集塵用空調主電源	
	MS 3P225AF150AT	特別検査室空調動力	
	MS 3P50AF50AT	予備 (7-a)	
	MS 3P100AF75AT	P-1 排水ポンプ	
	MS 3P225AF150AT	図書・金工・木工専用電源	
	MS 3P225AF200AT	浄化槽動力	
	MS 3P225AF150AT	P-2 動力	
	MS 3P225AF175AT	LP 0 2C ト-7専用電源	
	MS 3P225AF125AT	P-1 消火栓ポンプ	
	MS 3P400AF400AT	予備 (給食棟)	

No	開閉器容量	負荷名称	ト-7 時分
	MS 3P225AF200AT	体育館用空調機	
	MS 3P100AF100AT	予備	
	MS 3P100AF100AT	予備	



- ※屋外ユニット新設内訳
- ① 高圧受変機
- ② 低圧電灯盤
- ③ 低圧動力盤 No.1
- ④ 低圧動力盤 No.2
- ※屋外ユニット撤去(3箇所)
- 新設(4箇所)
- 基礎工事・建築工事
- 電気工事・建築工事

※屋外ユニットの撤去新設に伴う各負荷配線ケーブル延長を行う

(a) (高圧ケーブル) 6kV CVT38 ユニット内、結束処理材の撤去新設

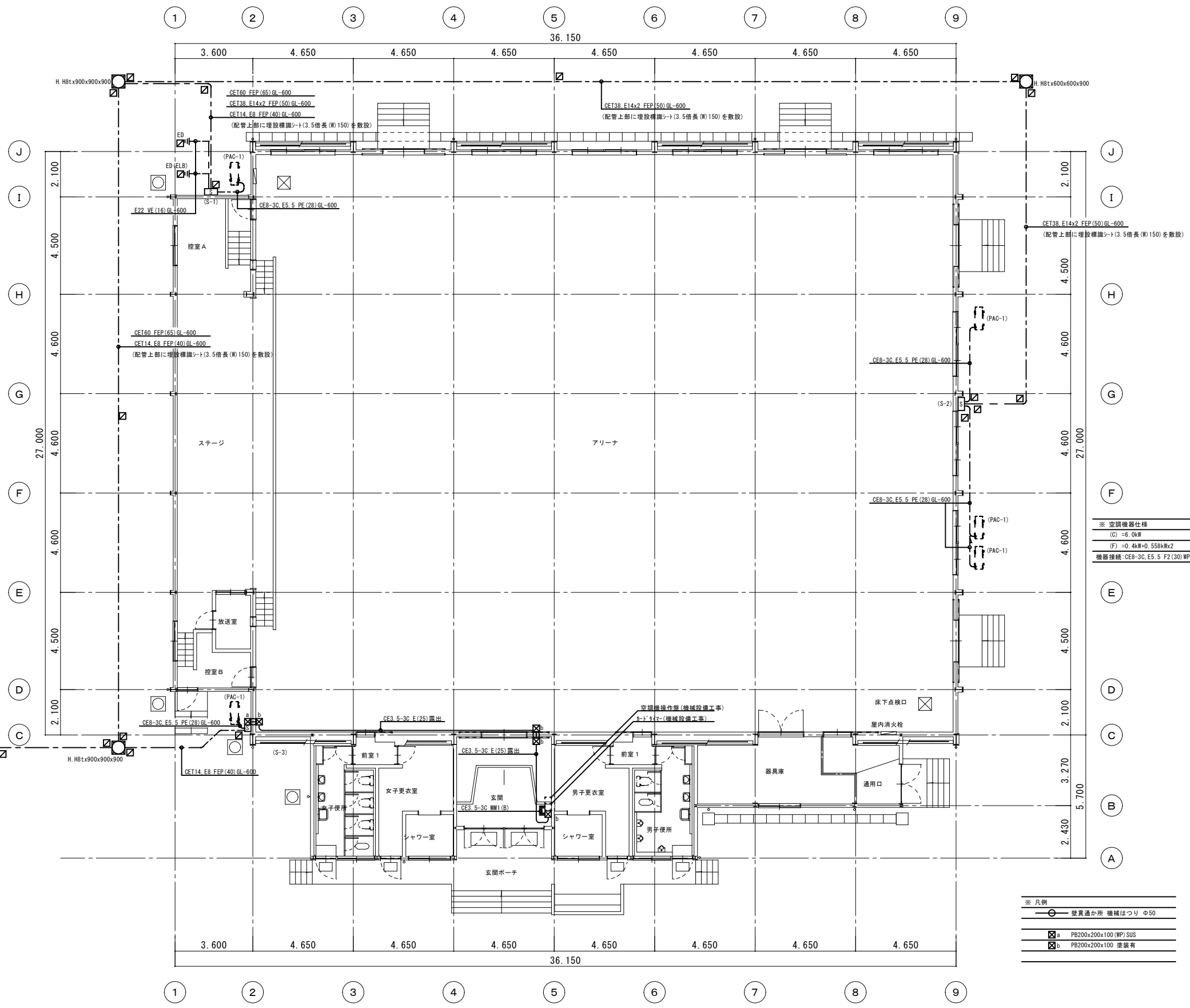
(b) (L-1A)	GET100	ユニット内
(L-3A)	GET100	ユニット内
予備(体育館2階)	GET60	ユニット内
予備(木工・倉庫)	GET60	ユニット内
(L-1B)	GET100	ユニット内
(L-2B)	GET100	ユニット内
予備(給食棟)	GET60	ユニット内
バリアン	GET100	ユニット内
LP-G-20バリアン	GET60	ユニット内
(n) 予備(給食棟)	GET250	ユニット内
P-1 消火栓ポンプ	FP-G38-3C	ユニット内
(LP-0)バリアン室 空調機盤	GET60	ユニット内
P-2 動力盤	GET100	ユニット内
浄化槽動力盤	GET60	ユニット内
図書室・木工工作室電源	GET60	ユニット内
P-1 揚水ポンプ	GET60	ユニット内
予備(P-6)	GET22	ユニット内
特別教室空調機動力盤(P-1)	GET60	ユニット内
FF1車庫GHP 空調機電源盤	CE14-3C	ユニット内
AP-1	GET60	ユニット内
BP-1	GET60	ユニット内
(c) S-1	GET60	ユニット内

凡例

斜線 工事対象建物を示す

白線 既設建物を示す

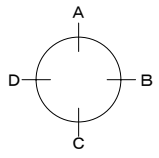
配置図 S=1:500



※ 空調機仕様
 (D) = 6.0kW
 (F) = 0.4kW+0.55kWx2
 機種接続: CE8-3C, E5.5, FZ(30)WP

※ 凡例
 ○ 設置場所 機種はつり 50
 □a P8200x200x100 (WP) SUS
 □b P8200x200x100 塗装有

1階平面図 S=1:100

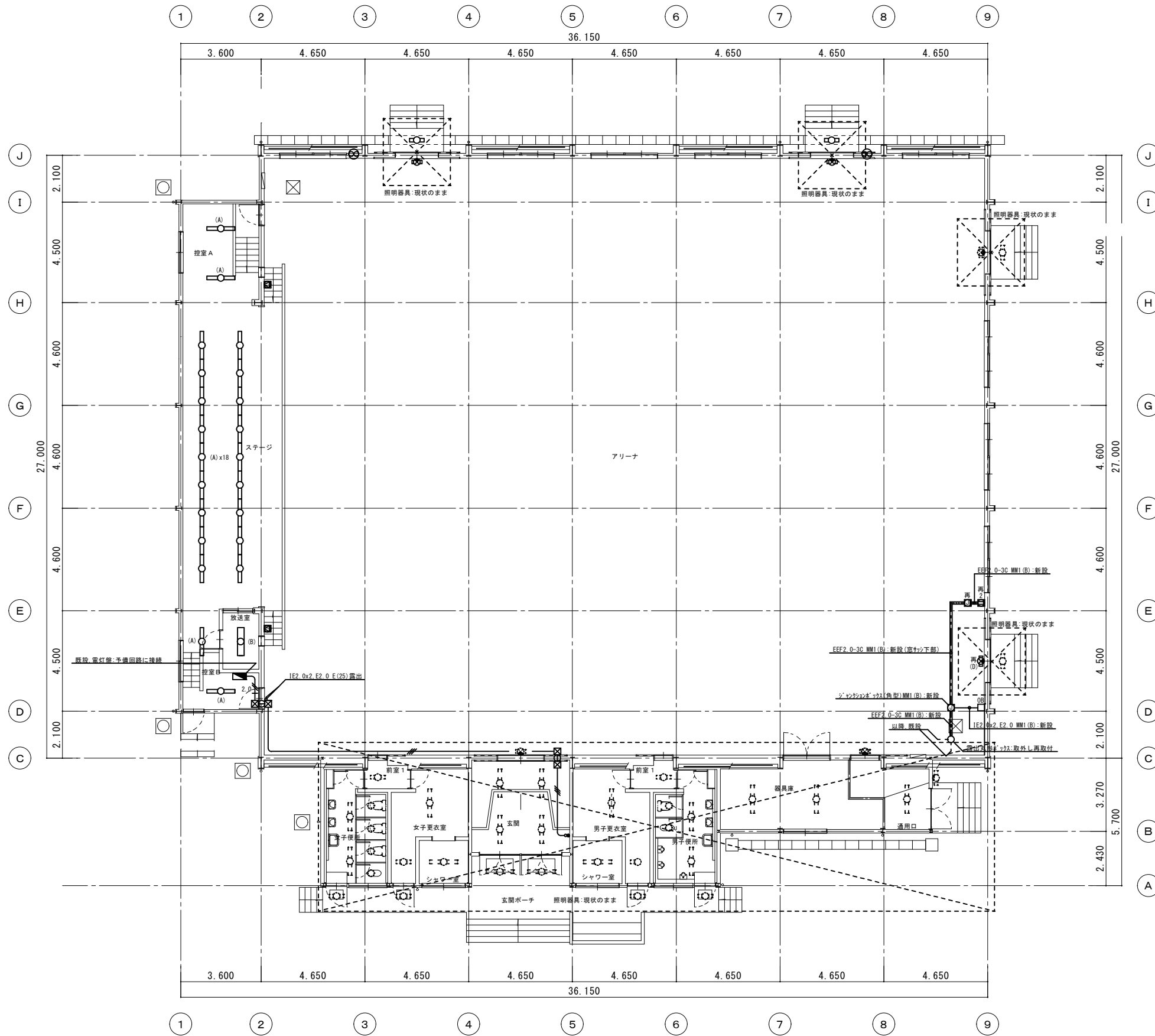


以降 (E-02)参照

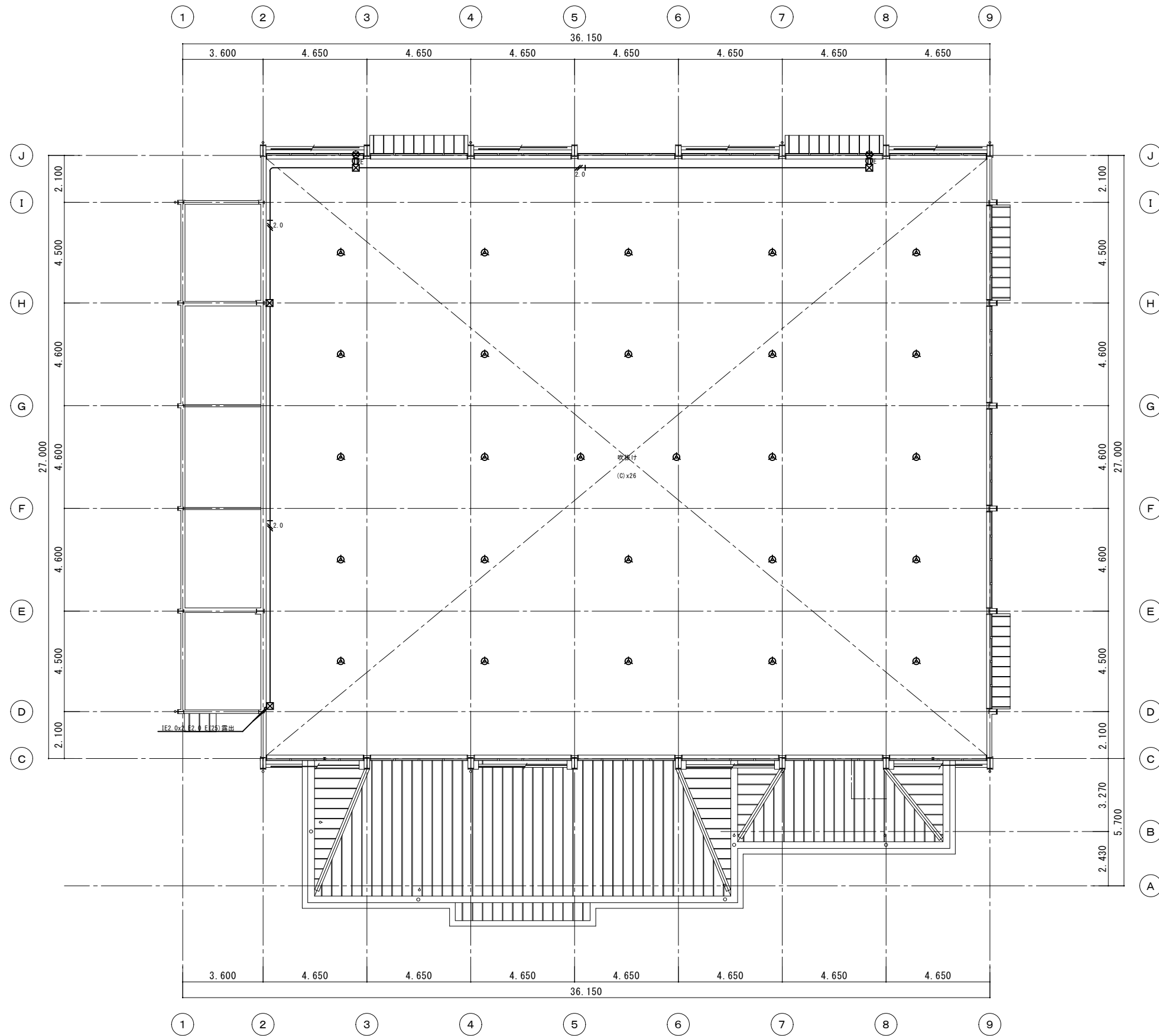


(新設) 照明器具姿図	
A	(LED) 4,000lm 24.8W
LSS9-4-37	
B	(LED) 6,900lm 43.0W
LSS9-4-65	
C	(LED) 22,000lm 114.0W
LSR2W-200	

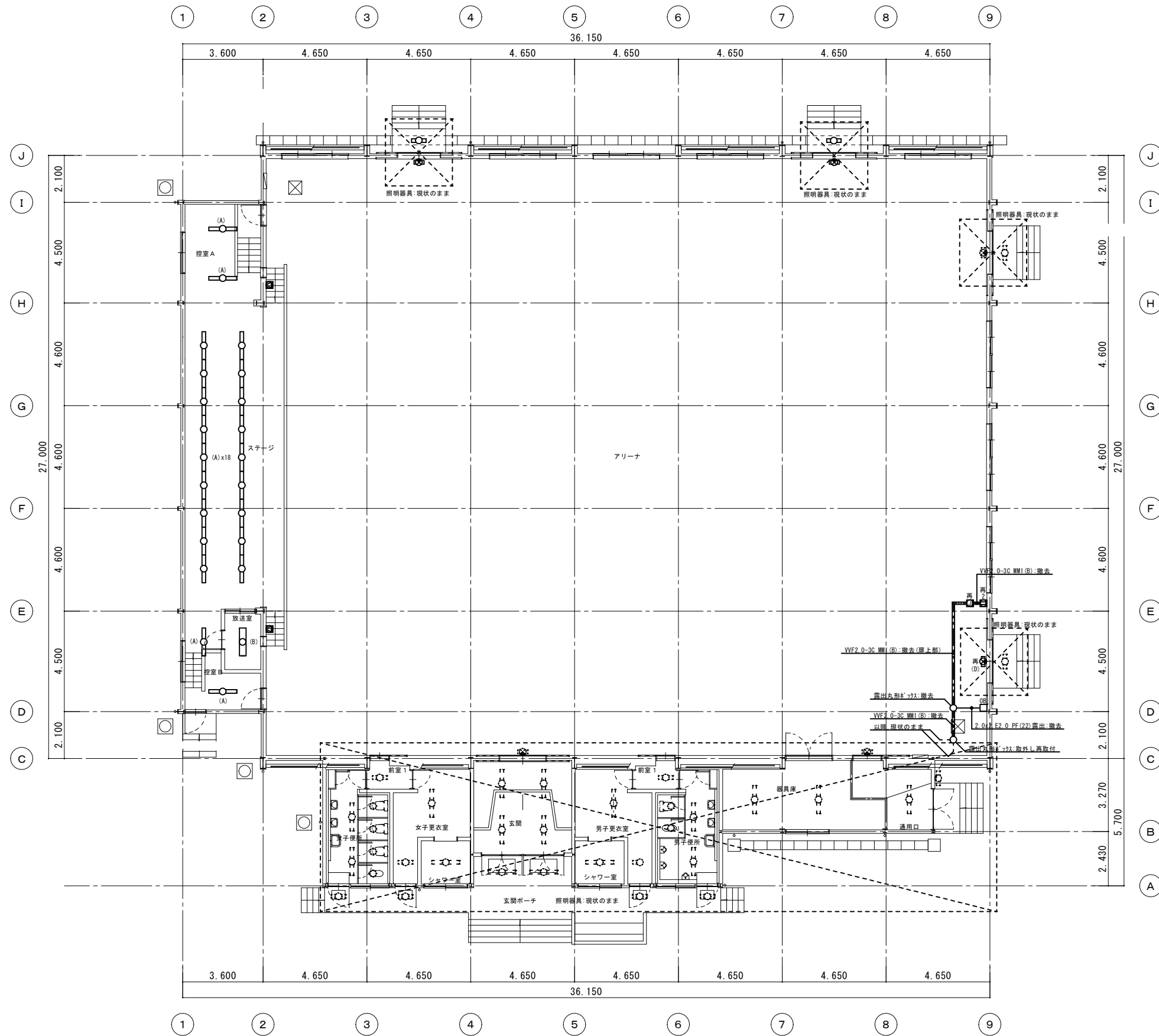
- (備考)
- 特記なき配管配線は、下記による。
 1 IE1. 6x3 E(19) 露出
 2 IE2. 0x2, E2. 0 E(25) 露出
 3 EEF2. 0-3C MM1 (A)
 4 壁貫通補修 機械ハジ φ50
 5 PB150x150x100 塗装有
 - 配線器具凡例
 6 埋込スイッチ 1P15Ax1+PLx1
 7 埋込コンセント 2P15Ax1 E付
 8 壁掛型スイッチ 取外し再取付・落下防止金物共
 配線切戻し、放送室側にて施工
 9 壁換気扇 (機械設備工事)
 10 金属プレート (新設) MM1 (B) スイッチボックス: 取外し再取付
 11 埋込コンセント 2P15Ax2 (新設) MM1 (B) スイッチボックス: 取外し再取付
 12 避難口誘導灯 C 級形・B・D 付: 取外し再取付
 - 新設照明器具は、姿図を参照のこと。
 - 7F-F及び7F-Jの照明器具取替等の作業用に床養生(ビニシート(L1.5)及びビニシート)を行う。又、高所作業用に移動式足場(4段)・2台で行う。



1階平面図 S=1:100



中間階平面図 S=1:100

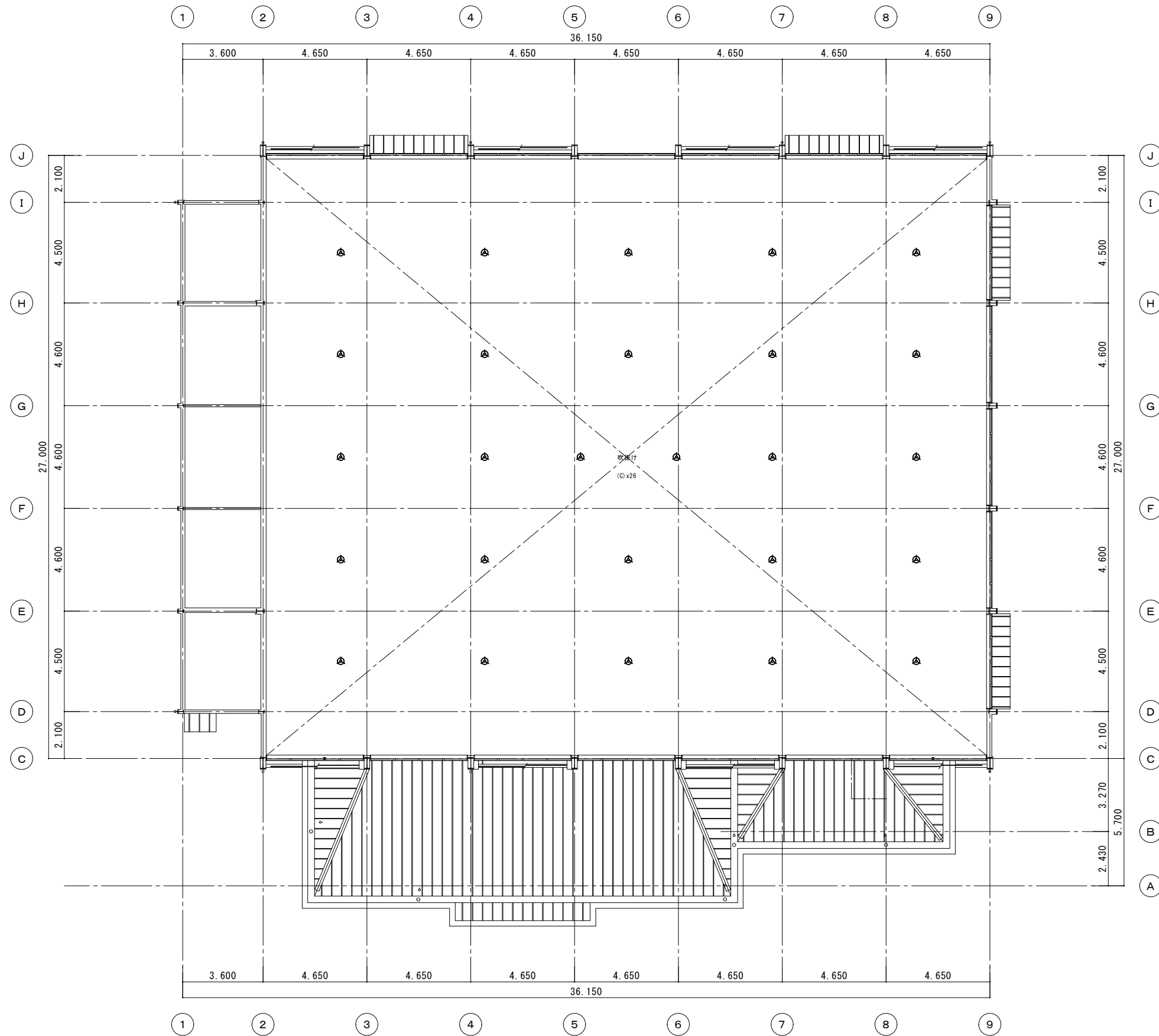


(備考)

1. 器具凡例	
	雙面型LED付-取外し再取付・落下防止金物共 配線切戻し、放送室側にて施工
	金属プレート(撤去)MM1(B)スリット付付:取外し再取付
	埋込コンパクト2P15x2+ (撤去)MM1(B)スリット付付:取外し再取付
	避難口誘導灯C形状・ガード付:取外し再取付
	避難口誘導灯C形状・ガード付:取外し再取付
	避難口誘導灯C形状:撤去
2. 撤去照明器具凡例	
(A) 天井直付 FL40Wx1	: 撤去再使用しない
(B) 天井直付 FL40Wx2	: 撤去再使用しない
(C) 高天井 HID400W 電動昇降付	: 撤去再使用しない

1階平面図 S=1:100

春日部市
学校教育課
教育施設課



中間階平面図 S=1:100

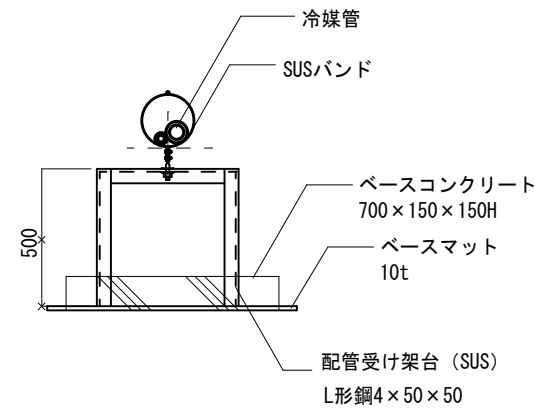
体育館 新設空調機器表

空冷ヒートポンプパッケージエアコン

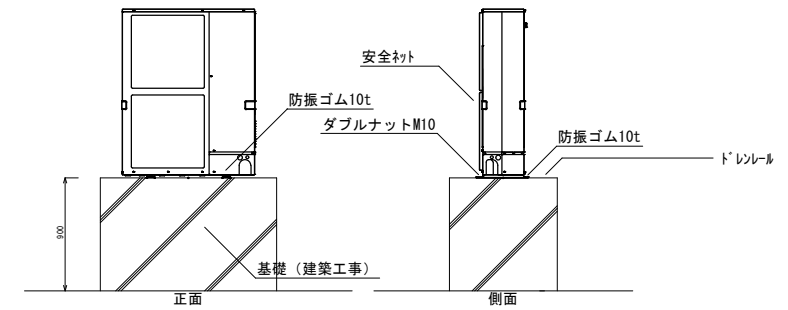
記号	機器名	仕様	冷媒種別	APF	風量 m ³ /min	質量 Kg	電気仕様				台数	設置場所	備考 (参考品番)	
							φ	V	圧縮機 Kw	送風機 Kw				電力消費量 (冷房/暖房)
PAC-1	エリア空調機	室外機：冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様：冷房能力25.0Kw 暖房能力28.0Kw 冷媒管 12.7φ(液管)×25.4φ(ガス管) 質量117kg 付属品：室外機安全柵PAC-SH98-AN 7フィンフィルター 防振ゴム	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	5	屋外	コンクリート基礎 建築工事
		室内機：床置タイプ Z1-028-3 仕様：冷房能力25.0Kw 暖房能力28.0Kw 冷媒管 12.7φ(液管)×25.4φ(ガス管) ドレン管25A 付属品：リモコン×1 エアフィルター 吹出カバー 取り付け金具			80.0	78	1	200	-	0.558×2	-	5	アリーナ	鉄骨架台・防球ガード 建築工事
EF-1	有圧換気扇	低騒音形 電動式シャッター付 仕様：350φ×3000m ³ /h 付属品：バックガード SUS製ウエザーカー(防鳥網付) 薄壁取り付け枠					1	100		150W		2	アリーナ	建具のアルミパネルは 建築工事

特記事項

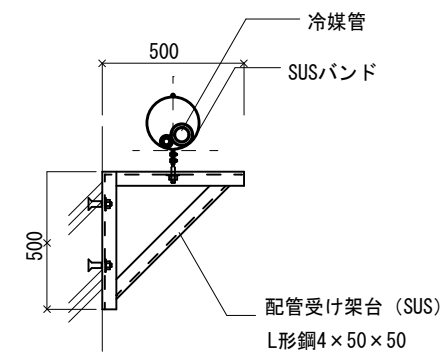
1. 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
2. 個別リモコンの設定は、運転/停止・運転モード切換え・温度設定とする。
3. 室内機取付用鉄骨架台及び防球カバーは、取り付け共建築工事とする。
4. 室外機のコンクリート基礎は建築工事とする。
5. 空調機への1次側電源供給は電気工事とする。



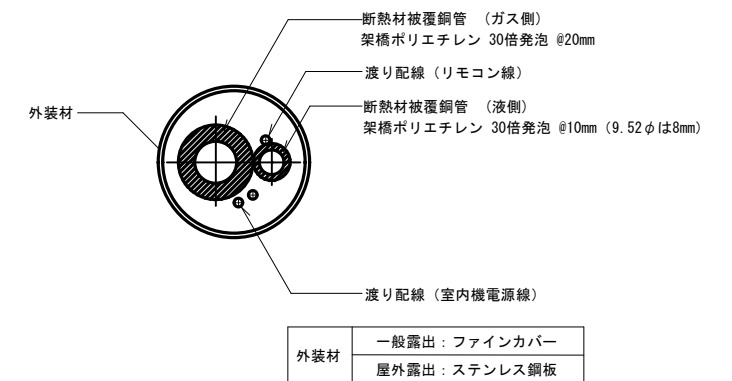
型鋼配管支持
床取り付け架台参考図



室外機冷房25kW形
基礎取り付け室外機参考図

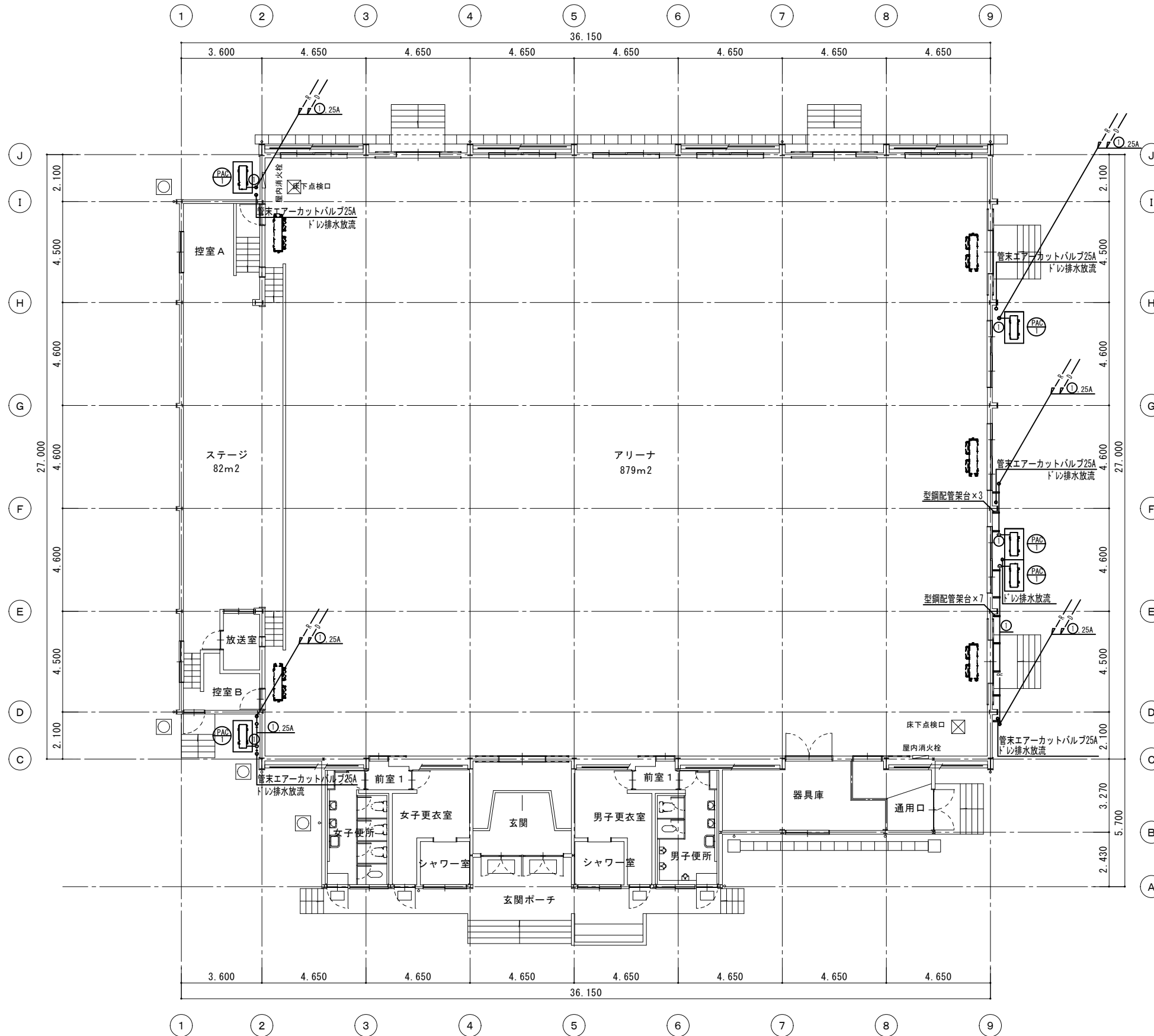
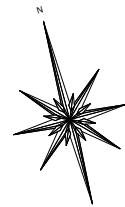


型鋼配管支持
壁取り付け架台参考図



冷媒管保温外装
屋内外参考図

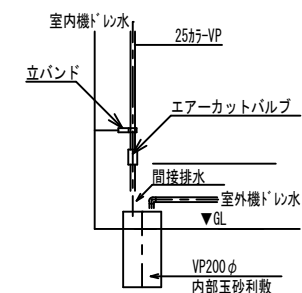
外装材	一般露出：ファインカバー
	屋外露出：ステンレス鋼板



新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—R—	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用銅管
—D—	ドレン管	屋内露出	保温機能付空筒用ドレン管 (VP)
		屋外露出	保温ホリ塩化ビニル管 (カラーVP)
		地中埋設	保温ホリ塩化ビニル管 (VP)

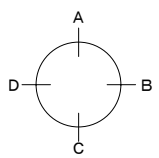
冷媒配管サイズ一覧表	
記号	配管サイズ (参考)
—R—	液側 25.4φ
—D—	ガス側 25.4φ
電源ケーブル: EM-CE2-3C	
リモコンケーブル: EM-CEES1.25-2C	

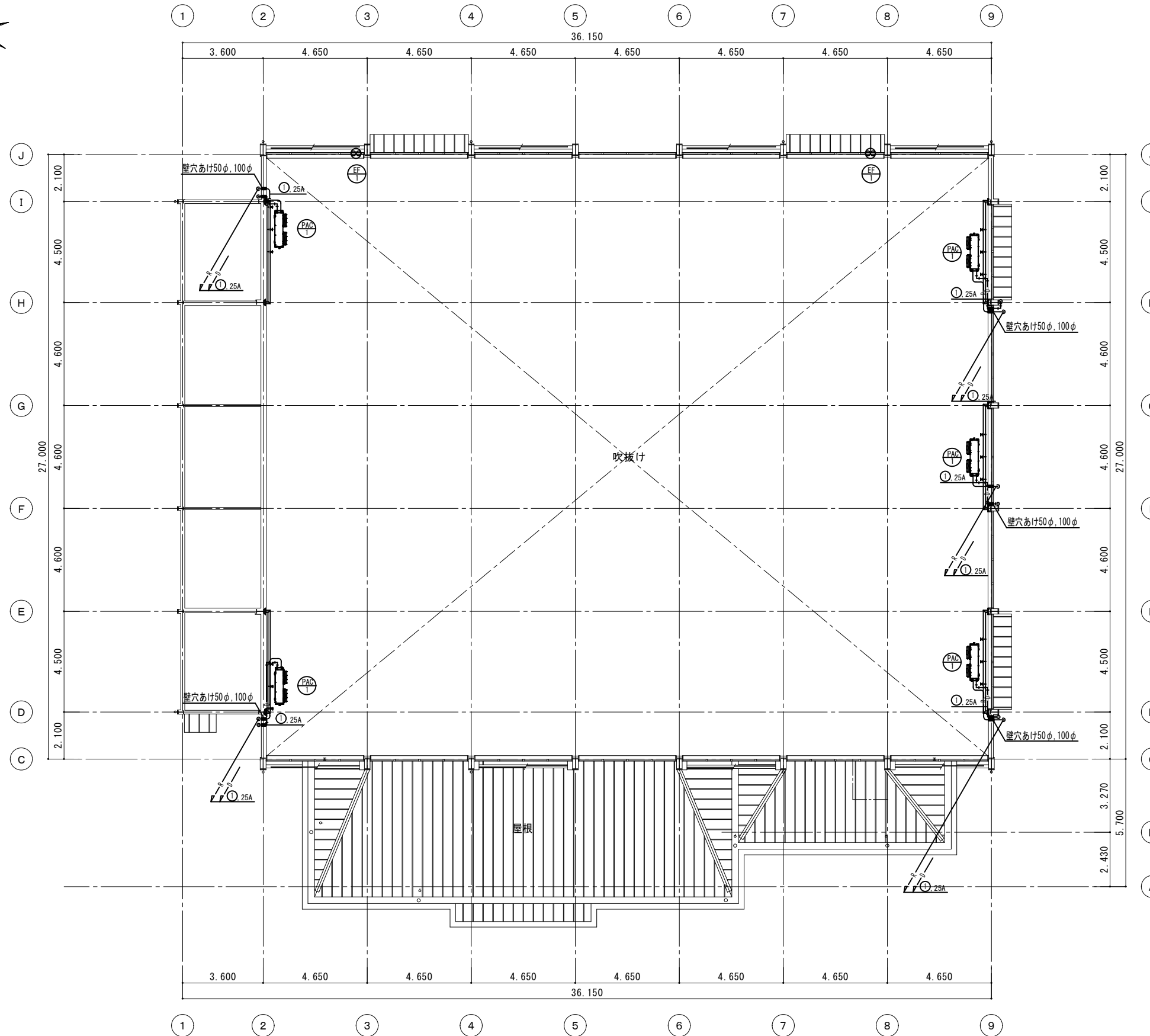
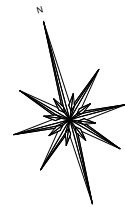
- 特記事項
- 冷媒管は屋内: ファインカバー、屋外: ステンレス製カバーとする。
 - 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。



ドレ排水部詳細図 ※5ヶ所設置

1階平面図 S=1:100



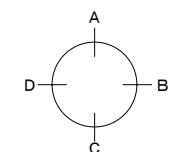


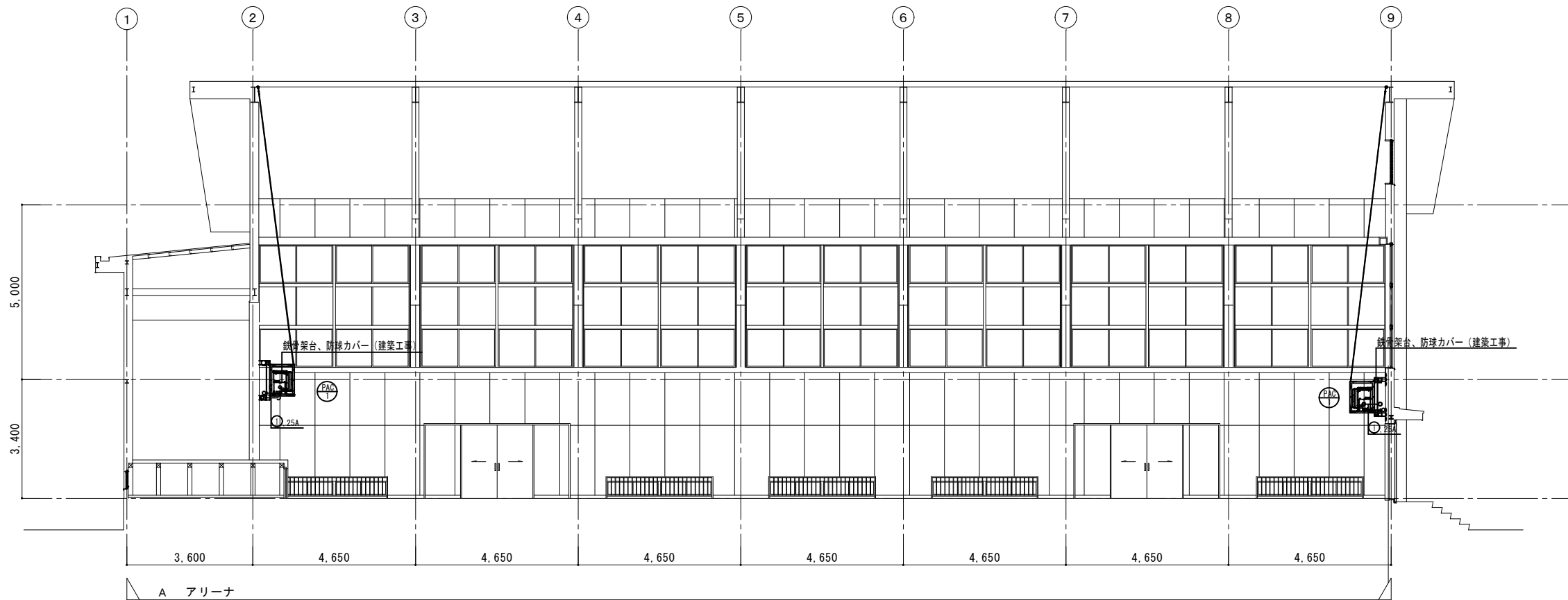
中間階平面図 S=1:100

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
R	冷媒管	露出・架空	断熱材付冷媒用配管
D	ドレン管	屋内露出	保温機能付空調用ドレン管 (VP)
		屋外露出	保温ホリシユビ管 (カラーVP)
		地中埋設	保温ホリシユビ管 (VP)

冷媒配管サイズ一覧表			
記号	配管サイズ (参考)		
	液側	ガス側	
①	12.7φ	25.4φ	
電源ケーブル: EM-CE2-3C			
Vケーブル: EM-CEES1.25-2C			

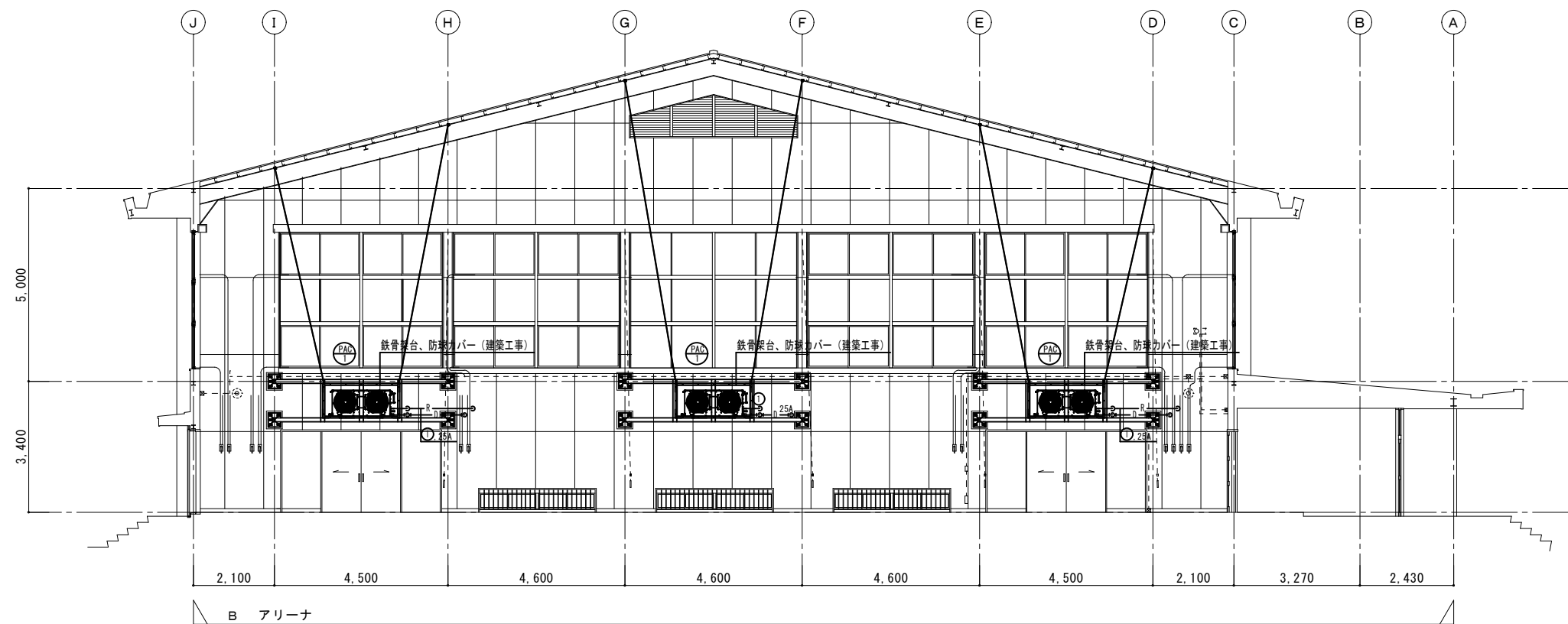
- 特記事項
- 冷媒管は屋内: ファインカバー、屋外: ステンレス製カバーとする。
 - 室内機架台及び防球ガードは建築工事とする。
 - 室外機コンクリート基礎は建築工事とする。





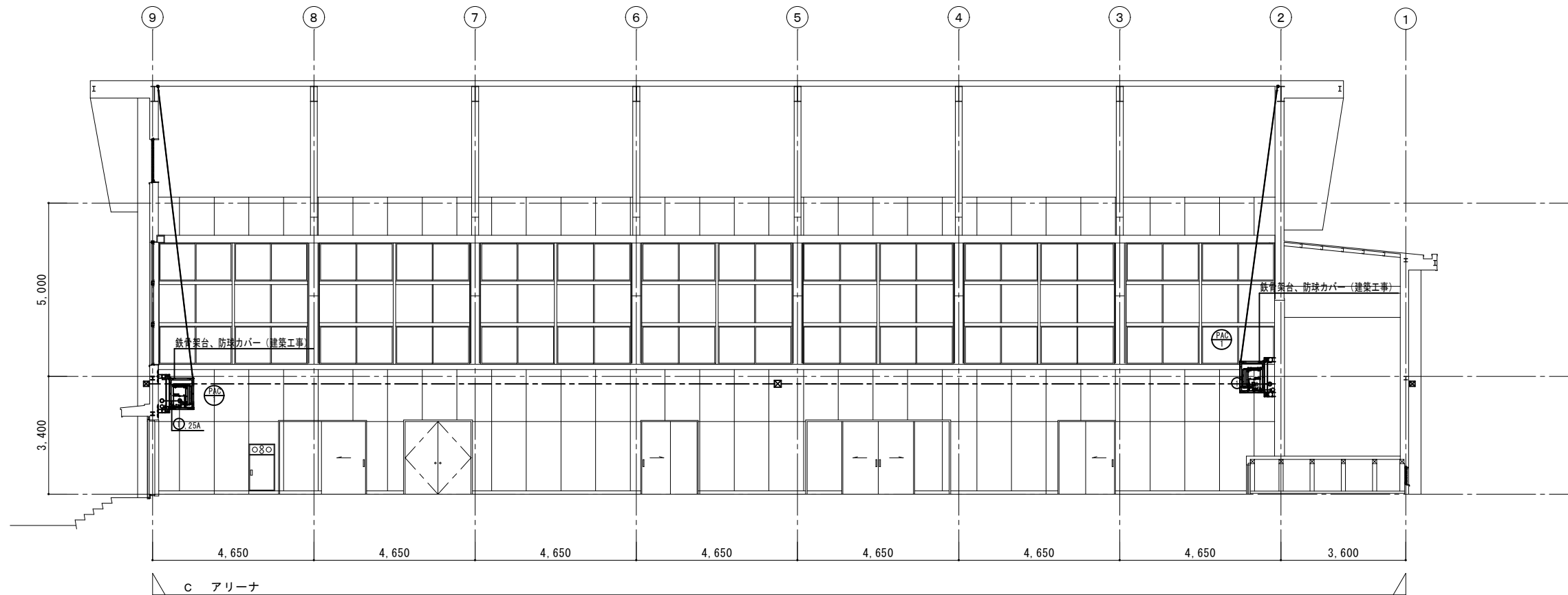
A アリーナ

展開図 S=1:75

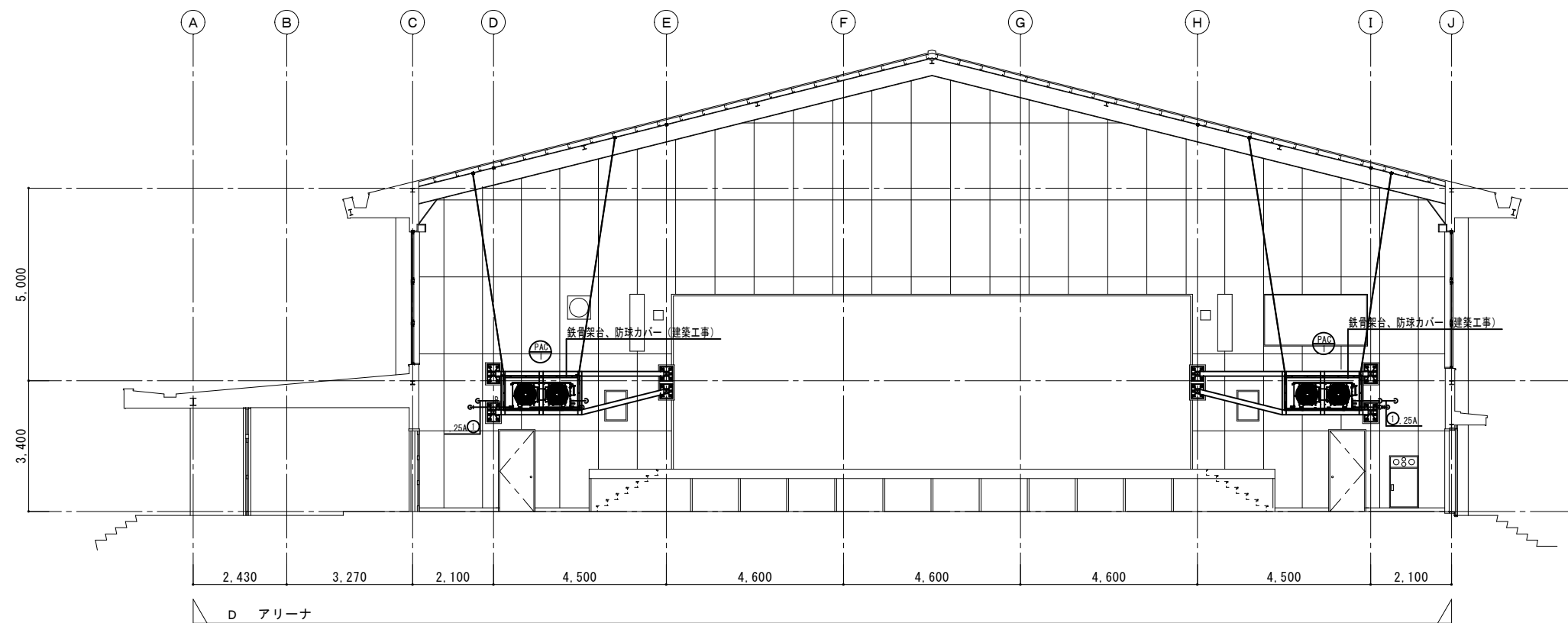


B アリーナ

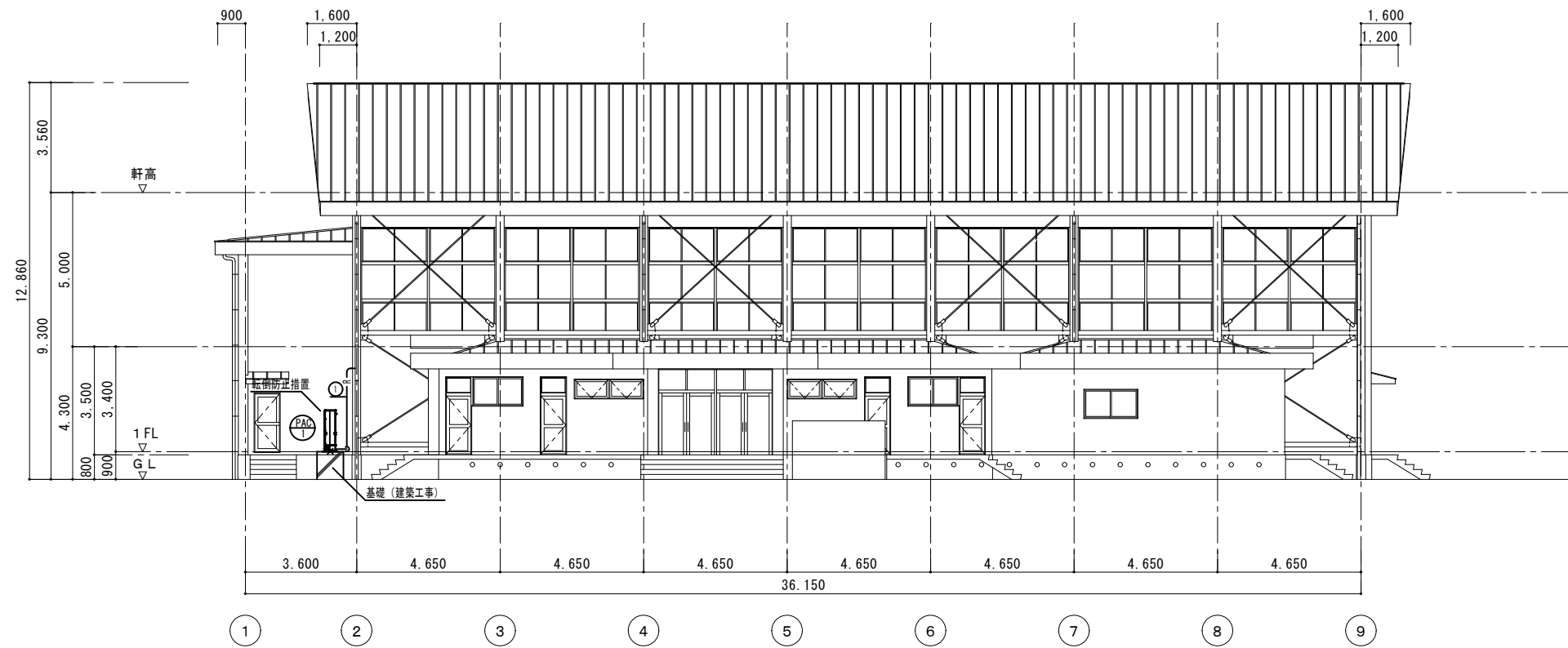
展開図 S=1:75



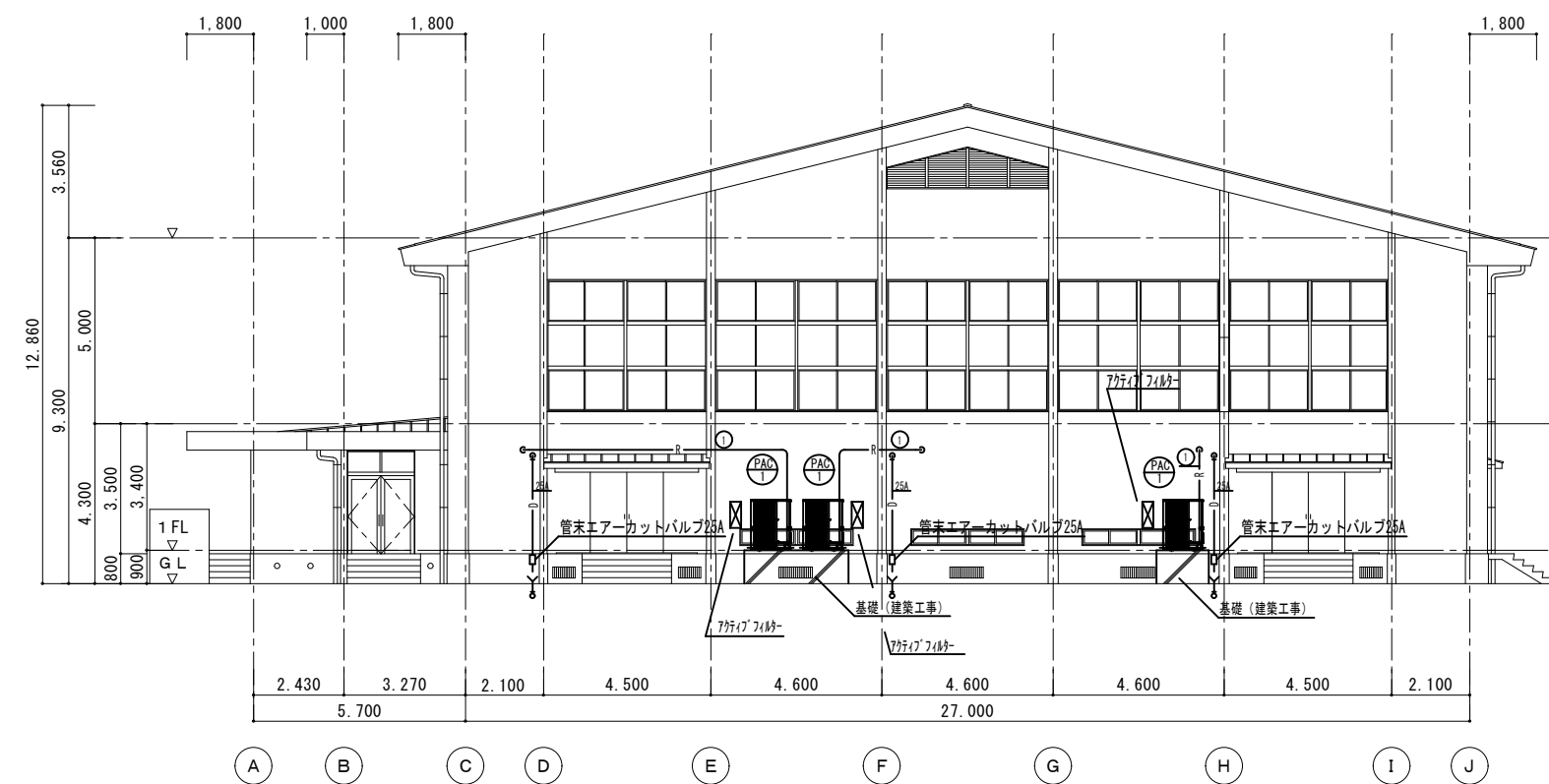
展開図 S=1:75



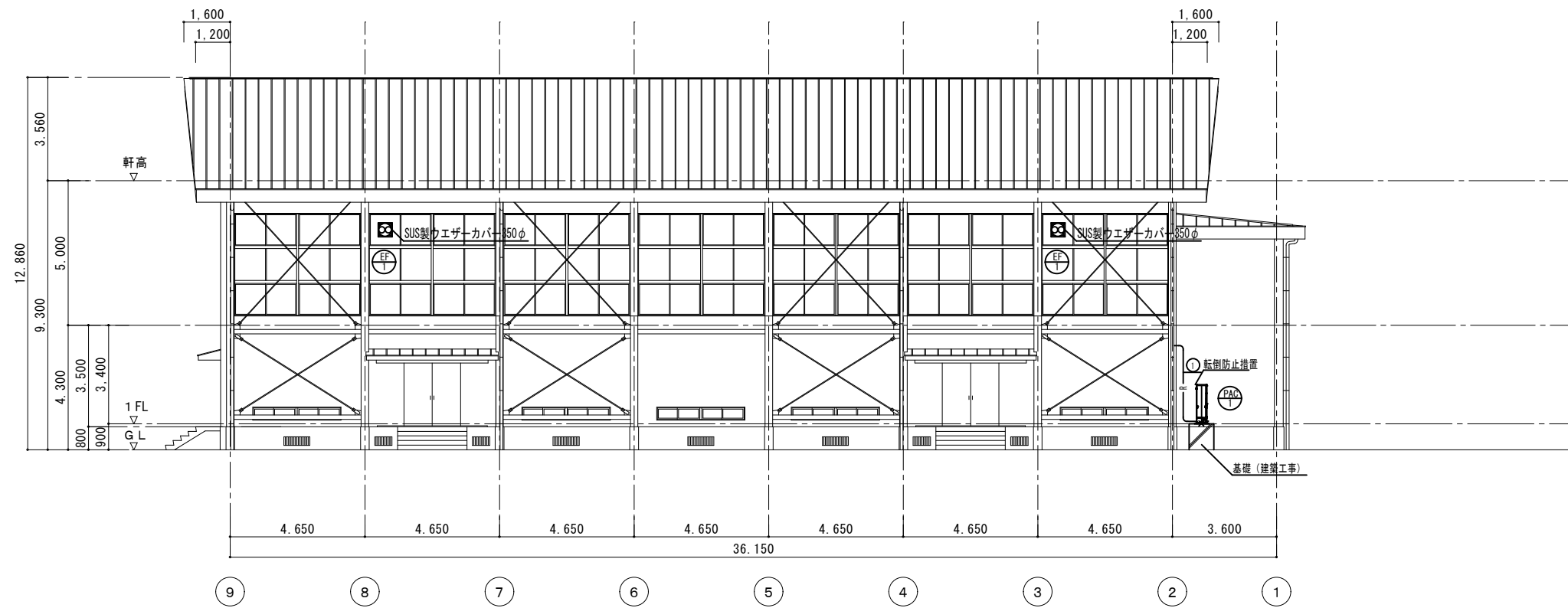
展開図 S=1:75



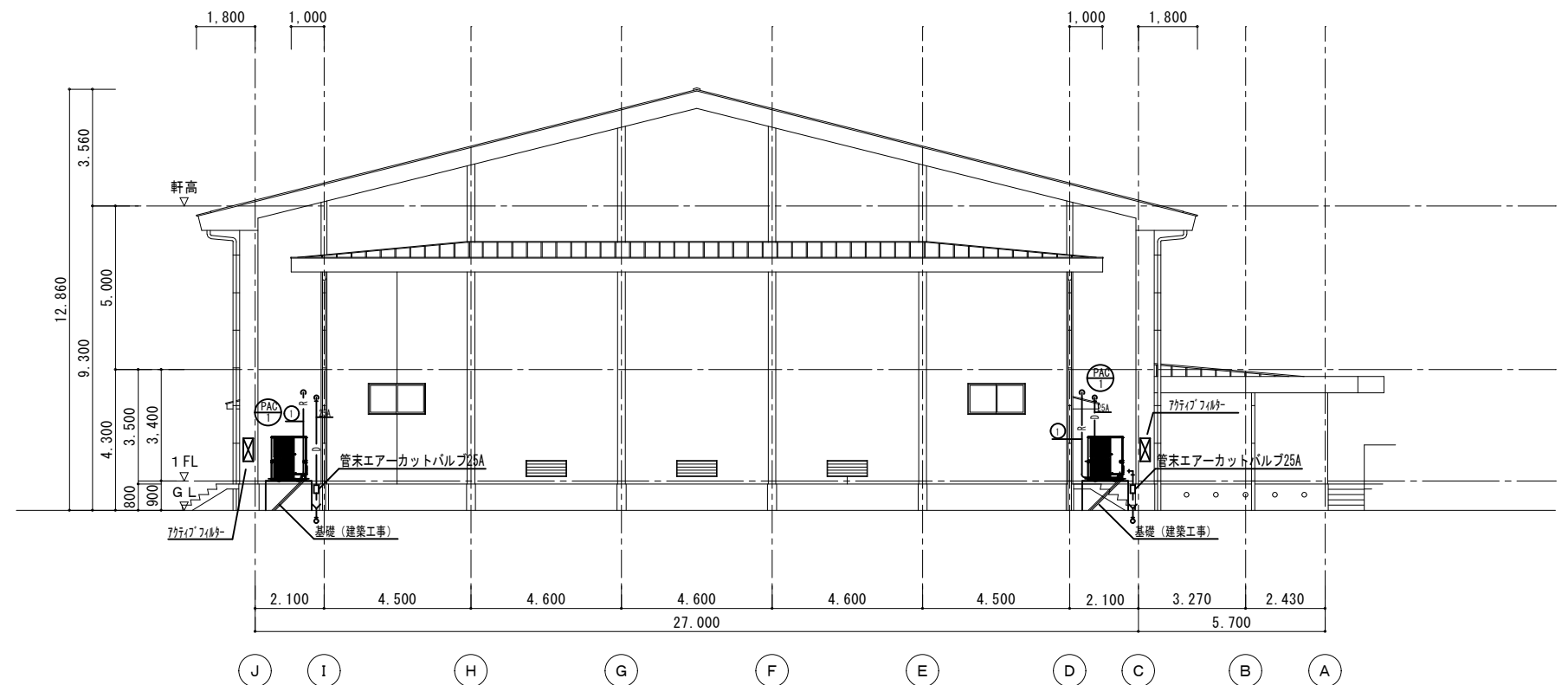
南側立面図 S=1:100



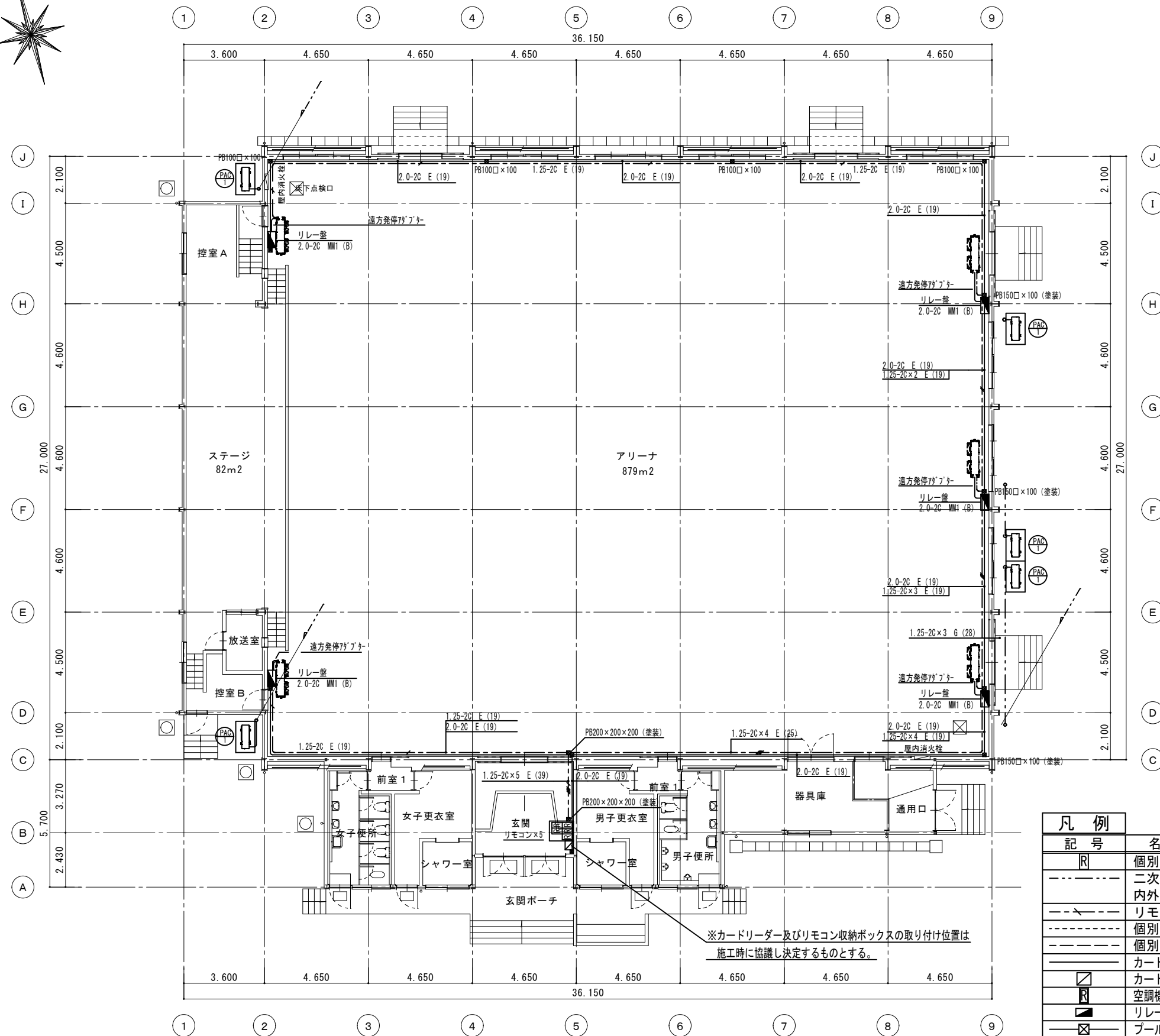
東側立面図 S=1:100



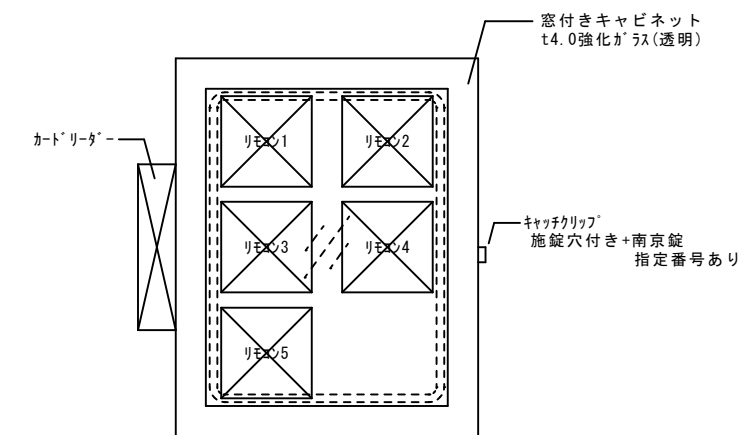
北側立面図 S=1:100



西側立面図 S=1:100



1階平面図 S=1:100

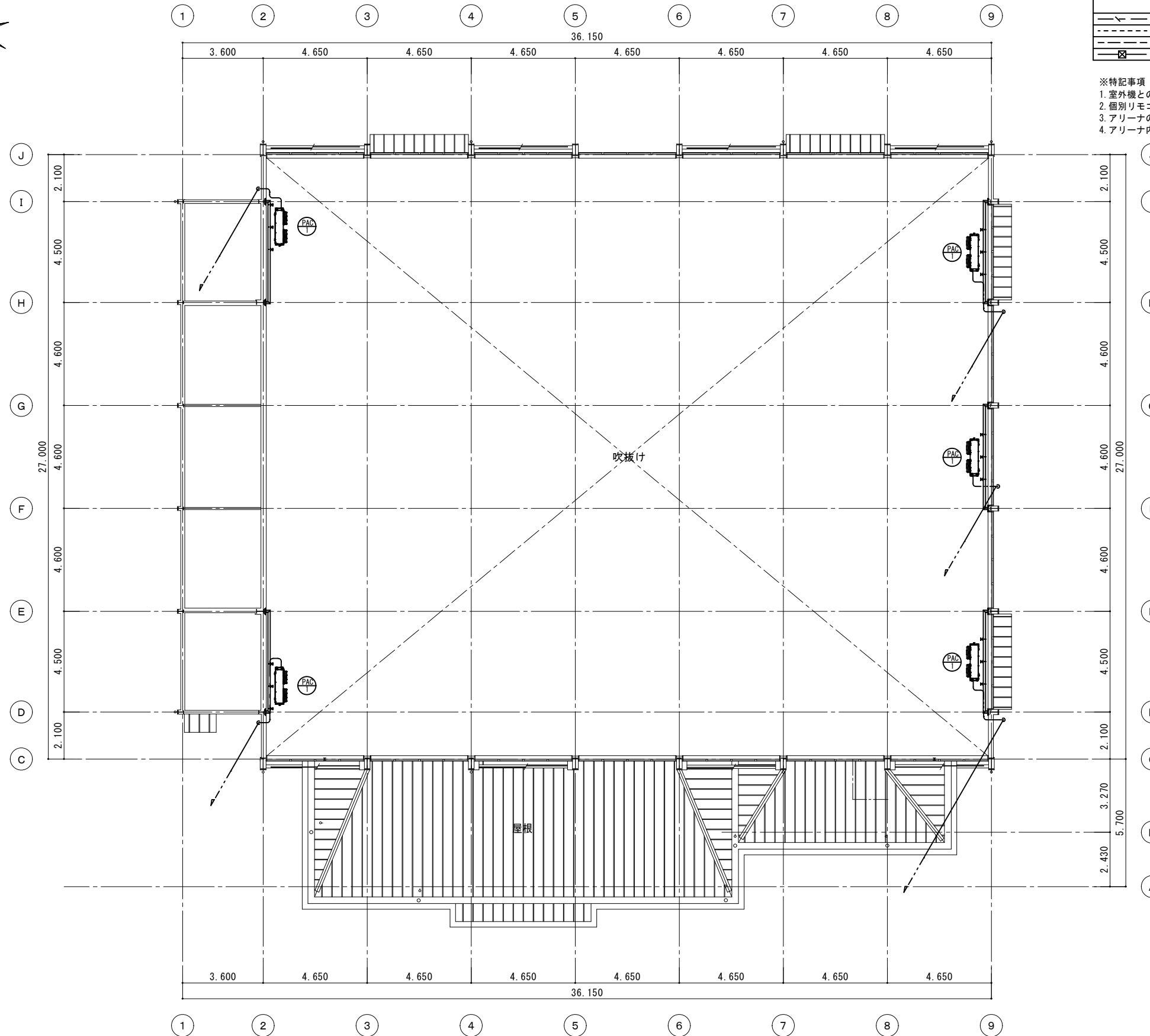


リモコン設置詳細図 S=1:10

凡例	記号	名称	仕様	施工
	R	個別リモコン	各系統ごとに空調機操作盤に設置	
	---	二次側電源ケーブル	室外機～室内機 EM-CE2.0-3C	冷媒管共巻
	---	内外接続ケーブル	室外機～室内機 EM-CE2.0-3C	
	---	リモコンケーブル	室外機～室内機 EM-CEES1.25-2C	管内
	---	個別リモコンケーブル	室外機～リモコン EM-CEES1.25-2C	天井内コロガシ
	---	個別リモコンケーブル	室外機～リモコン EM-CEES1.25-2C	金属線び (B型)
	---	カードリーダー電源ケーブル	カードリーダー～リレー盤 EM-CE2.0-2C	管内
	□	カードリーダー	壁掛け形	
	□	空調機操作盤	壁掛け形	
	□	リレー盤	壁掛け形	
	□	プルボックス	屋内: 鋼板製 (塗装) 屋外: SUS (WP)	

※特記事項

1. 室外機との渡りリモコンケーブル・内外接続ケーブルは冷媒管共巻とする。
2. 室内機の二次側電源ケーブルは配管内とする。
3. カードリーダーへの電源供給は電気工事とする。
4. カードリーダー及び空調機操作盤の取り付け位置は、施工時に協議の上決定する。



中間階平面図 S=1:100

凡例			
記号	名称	仕様	施工
Ⓜ	個別リモコン	各系統ごとにアリーナに設置	
---	渡りリモコンケーブル	室外機~室内機 EM-CEES1.25-2C	冷媒管共巻
---	渡り二次側電源ケーブル	室外機~室内機 EM-CE2.0-3C	
---	個別リモコンケーブル	室外機~室内機 EM-CEES1.25-2C	管内
---	個別リモコンケーブル	室外機~リモコン EM-CEES1.25-2C	天井内コロガシ
---	個別リモコンケーブル	室外機~リモコン EM-CEES1.25-2C	金属繊維 (B型)
☒	フルボックス	屋内: 銅板製 (塗装) 屋外: SUS (WP)	

- ※特記事項
1. 室外機との渡りリモコンケーブルは冷媒管共巻とする。
 2. 個別リモコンケーブルは配管内とする。
 3. アリーナの露出個別リモコンケーブルは線び内とする。
 4. アリーナ内のリモコンケーブルは露出配管とする。

